

赤十字国際活動論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」連携 「2」実践 「3」探求 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SBRC300

○角田敦彦

■ 授業の目的

グローバル化が進む現代の国際社会が抱える多様な問題を理解するとともに、これらの解決に取り組む赤十字や国際機関、その他 NGO 等の活動の現状と課題について、赤十字の国際活動の歴史とその特色などを中心に考察し理解を深めることを目的とする。

■ 到達目標

1. 地球規模の諸問題、特に戦争、自然災害、健康に関する諸問題の概要を理解し、説明できる。
2. 1の諸問題の犠牲者救済のため赤十字がどのように活動してきたのか理解し、説明することができる。
3. 人道支援の現場が抱える問題について、自分なりの意見を持ち説明できる。

■ 学習の進め方

授業は、講義のほか質疑、意見交換(ディスカッション)を交えて展開する。授業は、科目担当者の実務経験から、紛争・災害救援活動の体験や映像を紹介する。また、日本赤十字社等の職員を招き、人道支援の政策決定や直近の人道支援の実際についての講話等も行う予定である。授業参加者は世界が抱える問題に関心を持ち、自らの問題意識を深め、授業においても積極的に発言参加することが期待される。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス：授業の進め方について 赤十字の人道支援とは：救援と開発 事前学修：[30分] 最近の人道危機や赤十字の国際活動について一般的な情報を検索しノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
2	頻発する人道危機と人道支援機関 事前学修：[30分] ニュースなどで関心のある人道危機について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
3	赤十字の国際活動：政策決定と課題 事前学修：[30分] 赤十字や国際機関の政策決定プロセスについて検索し、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田・外部講師
4	赤十字と人道思想の系譜：歴史的概観 事前学修：[30分] 紛争、災害時の赤十字活動について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[20分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
5	トルコ軍艦遭難～日清戦争時の赤十字の活動 事前学修：[30分] トルコ軍艦の遭難、日清戦争の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
6	ポーランド孤児救済～日露戦争時の赤十字の活動 事前学修：[30分] ポーランド孤児、日露戦争の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
7	二つの大戦時の赤十字の活動 事前学修：[30分] 第一次世界大戦、第二次世界大戦の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田

No	内容	形式	教員
8	第二次世界大戦後の国際社会：国際人道法と赤十字の基本原則 事前学修：[30分] 国際人道法と赤十字の基本原則について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
9	冷戦後の紛争と国際問題 事前学修：[30分] 冷戦後の様々な紛争について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
10	国際赤十字・赤新月運動の実際 事前学修：[30分] アジア太平洋地域の紛争や自然災害について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
11	国際救援と開発協力の実際：フィールド経験者から聞く 事前学修：[30分] 救援、開発の概要について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
12	その他人道上の諸問題と赤十字の活動 事前学修：[30分] 人道危機における「弱者」について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義・討論	角田
13	核兵器と赤十字 事前学修：[30分] 核兵器の特徴と人道的な問題について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田・外部講師
14	人道支援に関する様々な行動規範 事前学修：[30分] 人道支援に関連するルールについて調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田
15	グローバル社会の諸課題 事前学修：[30分] 世界で注目を集めている紛争、災害について調べ、ノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料を読み返すとともに講義の内容を振り返り、自己の課題を明確にする。	講義	角田

■ 教科書

適宜、資料を提示する。

■ 参考書、参考資料等

井上忠男(2015). 戦争と国際人道法. 東信堂.

黒沢文貴・河合利修(2009). 日本赤十字社と人道援助. 東京大学出版会

柘居孝・森正尚(2014). 新版 世界と日本の赤十字—世界最大の人道支援機関の活動. 東信堂.

その他 日本赤十字社HPなど

■ フィードバックの仕方

試験またはレポートのフィードバックは、試験終了後(レポート提出期間後) 21 日目以降に後期ガイダンスなどの機会に事務局を通じて返却する。

■ 他の授業科目との関連

本授業は、赤十字概論ならびに国際活動論を基礎に発展的な内容を取り扱う。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取組み 20 % 2. 試験または課題レポートの提出状況 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。また、Glexa 上の質問・コメントでも受け付ける。

■ 受講上の注意事項

外部講師による講演は、講師の都合により実施コマを変更することがある。

生命倫理

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHU350

○田村未希

■ 授業の目的

生命倫理をその歴史的背景から把握した上で、生命倫理・医療倫理・看護倫理に関わる主要な見解・主張を理解する。またそれらに対する別の立場からの反論を吟味することを通じて、自らの考えや立場を根拠に基づいて表現できるようになる。本講義では事例をもとに医療現場における倫理的ジレンマを学び、個々の患者の意思決定の場面でどのように最善の選択を見出してゆけば良いのか、根拠に基づいて考える能力を身につける。

■ 到達目標

1. 生命倫理・医療倫理・看護倫理における主要な論点について説明できる。
2. 現代の医療現場における主要な倫理的ジレンマを理解し、自らの考えや立場を根拠に基づいて表現することができる。
3. 患者の意思決定支援における看護師の役割を理解し、患者の価値観を尊重した意思決定支援のあり方を説明・実践できる。

■ 学習の進め方

- ・ 授業は基本的に講義形式で進める。授業内で、適宜学生同士がディスカッションする時間も設ける。
- ・ 授業終了後にコメントシートを提出してもらい、優れたコメントや、共有した方がよい疑問点に関しては次の授業内で紹介する。他の学生がどのように考えたのかを知ることで自身の学びを深めてもらう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	生命倫理とは何か。なぜそれが必要なのか、事例をもとに考える。 事前学修：[15分] シラバスを読んで授業に臨む 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義	田村未希
2	生命倫理とは何か。倫理の4原則について 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返す	講義	田村未希
3	脳死と臓器移植に関する諸問題 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
4	生殖補助医療に関する諸問題 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
5	再生医療に関する諸問題 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
6	人生の最終段階における医療の問題：延命医療について 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
7	人生の最終段階における医療の問題：ADとACPについて 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
8	医療現場における倫理的ジレンマと臨床倫理の考え方：情報共有=合意モデルに基づく意思決定支援 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
9	倫理原則とケアの倫理：人間の傷つきやすさをどのように考えるか 事前学修：[15分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希
10	モデル事例検討：精神疾患をもつ患者との関わり 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義/ディスカッション	田村未希

No	内容	形式	教員
11	モデル事例検討：治療の中止を求める患者との関わり 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
12	モデル事例検討：社会的にも困難を抱える患者との関わり 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
13	モデル事例検討：予告告知のあり方をめぐって 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
14	モデル事例検討：医療者・患者家族の間に意見の対立があるケースをめぐって 事前学修：[30分] 事例を読み、疑問点や気がついた点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希
15	まとめ：人間尊重を原則とした意思決定支援と看護のあり方 事前学修：[30分] 事前に配布した資料を読み、疑問点を箇条書きにしておく。 事後学修：[15分] 授業の配布資料やノートを読み返して要点を確認する。	講義／ディスカッション	田村未希

■ 教科書

特に用いない。授業内で資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

会田薫子(2019年).『長寿時代の医療・ケア——エンドオブライフの論理と倫理』. ちくま新書.

盛永審一郎・長島隆編(2012年).『看護学生のための医療倫理』. 丸善出版.

石垣靖子・清水哲郎編(2012年).『臨床倫理ベーシックレッスン—身近な事例から倫理的問題を学ぶ』. 日本看護協会出版会

赤林朗編(2017年)『入門・医療倫理Ⅰ』改訂版、勁草書房

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設けて行う。

■ 他の授業科目との関連

2年次開講の「哲学と倫理」を履修しておくことにより深く学ぶことができます。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 40%、期末の筆記試験 60%。

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。また随時、LMS や電子メールでも質問を受け付ける。

哲学と倫理

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHU250

○田村未希

■ 授業の目的

哲学及び倫理思想全般を扱うのではなく、「看護」という人間の行為を哲学的及び倫理的に考えるための手がかりとして、看護の営みを考えるための哲学と倫理の思想を学び、看護がいかなる人間の営みなのか、またいかなる営みであるべきなのかを、現象学的哲学に基づく代表的な看護理論と、「ケアの倫理」の思想に基づいて考える。文化や価値観が多様化する中で一人ひとりの人間を個として総合的に理解し尊重しつつ行われる「看護」とはどのようなものであるべきかについて、自ら考える基礎的能力を身につける。

■ 到達目標

- ・「現象学的看護理論」と「ケアの倫理」の考え方にに基づいて、患者を尊重するとはいかなることであるのかを説明できるようになる。
- ・ただ疾患を診るのではなく、患者をトータルに診るとはどのようなことなのか説明できるようになる。それに基づいて今後あるべき看護について自ら探求する能力を身につける。

■ 学習の進め方

- ・授業は基本的に講義形式で進める。授業内で、適宜学生同士がディスカッションする時間も設ける。
- ・事前学習では教科書の指定箇所を読み、理解した要点と疑問点を書き出しておく。
- ・授業終了後にコメントシートを提出してもらい、優れたコメントや、共有した方がよい疑問点に関しては次の授業内で紹介する。他の学生がどのように考えたのかを知ることで自身の学びを深めてもらう。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	「現象学的看護理論」とは何か：「疾患」と「病い」 事前学修：[15分] 教科書の第1章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。詳しくは授業内で指示する。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義	田村未希
2	「現象学的看護理論」とは何か：フッサールの現象学 事前学修：[15分] 教科書の第2章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
3	医学の視点と患者の経験 事前学修：[15分] 教科書の第3章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
4	ベナー／ルーベルの現象学的人間観①：身体的知性 事前学修：[15分] 教科書の第4章第1節を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
5	ベナー／ルーベルの現象学的人間観②：背景の意味 事前学修：[15分] 教科書の第4章第2節を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
6	ベナー／ルーベルの現象学的人間観③：気遣い・関心／状況 事前学修：[15分] 教科書の第4章第3節を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
7	ベナー／ルーベルの現象学的人間観④：時間性 事前学修：[15分] 教科書の第4章第5節を読み、 事後学修：[15分] 授業資料を読み返す	講義／ディスカッション(討議)・ディベート	田村未希
8	患者をトータルに診るとはどのようなことか 事前学修：[15分] 教科書の第5章を読み、わからなかったことや疑問点を簡条書きにまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す	講義／ディスカッション・ディベート	田村未希

■ 教科書

榊原哲也(2018年).『医療ケアを問い直す―患者をトータルにみることの現象学』. 筑摩書房.

■ 参考書、参考資料等

授業内で適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、提出締め切りから 4 週間以内に、採点後のレポート返却と解説資料の配布を通じて行う。返却は LMS を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

初学者向けの内容ですので、とくに前提知識は必要ありません。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 60 %、期末レポート 40 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける。また随時、LMS または電子メールでも質問を受け付ける。

臨床心理学

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：－ 科目番号：SBHU251

○遠藤公久

■ 授業の目的

本授業では、自己について学び、適応との関連について理解する。また、心の健康を理解するうえで重要な個人差の側面(性格や知能)そしてストレスの心理学について理解する。さらに、医療心理学の側面から、カウンセリングの基礎と医療コミュニケーションの基礎について学ぶ。

■ 到達目標

1. 自己の認知的、情緒的側面、そして行動的側面について説明できる。
2. 人格や知能と心の健康について理解し、ストレスと適応行動との関連について説明できる。
3. 医療場面における心理的支援として、コミュニケーションやカウンセリングの基本的考えについて理解し説明できる。

■ 学習の進め方

基本的に講義形式と課題への取り組みから構成される。授業と関連する課題に取り組むことで、授業理解を深めると共に、自己理解につなげる。また、その課題をもとに、レポートにまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	自己の心理学1：自己概念、自己意識と適応との関係について 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
2	自己の心理学2：自己評価と自尊感情(自分を正しく評価すること、自分を好きになること)と適応 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
3	心の健康の心理学1：性格はどのように形成されるか 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
4	心の健康の心理学2：個性と個人差を考える(YG 性格検査と Big Five Inventory を中心に) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
5	心の健康の心理学3：ストレスと力に変える 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
6	心の健康の心理学4：心の回復力について 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
7	医療コミュニケーション1：傾聴と敬聴および基本的技法 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤
8	医療コミュニケーション2：win-win の関係を目指して(アサーションの基本) 事前学修：[10分] 配布資料に目を通しておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み、次回までにコメントを作成する	講義・討論	遠藤

■ 教科書

遠藤公久 (2019) 看護を学ぶ人のための心理学：ヒューマン・ケアを科学する 弘文堂

■ 参考書、参考資料等

適宜配布する

■ フィードバックの仕方

レポート結果は、3月中にいつでも返却しますので、希望者は研究室まで来てください。

■ 他の授業科目との関連

この授業履修希望者は、心理学概論を履修していることが望ましい。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(10%) 2. 毎回のコメント(30%) 3. レポート(60%)によって行なう。

■ オフィスアワー・研究室等

月曜日 12:30~13:00 遠藤公久(404 研究室) メール: k-endo@redcross.ac.jp

教育学概論

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」関係 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHU252

○渋谷真樹

■ 授業の目的

教育学の基礎知識(概論)を理解し、日常生活や医療・看護への応用について考えることを目的とする。

■ 到達目標

- 1 人間を教育的に理解することができる。
- 2 学習者の多様な生涯発達を支援する原理と方法について説明できる。
- 3 日常生活や医療・看護への応用について考えることができる。

■ 学習の進め方

AL 講義・演習

受講生は皆、教育に関する経験や意見をもっている。この授業では、それらをもとに、教育に対する問いを立て、講義や討論、小レポートの作成などを通して、その問いに接近していく。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 看護大学で教育学を学ぶ意義 事前学修：[60分] 教育をめぐって、印象に残っている体験を記述する。 事後学修：[60分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
2	教育目的論・本質論 事前学修：[60分] 教育の目的について、自分なりの考えを記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
3	西洋の教育思想史 事前学修：[60分] 西洋の教育思想家をひとり選んで、概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
4	日本の教育思想史 事前学修：[60分] 日本の教育思想家をひとり選んで、概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
5	教育制度論 事前学修：[60分] 現代日本の教育制度の概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
6	教育法規・教育行政論 事前学修：[60分] 教育基本法の概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
7	発達段階・発達課題論 事前学修：[60分] 子ども期の発達の概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
8	学習理論 事前学修：[60分] 自分自身の学習体験を振り返って記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
9	教育課程論・教育評価論 事前学修：[60分] 小学校の学習指導要領を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷

No	内容	形式	教員
10	教育方法論 事前学修：[60分] 印象に残っている授業について記述する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
11	特別支援教育論 事前学修：[60分] 現代日本の特別支援教育の概要を調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
12	モラル教育論 事前学修：[60分] 現代日本の学校における「道徳」の位置づけについて調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
13	生と死の教育 事前学修：[60分] 命をめぐる教育実践について調べる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
14	教育の社会学 事前学修：[60分] 現代日本における教育課題を列挙する。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷
15	ふりかえり・まとめ 事前学修：[60分] これまでの授業の資料やノートを整理し、ふりかえる。 事後学修：[90分] 授業を振り返り、指定課題について小レポートを作成する。	講義・ディスカッション(討論)・ディベート	渋谷

■ 教科書

教科書は使用しない。
授業中に関連資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

木村元編(2021). 系統看護学講座 基礎分野 教育学 [第8版]. 医学書院

■ フィードバックの仕方

小レポートには学期中に Glexa 上でコメントするとともに、次回以降の授業に反映させる。
最終レポートは、2月末までに Glexa 上でフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

看護教育学系の科目の基礎に位置づく科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(50%):小レポートや討論への参加状況から評価する。
最終レポート(50%)
最終的には、受講の状況と成果を総合的に判断して評価するので、Glexa 上の配点と異なることがある。

■ オフィスアワー・研究室等

授業の前後に質問を受け付ける。随時、eメール(m-shibuya@redcross.ac.jp)でも受け付ける。

臨床社会学

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBSS250

○鷹田佳典

■ 授業の目的

さまざまな社会問題が立ち上る「現場」(＝臨床)に照準し、そこで起きている事象やそれらに関わる人々に社会的にアプローチする臨床社会学の取り組みについて学んでいきます。われわれはしばしば、臨床で起こるトラブルを、「個人の問題」として理解しがちです。しかしそれらのなかには、社会のあり方(制度やシステム)によって生み出されているものが少なくありません。したがって、臨床場面で生じる諸問題について考えるためには、私的問題(ミクロ)と社会構造(マクロ)を結びつける視点が求められます。本講義では、多様な臨床的課題を取り上げ、検討することで、こうした「社会学的想像力(sociological imagination)」(ミルズ)の涵養を目指します。

■ 到達目標

1. さまざまな社会領域で起きている事柄についての関心を深める。
2. 社会学の基礎概念を社会的事象の理解に応用できる。
3. 個人と社会を結び付けて考える「社会学的想像力」を身につける。

■ 学習の進め方

授業は講義形式で行います。授業終了後にリアクションペーパーを提出してもらいます。次回授業でリアクションペーパーへのリプライを行い、授業への理解を深める機会とします。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	社会学的想像力とは何か 事前学修：[30分] 最近の気になるニュース記事を二つ切り抜いておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
2	なぜわれわれは健康にこれほど気を配るのか？ 事前学修：[30分] 健康に気をつけていることをノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
3	なぜ感染者はバッシングを受けるのか？ 事前学修：[30分] コロナ患者に対する誹謗中傷がなぜ起きるのか、 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
4	なぜ病気が治ったのに不安なのか？ 事前学修：[30分] 闘病記を1冊読んで、感想をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
5	仮想空間で故人と会うことは癒しとなるのか？ 事前学修：[30分] 自分が亡くなった後の SNS の管理について考えをまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
6	ペットを失った悲しみはなぜ理解されづらいのか？ 事前学修：[30分] 悲嘆についてどのようなモデルがあるのかを調べ、ノートにとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
7	孤独死は自己決定として尊重されるのか？ 事前学修：[30分] 日本における孤独死の発生状況を調べ、ノートにとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田
8	なぜ終活がブームになっているのか？ 事前学修：[30分] 終活がなぜこれほど関心を集めているのか、その理由をノートにまとめておく。 事後学修：[30分] 配布資料、参考文献をもとに講義内容について要点をまとめておく。	講義	鷹田

■ 教科書

特定の教科書は試用しません。

■ 参考書、参考資料等

講義時に適宜紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、レポート提出から1か月以内に、コメントをつけて Glexa で返却します。

■ 他の授業科目との関連

社会学概論と関連します。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み(40%)、レポート(60%)

■ オフィスアワー・研究室等

①木曜日、②昼休み、③ 427 研究室

社会保障論

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBSS300

○森山幹夫

■ 授業の目的

近代民主国家の存在基盤は国民を守ることであり、国防、警察、消防とともに社会保障がある。社会保障は、個人が自分を護ることができない時にも社会連帯に皆が参加することで安全を守る。そして社会全体の安定性をも保つ。あなたと社会と社会保障の関係の基本が共有されることで成り立つ。したがって、社会保障論を学ぶことは、単なる制度の理解に留まらず、あなたたちの社会のあり方そのものを考えることでもある。社会への幅広い視野と問題意識を持つことから始まる。これが授業の最大の目的である。さらに、看護大学の学生として、将来、保健・医療・福祉の現場で働く時に、自身や利用者のために最低限身につける社会保障制度を理解し、人々の生活とケアの質を高めることを目指す。

■ 到達目標

社会保障制度の全体像を把握し、次に手段たる法律や制度がなぜこのようになっているのかを問題意識を持って考えることである。制度に関する自分としての見解を持ち、それを客観的かつ論理的に人々に伝えられるコミュニケーション能力を身につける。看護学を究め発展させるための基礎的な思考過程を修得するためである。したがって、社会保障諸制度の概要とそれが看護や利用者にとってどのような意味を持つか、問題点は何か、解決策はどうあるべきかを論理的に説明することができるようになることが目標である。

■ 学習の進め方

授業は講義形式で行う。日数の関係で一部をオンデマンドとする。社会の現状と社会保障とは何かの基本から、基本原理、看護との関係を織り込みながら進める。社会保障の構成要素である人・モノ・金の切り口で、分野たる看護、医療、保健、介護、保険、福祉、労働や社会基盤の整備まで展開していく。合間に現在動いている社会保障制度の改革まで学びながら、少子化、高齢化、人口減少、生活水準の向上と社会経済の発展と停滞などから、社会的孤立やジェンダーなどのテーマをピックアップして進める。各分野における問題の所在と社会保障はいかに進むべきなのかについて看護との関係を考えながら論じる。人の誕生から高齢期までのライフステージに沿って講義を進めるように工夫したい。事前学習やレポートを課すが苦にせず積極的に参加し発言することを期待する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	社会保障の意義と看護：社会保障の定義、意義、目的、看護との関係 事前学修：[45分] 配布資料の中の社会保障の現状部分を理解し整理 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点把握	講義	森山
2	社会保障をとりまく少子高齢人口減少：日本社会の状況と地域での暮らし 事前学修：[45分] 配布資料の中で高齢化関連部分を理解し整理 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点把握	講義	森山
3	社会保障発展の歴史：社会保障の歴史と世界における日本の位置 事前学修：[45分] 自分が選んだ国について社会保障の現状を自己学習・報告 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点把握	オンデマンド講義	森山
4	社会保障制度の体系：人、モノ、カネの切り口で社会保障を多角的に把握 事前学修：[45分] 配布資料の中の財政関係部分を読んで問題点の抽出把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	オンデマンド講義	森山
5	医療と社会保障Ⅰ：看護と医療提供体制 事前学修：[45分] 教科書の看護法部分を熟読し理解の上、問題点の抽出 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点把握	オンデマンド講義	森山
6	医療と社会保障Ⅱ：保険制度と医療 事前学修：[45分] 教科書の医事法と医療保険法部分を熟読し内容把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	オンデマンド講義	森山
7	看護と社会保障：看護と社会保障が相互に発展してきたことを理解 事前学修：[45分] 教科書の看護法と医事法部分を再度熟読し内容を理解 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	オンデマンド講義	森山
8	高齢者と社会保障Ⅰ：高齢化の状況と社会参加や福祉 事前学修：[45分] 教科書の福祉法/高齢者の法部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	講義	森山
9	高齢者と社会保障Ⅱ：介護保険制度と地域包括ケア 事前学修：[45分] 教科書の介護保険部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	講義	森山

No	内容	形式	教員
10	障害分野：障害者の社会参加と保健医療福祉 事前学修：[45分] 教科書と資料集の障害福祉部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	講義	森山
11	児童分野：児童福祉の全体像と保育、児童の安全確保 事前学修：[45分] 教科書の児童福祉法部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	講義	森山
12	所得保障：年金、生活保護と貧困対策 事前学修：[45分] 教科書の年金、生活保護部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	講義	森山
13	より良き労働の確保：働くあなたを守る各制度と社会基盤の整備 事前学修：[45分] 教科書の労働法と社会基盤整備部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	講義	森山
14	社会保障の課題と解決に向け対応：社会保障が抱える問題と解決策 事前学修：[45分] 資料の看護の将来部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] リフレクションペーパーで内容を確認。問題点・疑問点抽出	講義	森山
15	看護と社会保障の将来：看護と社会保障はどう進むべきかを考察 事前学修：[45分] 資料の利用者のエンパワメント部分を読み内容を把握 事後学修：[25分] 自分がどのような看護を行いたいかとめる	講義	森山

■ 教科書

森山幹夫. 看護関係法令. 系統看護学講座 医学書院. (2022 年版)
適宜配布された資料(利用者主役の看護の構築、資料集、毎回のペーパーなど)

■ 参考書、参考資料等

厚生労働統計協会. 国民衛生の動向. (2022 年版)
椋野美智子・田中耕太郎. はじめての社会保障. 有斐閣. (2022 年版)

■ フィードバックの仕方

その日の講義終了後ミニレポートによるリフレクションペーパーを提出すること。
その内容は達成度・成果・感想・疑問点などである。
次回の講義の時にまとめて回答なり注意事項、所感を述べる。
学内ホームページやメールなどを活用してフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

看護全般の共通の基本となる科目であり、特に、コミュニティケア、看護学実習、保健師教育課程選択者の科目と関連する。

■ 成績評価の仕方

常日頃の授業態度(授業内での発言・リアクションペーパーの内容・積極性等)を重視する。
学期末に筆記試験を実施する。○×式と論述式の併用である。
成績評価は、平常の授業態度が 50 %、筆記試験が 50 %の割合で行う。

■ オフィスアワー・研究室等

常勤ではないので授業終了後に質問を受け付ける。また、レポートに質問欄を設ける。そのほかメールなどの方法で適宜質問を受け付ける。

■ 受講上の注意事項

授業で生じた疑問は早い時期に解消するように心がけること。どんなささいなことでも、分からないことを分からないまま放置しないようにすること。ともに考えともに学ぶこと。知識と疑問を学友・教員と共有することは集団学修のメリット。大学の授業は、制度や項目を覚えるのではなく、何故こうなっているのかを考えることで、学問の基本は WHY である。

生活環境論

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」コミュニティ貢献 「2」連携 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBSS350

○永井健太

■ 授業の目的

人の生活を中心に、環境の成立や人の生活との相互作用を含む環境の変化を捉え、環境が健康と生活へ与える影響とその対策について学習を深める。また、人間と環境との関連を身近な生活の問題として捉え、公衆衛生的視点からそれぞれの課題を探求する。

■ 到達目標

1. 人間の生活と環境の関係、環境が健康にもたらす影響を説明できる。
2. 人間と環境との関連を身近な問題として捉え、公衆衛生的視点から課題と対策を理解する。
3. 自分自身の生活環境をアセスメントし、人びとの健康に影響を与える具体的な視点について説明できる。

■ 学習の進め方

環境をアセスメントする演習や GW を通して、主体的に学修を深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	環境保健Ⅰ 健康な暮らしと環境①(社会構造の変化、社会情勢、政治・経済) 事前学修：[30分]「生活と環境」といってイメージすることを400字程度にまとめる。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	講義	永井
2	環境保健Ⅱ 健康な暮らしと環境②(食・衣・住生活と環境) 事前学修：[30分] あなたにとって健康で安全な住環境とはなにか、またその理由について400字程度にまとめる。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	永井
3	環境保健Ⅲ 水俣病などの公害 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	講義	永井
4	環境保健Ⅳ 原発事故などの物理的環境からの健康課題 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	永井
5	健康と環境のアセスメント①(モデル・地区踏査準備) 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	永井
6	健康と環境のアセスメント②(地区踏査) 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	演習	永井
7	健康と環境のアセスメント③(地区踏査発表会準備) 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	演習	永井
8	健康と環境のアセスメント④(地区踏査発表会) 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う。	演習・発表	永井

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

- ①厚生労働統計協会. 国民衛生の動向(最新版).
- ②環境省. 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書(最新版).
- ③村瀬誠(2014). 保健環境論. 京都廣川書店.
- ④標美奈子他(2019). 標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論. 5 版. 医学書院.
- ⑤麻原さよみ(2019). 公衆衛生看護学テキスト 1 公衆衛生看護学原論. 5 版. 医歯薬出版株式会社.
- ⑥藤城敏幸(2021). 生活と環境. 20 版. 東京教学社.
- ⑦川上憲人他(2015). 社会と健康：健康格差解消に向けた統合科学的アプローチ. 東京大学出版会.
- ⑧上野昌江・和泉京子(2020). 公衆衛生看護学. 第 3 版. 中央法規.

■ フィードバックの仕方

リアクションペーパー、発表のフィードバックは、授業時に適宜、口頭で行う。
試験のフィードバックは、試験実施後に別途時間を設けて、試験問題と採点基準の解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

これまでに履修したコミュニケア関連科目を基礎として、公衆衛生学の視点から学ぶ。

■ 成績評価の仕方

リアクションペーパーの内容 10 %、フィールドワーク・発表会への取り組み 20 %、定期試験 70 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30 ~ 13:00 永井(420 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻を 3 回を欠席 1 回の扱いとする。

情報科学

単位：2 単位 必修/選択：選択 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBIS250

○川崎洋平

■ 授業の目的

保健統計学の授業で学んだ統計手法を実際のデータに適用できるように、コンピュータを用いたデータ解析を学ぶ。

■ 到達目標

1. 統計ソフトや EXCEL を用いて、グラフを描いたり、データを要約して、データの特性を把握できる。
2. 解析目的とデータの特性に適する統計手法を選択して、母数に関する推定および検定を行える。
3. 統計ソフトや EXCEL の出力から分析結果を読みとり、解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義と演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	EXCEL 操作の基本：データベースの作成 事前学修：[30 分] 保健統計学の復習、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
2	EXCEL 操作の基本：データの検索・データの操作 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
3	1 変数のグラフ表現：棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフ 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
4	1 変数の統計量：平均・分散・標準偏差 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
5	2 変数のグラフ表現と統計量：散布図と相関係数 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
6	回帰直線とその予測 事前学修：[20 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
7	度数分布表とヒストグラム 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
8	いろいろな確率分布とその数表 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
9	平均の区間推定と比率の区間推定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
10	平均の差の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
11	対応のある平均の差の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
12	クロス集計表と独立性の検定 事前学修：[30 分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30 分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
13	1元配置の分散分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
14	アンケート調査の統計処理(データ入力、クリーニング) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平
15	アンケート調査の統計処理(散布図、相関係数) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認)、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	演習	川崎 洋平

■ 教科書

1. 石村貞夫・劉農・石村友二郎(2019). Excel でやさしく学ぶ統計解析2019. 東京図書

■ 参考書、参考資料等

1. 石村友二郎・加藤千恵子・劉農・石村貞夫(2020). Excel でやさしく学ぶ アンケート調査の統計処理2019. 東京図書

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、レポート提出後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

「情報科学」は「保健統計学」の学習内容の理解に基づき、より実的なデータ解析を扱う。
4年開講科目「研究方法論Ⅲ(量的研究方法論)」では「情報科学」より進んだ統計手法を扱う。

■ 成績評価の仕方

レポート70%、課題への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後及び開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室(広尾キャンパス)又はオンラインで質問を受け付ける

保健統計学

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBIS200

○川崎洋平

■ 授業の目的

根拠にもとづく医療・看護・保健活動および看護研究において必要な統計学のうち、初等的な統計手法について学ぶ。

■ 到達目標

1. 要約統計量および表やグラフから情報を読み取れる。
2. データの性質に応じて、初等的な統計手法の中から正しい手法を選択できる。
3. 推定と検定の基本概念を説明できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	データの種類と代表値 事前学修：[30分] 高校数学の復習(高校の数学 A「場合の数・確率」の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
2	代表値 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
3	図と表の利用 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
4	代表的な確率分布 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
5	相関 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
6	回帰 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
7	推定と検定 1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
8	推定と検定 2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
9	t 検定 1(基礎) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
10	t 検定 2(応用) 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
11	分散分析 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	順序があるデータの検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
13	分類されたデータの検定 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
14	人口統計1：人口静態統計 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平
15	人口統計2：人口動態統計 事前学修：[30分] 前回までの復習(用語の確認、計算法の確認) 事後学修：[30分] 授業の復習(用語の確認、問題の直し)	講義・演習	川崎 洋平

■ 教科書

授業で使用する資料は Glexa にアップロードをしますので、各自ダウンロード・印刷すること

■ 参考書、参考資料等

1. 白戸 亮吉、鈴木 研太(2008年). ていねいな保健統計学. 羊土社.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

2年次後期開講科目「疫学」では「保健統計学」の内容を理解しておく必要がある。
2年次後期開講科目「情報科学」において EXCEL を利用したデータ解析を学ぶことができる。

■ 成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後及び開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室(広尾キャンパス)又はオンラインで質問を受け付ける

英語RWⅢ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL200

○川崎修一

■ 授業の目的

英語 RW II で受講したことを前提に授業を進める。リーディングでは、領域横断的にさまざまな学術的内容の英文を読むこと、そして高度な読解力を習得する。高レベルな英文を沢山読むことにより、視野を広め、英語で物事を理解することができるようになることを目的とする。また、ライティングでは、英語 RW II で習得したパラグラフ・ライティングを発展させ、学術的内容に関する 3~5 パラグラフで構成された「エッセー」を書くための技法の習得を目指す。

■ 到達目標

学術的な英文を正確に読めるようになる。
英文エッセーを書くことができる。

■ 学習の進め方

AL

前半：各回のテーマについての講義

後半：各回のテーマに関連する演習

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Reading: Introduction to Nursing Research in an Evidence-Based Practice Environment 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
2	Writing: The Structure of an Essay 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
3	Reading: Fundamentals of Evidence-Based Nursing Practice 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
4	Writing: Outlining an Essay 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
5	Reading: Key Concepts and Steps in Qualitative and Quantitative Research 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
6	Writing: Introductions, Bodies, and Conclusions 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
7	Reading: Reading and Critiquing Research Articles 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
8	Writing: Unity and Coherence 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
9	Reading: Research Problems, Research Questions, and Hypotheses 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
10	Writing: Opinion Essays 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎

No	内容	形式	教員
11	Reading: Finding and Reviewing Research Evidence in the Literature 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
12	Writing: Quotations and Statistics 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
13	Reading: Theoretical and Conceptual Frameworks 事前学修：[30分] 授業で指定された範囲の英文を読んで内容をノートに要約する。 事後学修：[30分] 配付資料と授業メモを読み、内容が理解できているか確認する。	講義・演習	川崎
14	Writing: Review 事前学修：[30分] 配付された資料を読み理解度を確認する。 事後学修：[30分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎
15	Reading: Review 事前学修：[30分] 配付された資料を読み理解度を確認する。 事後学修：[60分] スライドに挙げた全てのポイントを復習する。	講義・演習	川崎

■ 教科書

毎回プリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

Glaxa の Report に各回の課題の添削を次回の授業までにフィードバックする。

■ 他の授業科目との関連

RW2 の発展的な内容を扱います。

■ 成績評価の仕方

授業毎の小テストと課題 50 % + 英作文課題 50 %

■ オフィスアワー・研究室等

4 階 非常勤講師室 火曜日昼休み(12:10 - 13:00)

■ 受講上の注意事項

*この授業は、指定されたクラスで履修します。

英語文献を読む

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBL5201

○遠藤花子

■ 授業の目的

英語で書かれた、看護・医療に関連する良質な論文や書物を読むことによって、高度な内容の英文を正確かつ迅速に理解する能力を養成する。英語論文の基本的な構造や使われている言葉などに注目しながら読むことで、論文に対する苦手意識をなくし、論文を読む習慣を身に付け、専門性の高い文献の理解ができるようになることを目的とする。この授業では、読解力の向上が中心目標だが、論文に書かれていることを受講生とともに議論をし、理解を深めていく。

■ 到達目標

1. 看護学に関する英語文献を精読し正確に理解することができる。
2. 英語の論文構造を理解し、読解力を向上することができる。
3. 論文に書かれていることについて議論することができる。
4. レイニンガーのサンライズ・モデルを理解することができる。

■ 学習の進め方

1. テキストを読みながら英語の訳読をする。
2. 書かれている内容を理解する。
3. 考えをまとめる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	Introduction 事前学修：[20分] Ethnonursing とは何かを考え、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストの興味のある箇所を調べる	講義・演習	遠藤
2	Culture Care Diversity and Universality Theory (1) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
3	Culture Care Diversity and Universality Theory (2) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
4	Culture Care Diversity and Universality Theory (3) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
5	Culture Care Diversity and Universality Theory (4) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
6	Culture Care Diversity and Universality Theory (5) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
7	Culture Care Diversity and Universality Theory (6) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
8	Culture Care Diversity and Universality Theory (7) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
9	Ethnonursing Research Studies (1) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
10	Ethnonursing Research Studies (2) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

No	内容	形式	教員
11	Ethnonursing Research Studies (3) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
12	Ethnonursing Research Studies (4) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
13	Ethnonursing Research Studies (5) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
14	Ethnonursing Research Studies (6) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤
15	Ethnonursing Research Studies (7) 事前学修：[60分] 当該範囲の分からない単語を調べ、内容をノートにまとめる 事後学修：[20分] テキストを読み返す	演習・講義	遠藤

■ 教科書

Leininger の Culture Care Diversity and Universality: A Theory of Nursing に関するプリントを配布します。

■ 参考書、参考資料等

その都度紹介します。

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、コメントを添え、Glexa 上で行います。

■ 他の授業科目との関連

「RW I」「RW II」を履修済みであること。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 50%

学期末レポート 50%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-12:50、メール(h-endo@redcross.ac.jp)でも随時受け付けます。

■ 受講上の注意事項

授業には必ず辞書を持参して下さい。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS200

○岡田彩子、松村穰、森田英幹、松島秀和、眞木充、雨宮守正、野呂彰

■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実践を系統的に学び、実践に役立てることを目的とする。

■ 到達目標

呼吸器系、循環器系、腎・泌尿器系の個々の疾患についての病態を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略について説明できる。

■ 学習の進め方

講義

授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進めていきます。

授業の参考資料は紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものと考えて下さい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 呼吸、循環器、腎臓、泌尿器に関する人体の構造と機能、病理学の資料を読み返す 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す	講義	岡田
2	循環器疾患内科① 動脈硬化症、虚血性心疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松村
3	循環器疾患内科② 血圧異常、不整脈の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松村
4	循環器疾患内科③ 心不全の検査、診断、治療および静脈系疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松村
5	循環器疾患外科① 冠血管、大血管疾患と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	森田
6	循環器疾患外科② 心臓弁・先天性心疾患と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書を読み返す	講義	森田
7	呼吸器疾患内科① 気管支および肺の感染性疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松島
8	呼吸器疾患内科② 気道疾患、閉塞性肺疾患、および肺循環疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	松島
9	呼吸器疾患外科① 肺腫瘍と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	眞木
10	呼吸器疾患外科② 胸部外傷と胸膜、縦郭の疾患と外科的治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	眞木
11	腎臓疾患(透析含む)① 腎不全の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	雨宮

No	内容	形式	教員
12	腎臓疾患② ネフローゼ症候群、糸球体腎炎、腎血管、尿細管の病変の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	雨宮
13	腎臓疾患③ 全身性疾患による腎障害の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	雨宮
14	泌尿器疾患① 尿路・性器の感染症、尿路の通過障害と機能障害の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	野呂
15	泌尿器疾患② 尿路・性器の腫瘍、尿路結石症に関する検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 講義資料および教科書の関連ページを読み返す	講義	野呂

■ 教科書

- ・浅野、梅村、川村、長谷川(2019年). 系統看護学講座・専門Ⅱ「呼吸器」成人看護学②. 第15版. 医学書院
- ・吉田、宮地、上塚、松田、小川ら(2019年). 系統看護学講座・専門Ⅱ「循環器」成人看護学③. 第15版. 医学書院.
- ・今井、内田、大東、加藤、神尾ら(2019年)系統看護学講座・専門Ⅱ「腎・泌尿器」成人看護学⑧. 第15版. 医学書院
- ・朝本、池田、池田、石川、井原ら(2017年)系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論. 第9版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

- ・大橋、谷澤、藤原、芝原.(2015年). 系統看護学講座・専門基礎分野「病理学」疾病のなりたちと回復の促進①. 第5版. 医学書院.
- ・田中(2016年). 系統看護学講座・専門基礎分野「病態生理学」疾病の成り立ちと回復の促進②. 第2版. 医学書院.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています。

また、「看護援助論実習レベルⅡ」の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取組み・リフレクションシート 15%

定期試験 85%

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師については、各授業終了後に質問を受ける。

遠隔授業の場合、質問はメールで受け付ける(岡田メールアドレス：a-okada@redcross.ac.jp)

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、乳腺、感覚器)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SBHS201

○奥原秀盛、中村謙介、日野秀嗣、秋山茂雄、井上智夫、野下展生、齊藤毅、石井清、栗田昭宏、三石剛

■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践にも役立てることを目的とする。

■ 到達目標

- ・生理機能の異常による病態について、解剖学、生理学の用語と概念で理解、説明できる。
- ・基本的な疾患の原因、発症、進展とその結果としての病状を病理学の用語で理解し、説明できる。
- ・運動器系、脳・神経系、乳腺外科、眼科、耳鼻科、皮膚科の疾患の病態生理を理解し、疫学、検査、診断、治療の概略を学ぶ。

■ 学習の進め方

- ・授業は基本的に教科書の内容に沿った講義をオムニバス方式で進める。
- ・授業の参考資料は紙媒体で配布するが、あくまでも補助的なものとして考える。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション ・本講義の概要と授業方法について ・リアクションペーパーの提出方法について 事前学修：[60分] 筋骨格系と脳神経系の解剖生理について、A4用紙各1枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	奥原
2	運動器疾患① 運動器疾患総論(診断・検査と治療・処置) 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、運動器疾患の診断・検査、治療・処置について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
3	運動器疾患② 運動器疾患各論①外傷性疾患 骨折と脱臼を中心に 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、骨折と脱臼について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
4	運動器疾患③ 運動器疾患各論②非外傷性疾患 変形性関節症を中心に 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、変形性関節症について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
5	運動器疾患④ 運動器疾患各論③ 非外傷性疾患 脊椎疾患を中心に 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、脊椎疾患について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	中村
6	脳・神経系疾患(内科)①復習 ・脳神経の構造と機能(解剖生理を中心に) ・症状とその病態生理(脳神経の障害に伴う症状) ・検査、診断と治療、処置(臨床現場で行われている項目) 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、脳神経の障害に伴う症状や脳神経系疾患の検査、診断と治療、処置について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	日野
7	脳・神経系疾患(内科)②疾患の理解 ・脊椎疾患(脊髄に起こる疾患) ・末梢神経障害(末梢に起こる疾患) 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、脊椎疾患、末梢神経障害について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	日野

No	内容	形式	教員
8	脳・神経系疾患(内科)③疾患の理解 ・筋疾患(筋肉に生じる疾患) ・脱髄、変性疾患(脱髄疾患、神経の変性により生じる疾患) ・脳、神経系の感染症(脳神経系に生じる感染症) 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、筋疾患、脱髄、変性疾患、脳、神経系の感染症について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	秋山
9	脳・神経系疾患(内科)④疾患の理解 ・中毒(中毒により神経に症状をきたす疾患) ・てんかん(てんかんの病態等) ・認知症(認知症をきたす疾患) ・内科疾患にともなう神経疾患(神経系の症状をきたす内科疾患) 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、中毒、てんかん、認知症について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	秋山
10	脳・神経系疾患(外科)① 第4章 検査・診断と治療・処置 C 治療・処置の①外科的治療法 第5章 疾患の理解 A 脳疾患の①脳血管障害、②脳腫瘍 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、頭部外傷、脳脊髄液の異常、脳血管内治療について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	野下
11	脳・神経系疾患(外科)② ・脳神経系の構造と機能、症状と病態生理 ・頭部外傷 ・脳脊髄液の異常、脳血管内治療 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、脳・神経系疾患の外科的治療法、脳血管障害、脳腫瘍について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	井上
12	乳腺外科 乳癌の診断と治療(疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱで購入した『臨床外科看護各論(医学書院)』を使用) 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、乳癌の診断と治療について、A4用紙2枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	齊藤
13	眼科疾患 成人疾患：緑内障、白内障、糖尿病網膜症 救急疾患：外相、網膜剥離等 (それに伴う解剖生理を含む) 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	石井
14	耳鼻科疾患 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	栗田
15	皮膚科疾患 事前学修：[60分] 詳細については、オリエンテーションで提示する 事後学修：[60分] 講義の内容を振り返り、ポイントをまとめる	講義	三石

■教科書

田中・横井・上原他(2019). 系統看護学講座・専門Ⅱ「運動器」成人看護学 10 第 15 版. 医学書院
 草刈・竹村・寺尾他系(2019). 統看護学講座・専門Ⅱ「脳・神経」成人看護学 7 第 15 版. 医学書院
 渡辺・東・川島他(2020). 系統看護学講座・専門Ⅱ「皮膚」成人看護学 12 第 15 版. 医学書院
 大鹿・平井他(2020). 系統看護学講座・専門Ⅱ「眼」成人看護学 13 第 14 版. 医学書院
 小松・生井・松崎他(2020). 系統看護学講座・専門Ⅱ「耳鼻咽喉」成人看護学 14 第 14 版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

大橋・谷澤・柴原他 (2021). 系統看護学講座・専門基礎「病理学」疾病のなりたちと回復の促進① 第 6 版. 医学書院.

田中越郎 (2021). 系統看護学講座・専門基礎「病態生理学」疾病のなりたちと回復の促進② 第 2 版. 医学書院.

北島政樹・江川幸二(2017). 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 第 9 版. 医学書院.

■ フィードバックの仕方

試験の対策、総評および特に注意が必要な点があれば、試験の前後 3 週間以内に、ポータルサイトあるいは LMS 等を通じて伝達する。

■ 他の授業科目との関連

本科目は、「人体の構造と機能Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」、「薬理学」「栄養学」などと密接に関連している。また看護援助論実習(レベルⅡ)の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

- ・出席確認は試験受験資格確認のためとし、評価は主に記述式または選択式の筆記試験で行う。
- ・リフレクションペーパー・講義への取り組み(20%)、定期試験(80%)を総合して評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師については、各授業終了後に教室で質問を受ける。

遠隔授業の場合、質問はメールで受け付ける(奥原メールアドレス：h-okuhara@redcross.ac.jp)

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(疾病論：血液、アレルギー、リウマチ・膠原病、外科学、産婦人科学、小児科学、検査学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
 教員：－ 科目ナンバー：SBHS250

○岡田彩子、佐藤博之、堀越正信、加藤敬二、新村兼康、宮本純孝、佐藤有子、塚本信宏

■ 授業の目的

解剖生理学等の基礎医学の知識を基にして、実際にどのような疾患が存在するのかを知り、その病態を科学的、論理的に理解した上で、診断のための検査、診断、治療や看護など、臨床の現場で行われている診療の実際を系統的に学び、実践に役立てることを目的とする。

■ 到達目標

血液、免疫系、産婦人科、小児科系、個々の疾患についての病態生理を理解し、疫学、検査、治療の概略について説明できる。外科、放射線医学の概論が理解できる。

■ 学習の進め方

[講義]

授業は教科書の内容を基本としたオムニバス方式で進めていきます。

授業の参考資料は、紙媒体で配布しますが、あくまで補助的なものとして考えて下さい。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[45分] 血液・免疫系、婦人科、小児に関する人体の構造と機能、病理学の資料を読み返す。 事後学修：[30分] 授業資料を読み返す。	講義	岡田
2	血液内科疾患、臨床検査学① 赤血球・白血球の異常に関する検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
3	血液内科疾患、臨床検査学② 造血器腫瘍の検査、診断、治療(総論) 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
4	血液内科疾患、臨床検査学③ 造血器腫瘍(白血病、リンパ腫)の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
5	血液内科疾患、臨床検査学④ 造血器腫瘍(他のリンパ増殖性疾患、骨髄腫)、出血性疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(博)
6	アレルギー：免疫の仕組みとアレルギー性疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	堀越
7	リウマチ、膠原病：自己免疫疾患とその機序と検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	堀越
8	臨床外科総論：Ⅰ手術侵襲に対する生体反応：炎症、感染症、創傷治癒について Ⅱ外科的治療の適応：腫瘍、外傷、熱傷について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	加藤
9	外科学各論① 外科治療を支える分野：麻酔法、呼吸管理、体液管理、栄養管理、輸血療法について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	新村
10	外科学各論② 外科治療の実際：外科的基本手技、低侵襲手術、臓器移植について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	新村

No	内容	形式	教員
11	産婦人科学① 外陰、膣、子宮の疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	宮本
12	産婦人科学② 卵管・卵巣の疾患の検査、診断、治療及び、月経異常と随伴症状、性感染症 についての検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	宮本
13	小児科学① 先天異常、新生児の疾患、循環器疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(有)
14	小児科学② 感染症、神経疾患、消化器疾患の検査、診断、治療 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	佐藤(有)
15	臨床放射線医学概論：画像診断、放射線治療、放射線防護について 事前学修：[45分] グレクサに提示された教科書の関連ページを読み、ポイントをまとめる。 事後学修：[30分] 授業資料および教科書の関連ページを読み返す。	講義	塚本

■ 教科書

- ・飯野、木崎、長岡、森(2019年). 系統看護学講座・専門分野Ⅱ「血液・造血器」成人看護学④. 第15版. 医学書院.
- ・岩田、川口、山口、岩淵、大路ら(2020年)系統看護学講座・専門分野Ⅱ「アレルギー・膠原病感染症」成人看護学⑩. 第15版. 医学書院.
- ・矢永 芦塚、石田、衛藤、岡本ら(2017年). 系統看護学講座・別巻「臨床外科看護総論」第11版. 医学書院.
- ・朝本、池田、池田、石川、井原ら(2017年). 系統看護学講座・別巻「臨床外科看護各論」第9版. 医学書院.
- ・末岡、鈴木、池田、神野、野口ら(2019年). 系統看護学講座・専門分野Ⅱ「女性生殖器」成人看護学⑨. 第15版. 医学書院.
- ・奈良間、丸、西野、名越、茂本ら(2020年). 系統看護学講座・小児臨床看護各論 小児看護学②. 第14版. 医学書院.
- ・尾尻、福田、有泉、岩楯、朝倉ら(2021年). 系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学. 第10版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

- ・大橋、谷澤、藤原、芝原.(2015年). 系統看護学講座・専門基礎分野「病理学」疾病のなりたちと回復の促進①. 第5版. 医学書院.
- ・田中(2016年). 系統看護学講座・専門基礎分野「病態生理学」疾病の成り立ちと回復の促進②. 第2版. 医学書院.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、採点後の答案用紙の返却ならびに試験問題と採点基準の解説を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」「薬理学」「栄養学」などと密接に関連しています。

本科目はレベルⅢ実習の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み・リフレクション 15%

定期試験 85%

■ オフィスアワー・研究室等

非常勤講師については、各授業終了後に質問を受ける。

遠隔授業の場合、質問はメールで受け付ける(岡田メールアドレス：a-okada@redcross.ac.jp)。

疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目番号：SBHS300

○林公輔

■ 授業の目的

精神看護の実践に必要な精神医学の方法と精神疾患に関する基本知識を学ぶとともに、当事者にとって「精神を病む」こととはどのようなことかを理解する。

■ 到達目標

1. 精神疾患の病態を理解し、症状や状態を把握し記載できるようになる。
2. 精神疾患だけでなく、当事者の中にある健康な心にも目を向けることができるようになる。
3. 生物的・心理的・社会的な存在としての人間を理解し、当事者をめぐる関係性を把握できるようになる。
4. 精神疾患を抱えるひとに対する、倫理的で治療的な関わりを理解する。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義形式で行い、適宜、教科書を用いながら進める。
2. 参考資料の提示：学生個々で学びを深められるように、配布資料に授業テーマに関連した参考図書や資料を記す。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	精神医学概論 事前学修：[30 分] 精神医学に対する疑問・質問などを挙げておく 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点を挙げる	講義	林
2	統合失調症について 事前学修：[30 分] 教科書の関連箇所の精読 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点を挙げる	講義	林
3	気分障害について 事前学修：[30 分] 教科書の関連箇所の精読 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点を挙げる	講義	林
4	摂食障害について 事前学修：[30 分] 教科書の関連箇所の精読 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	林
5	年齢と精神疾患について(思春期・青年期の問題やパーソナリティ障害など) 事前学修：[30 分] 教科書の関連箇所の精読 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	林
6	身体と精神の関連について(主にせん妄、認知症) 事前学修：[30 分] 教科書の関連箇所の精読 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	林
7	物質関連障害について(主にアルコール依存症) 事前学修：[30 分] 教科書の関連箇所の精読 事後学修：[30 分] 配布資料を読み返して復習し、疑問点があれば抽出しておく。	講義	林
8	まとめ：精神科における生と死 事前学修：[30 分] これまでの配布資料を読み返して復習し、疑問点を挙げる 事後学修：[120 分] 本科目全般について、配布資料を読み返して復習しておく	講義	林

■ 教科書

武井麻子(2021). 精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学 [1]. 第 6 版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

中井久夫、山口直彦(2004). 看護のための精神医学. 第 2 版. 医学書院.

■ フィードバックの仕方

定期試験実施後 2 週間以内に、試験の正解と解説を Glexa にて公開する。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。また、精神保健看護学Ⅰ・Ⅱと深くかかわっている。

■ 成績評価の仕方

授業への取組み 20 %、定期試験 80 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつける。

薬理学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS251

○町田充、高野温志、鈴木博、竹内絵美、問註所英明、亀井陽子、井上朋子、小村理香

■ 授業の目的

薬物の体内動態と主作用・副作用の両面から薬物と生体との相互作用について学習し、看護の仕事に役立つ基礎及び臨床薬理の知識を修得する。臨床現場で使われている薬物の意義や役割を正しく理解する。

■ 到達目標

- ・薬理作用に基礎に基づき、薬物の特徴・作用機序・人体への影響について理解できる。
- ・主な薬物の特徴について理解できる。

■ 学習の進め方

授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進めていきます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

- ・授業は教科書の内容を基本とした講義をオムニバス方式で進めていきます。

No	内容	形式	教員
1	薬理の概要、看護と薬理 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	町田充
2	薬理学の基礎知識、体内情報伝達機構、薬の作用機序、薬物体内動態、抗感染症薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	高野温志
3	抗がん薬、免疫治療薬、抗アレルギー、抗炎症薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	鈴木博
4	末梢神経に作用する薬、中枢神経に作用する薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	竹内絵美
5	心臓・血管系に作用する薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	問註所英明
6	呼吸器・消化器・生殖器に作用する薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	亀井陽子
7	物質代謝物質に作用する薬、皮膚外用薬、眼科用薬 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	井上朋子
8	救急の際に使用される薬物、漢方薬、消毒薬、輸液製剤、輸血剤 事前学修：[80分] 教科書の関連頁を読み、要点をノートにまとめる。 事後学修：[10分] 授業の配布資料やノートを読み直す。	講義	小村理香

■ 教科書

系統看護学講座・専門基礎「薬理学」疾病の成り立ちと回復の促進③ 医学書院

■ 参考書、参考資料等

NEW 薬理学 南江堂

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後に解説時間を設ける

■ 他の授業科目との関連

人体の構造と機能、疾病の成り立ちと回復の促進、栄養学等

■ 成績評価の仕方

定期試験(80%)、授業参加度(20%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受ける

■ 受講上の注意事項

授業への主体的な参加を期待します。

疫学

単位：2単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS252

○川崎洋平

■ 授業の目的

人間集団を対象として疾病の原因を解明し予防するための学問である疫学の考え方を学ぶ。

EBM や EBN において根拠を与える疫学の方法について学ぶ。

集団の健康状態を把握するための指標について学ぶ。

■ 到達目標

1. 疫学に関する用語とその意味を正しく説明できる。
2. 疫学研究の方法を説明できる。
3. 疫学にあらわれる様々な指標の意味を説明し、計算できる。
4. 疫学データの解析結果を解釈できる。

■ 学習の進め方

授業の展開：講義を主体とするが、演習を適宜行って、理解を着実にする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

下記の内容は、授業の進行度によって変更(追加・削除)する可能性があります。

No	内容	形式	教員
1	疫学概念と歴史 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
2	疫学研究(1): 疫学研究の種類・標本抽出 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
3	疫学研究(2): 疫学研究の種類(前向き研究と後ろ向き研究) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
4	疫学研究(3): 相対危険と寄与危険 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
5	疫学研究(4): 因果関係とバイアス 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
6	疫学研究(5): まとめと演習問題 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・演習	川崎 洋平
7	疾病の頻度の指標(1): 疾病指標の概念 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
8	疾病の頻度の指標(2): 死亡率・致命率 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
9	疾病の頻度の指標(3): 年齢調整(直接法と間接法) 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
10	疾病の頻度の指標(4): まとめと演習問題 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・演習	川崎 洋平
11	保健統計調査(1): 人口統計 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

No	内容	形式	教員
12	保健統計調査(2): 出生率・死亡率 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
13	保健統計調査(3): まとめと演習問題 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義・演習	川崎 洋平
14	スクリーニング(1): スクリーニングについて 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平
15	スクリーニング(2): 感度と特異度 事前学修：[30分] 事前配付資料を読み、A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配付資料を読み返す。	講義	川崎 洋平

■ 教科書

授業で使用する資料は Glexa にアップロードをするので、各自ダウンロード・印刷すること

■ 参考書、参考資料等

浅野嘉延(2018年). 楽しく学べる!看護学生のための疫学・保健統計. 改訂3版. 南山堂.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験終了後2カ月以内を目途に Glexa で行う。

■ 他の授業科目との関連

疫学は統計学を応用した学問であるので、保健統計学の学習内容に基づく。

■ 成績評価の仕方

定期試験70%、授業への取り組み30%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後及び開講期間中の金曜日(2限・18時以降)に407研究室(広尾キャンパス)又はオンラインで質問を受け付ける

■ 受講上の注意事項

疫学は保健師のみならず臨床看護師を目指す学生にとっても EBN を理解するために重要な科目である。

栄養学

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SBHS351

○田中明穂

■ 授業の目的

栄養の定義及び栄養素の種類と働き、エネルギー代謝、栄養素の消化吸収、栄養素の体内代謝について基礎的な内容を学びます。さらに、栄養ケア・マネジメント及びライフステージごとの栄養、臨床栄養の基礎となる知識を習得することを目的とします。

■ 到達目標

1. 栄養素の種類、はたらきについて説明できる。
2. エネルギー代謝について説明できる。
3. 栄養素の消化吸収と体内代謝について説明できる。
4. 栄養ケア・マネジメント及びライフステージごとの栄養、臨床栄養の基礎となる知識を理解する。

■ 学習の進め方

1. 下記の授業内容に沿って、教科書を中心に講義形式で行います。
2. レポート(書き込み資料)を配布します。
3. 予習は教科書の指定された章を読み、レポートにまとめてください。
4. 授業中に質疑応答の時間を設けます。積極的に授業に参加してください。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	人間栄養学と看護 事前学修：[30分] 授業開始前に第1章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げる	[講義]	田中 明穂
2	栄養素の種類とはたらき 事前学修：[30分] 授業開始前に第2章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げる	[講義]	田中 明穂
3	食物の消化と栄養素の吸収・代謝 事前学修：[30分] 授業開始前に第3章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げる	[講義]	田中 明穂
4	エネルギー代謝、食事と食品 事前学修：[30分] 授業開始前に第4-5章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げる	[講義]	田中 明穂
5	栄養ケア・マネジメント、栄養状態の評価・判定 事前学修：[30分] 授業開始前に第6-7章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げる	[講義]	田中 明穂
6	ライフステージと栄養、健康づくりと食生活 事前学修：[30分] 授業開始前に第8章、第10章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げる	[講義]	田中 明穂
7	臨床栄養 事前学修：[30分] 授業開始前に第9章を通読し、レポート該当箇所にまとめる 事後学修：[30分] 授業内容の復習、レポートの該当箇所を仕上げる	[講義]	田中 明穂
8	総まとめ 事前学修：[30分] 授業開始前に総復習をしてくる 事後学修：[30分] 全授業内容の復習をし、レポート内容を確認すること	[講義]	田中 明穂

■ 教科書

系統看護学講座 専門基礎分野 「人体の構造と機能③ 栄養学」 医学書院

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

筆記試験のフィードバックは、試験実施後2週間以内に解説時間を設けてを行う

■ 他の授業科目との関連

本科目で出てくる栄養学の専門用語は、看護を学ぶ皆さんには馴染みの薄い言葉かもしれません。しかし、チーム医療を基本とした NST (ニュートリションサポートチーム)が組織化されつつある現在、看護を学ぶ皆さんも、こうした栄養学の専門用語に慣れ、知識を深める必要があります。この科目では、看護および関連科目で学んできた内容と栄養学の関係を明らかにしながら、実践的な例を挙げて講義を進めていきます。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験 80%
2. レポート 20%

■ オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付けます。

■ 受講上の注意事項

積極的に授業に参加し、分からない内容、もっと知りたい内容があれば、授業内及び授業終了後に質疑時間を設けます。質問に関する解説は、全体で共有するため、次回の授業で詳しく説明をします。沢山の疑問、質問をお待ちしています。

ラボラトリー・プラクティス

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SBHS202

○天野雅子、江口和男

■ 授業の目的

病気の本態とその成り立ちに関する基本的理論を説明できるようになるために臨床検査に関する知識を習得することを目的とする

■ 到達目標

- ①医学的基礎知識を基盤に臨床検査の意義、役割が理解できる。
- ②症候編、疾患編の講義内容から基本的な臨床検査値が解釈できる。
- ③臨床検査に関連する医療安全性を考慮して、患者検体を適切に採取し、検体搬送前の性状観察ができ、適切な検体搬送や患者搬送手順を理解できる。
- ④医師の検査指示から臨床検査室ならびにその担当者とのコミュニケーションを通して、連携がとれる。
- ⑤患者病態を反映する臨床検査情報を読み取り、医師の診断、治療計画に基づく患者のケア方針が組み立てられる。
- ⑥ POCT(Point of care testing) の概念を理解し、その結果と検査室結果が理解でき、特に糖尿病患者の自己血糖測定指導などが理解できる。
- ⑦生理機能検査時における患者搬送前の注意事項を把握し、適切な検査実施体制を管理できる。

■ 学習の進め方

下記の授業内容に沿って講義及び実習形式で進めていきます。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション： ①臨床検査の意義と役割 ②基本的臨床検査の理解と検体の採取と取り扱いについて 血液検査 微生物検査 事前学修：[30分] 教科書の該当項目を読み疑問点を明らかにしておく 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を読み返す	講義	天野
2	基本的臨床検査の理解と検体の採取と取り扱いについて 一般検査 呼吸機能 事前学修：[30分] 教科書の該当項目を読み疑問点を明らかにしておく 事後学修：[30分] 授業内容と教科書を読み返す	講義	天野
3	スモールグループに分かれローテーション 事前学修：[30分] 授業資料と教科書を読み要点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 実習内容をノートにまとめる	実習 見学	天野
4	血液、微生物学的検査 事前学修：[30分] 授業資料と教科書を読み要点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 実習内容をノートにまとめる	実習 見学	天野
5	スモールグループに分かれローテーション 事前学修：[30分] 授業資料と教科書を読み要点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 実習内容をノートにまとめる	実習 見学	天野
6	一般検査 輸血 呼吸機能 事前学修：[30分] 授業資料と教科書を読み要点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 実習内容をノートにまとめる	実習 見学	天野
7	POCT (point of care testing) の概念と検査結果の理解と対象支援について 事前学修：[30分] 教科書の第1部第2章Fを読みA4用紙2枚程度の予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容とノートを振り返る	講義	江口
8	生理機能検査及び検査時の援助 事前学修：[30分] 教科書第2部10章を読みA4用紙4枚程度にまとめ予習ノートを作成する。 事後学修：[30分] 授業内容とノートを振り返る	実習	江口

■教科書

奈良信雄・和田隆志(2019). 系統看護学講座別巻「臨床検査」. 第8版. 医学書院.

■参考書、参考資料等

別途提示

■フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは試験終了後3週間以内に解説資料の提示及び解説を行う。レポートのフィードバックは後日コメントを付して返却する。

■他の授業科目との関連

本科目は「人体の構造と機能Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ」「疾病の成り立ちと回復促進」などと密接に関連しています。

■成績評価の仕方

レポートもしくは定期試験 70% 実習への取り組み 30%

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受けつける。

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN200

○中村滋子、岡田彩子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)で学んだことも踏まえつつ、対象者の生を支える看護実践に必要な身体診察技法の知識と技術について系統的に学び、それらを統合して、実践する力を養う。

■ 到達目標

1. 自分自身の身体を用いながらフィジカルアセスメントに必要な技術を体験することを通して、基本的な知識、技術、態度を身につけることができる。
2. 学んだ技術を用いて得た身体情報について解釈することができる。
3. 解釈した内容について専門用語を用いながら表現することができる。
4. 援助技術を通して情報を得ながら相手をケアすること、自らの身体を通して学んだことを表現できる。
5. 学んだ知識・技術を活用し実践に即した態度で総合的にフィジカルアセスメントを行うことができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：アセスメントに必要な知識を講義のなかで確認する。技術的な側面は動画の視聴やデモンストレーションで示しながら進められるので、学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことは積極的に表現する。ショートディスカッションには主体的に参加し理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、全体ディスカッションで体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。
5. 総合演習では、グループメンバーでケースについてのフィジカルアセスメントを行ない、プロセスも含めてプレゼンテーションする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話す 事前学修：[30分] 事前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
2	見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる・話すことのフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	身体を守る・加齢による変化 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	殿城
4	身体を守ることに関するフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	生命を維持する① 呼吸器系 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	岡田
6	呼吸器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	生命を維持する② 循環器系 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	岡田

No	内容	形式	教員
8	循環器系のフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
9	生命の危機 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義	中村
10	生命の危機におけるフィジカルイグザム 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[45分] グループワークの課題に取り組む	演習	全員
12	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] グループワークの課題に取り組む 事後学修：[45分] グループワークの課題に取り組む	演習	全員
13	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] プレゼンテーションの課題に取り組む 事後学修：[45分] プレゼンテーションの課題に取り組む	演習	全員
14	総合演習(フィジカルイグザミネーションを用いたグループワークによる事例検討) 事前学修：[45分] プレゼンテーションの課題に取り組む 事後学修：[45分] 発表後の振り返りシートの記入	演習	全員
15	まとめ 事前学修：[30分] 全体の振り返りシートに取り組む 事後学修：[60分] 総合演習レポートに取り組む	講義	中村

■教科書

- 守田美奈子監修(2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.
- 志自岐康子他編(2020). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

- 奈良信雄監訳(2011). 世界で一番美しい人体図鑑. エクスナレッジ.

*資料は適宜配布

■フィードバックの仕方

- 事前課題は授業中に活用する。
- 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
- 演習記録に記載された内容、Glexa に投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
- 総合演習レポートにはコメントを記載し機会をつくり返却する。

■他の授業科目との関連

- この科目は看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっている。
- 看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント①)、看護技術論Ⅱ(フィジカルアセスメント②)で一連のフィジカルアセスメントを学ぶ。

■成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz など)の提出 10% (提出期限を過ぎると減点あり) 総合演習レポート 30% 筆記試験 60%

■オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設定する(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：岡田(410)、中村(424)、殿城(425)、酒井・竹山(431)、篠原(429)、原(413)、中島(414)、山本(430)、川端(415)

■受講上の注意事項

30分以上の遅刻は欠席とみなす。

基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。

看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNFN201

○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

人々の健康を促進するために必要な日常生活行動の援助技術、診療の補助に関わる援助技術について学習し、援助技術を通して相手をケアすることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 援助技術を実践するために必要な知識と方法を学ぶことができる。
2. 臨床の様々な状況のなかで、どのように看護技術が展開されるのか、看護師、患者の役割を体験しながら、学ぶことができる。
3. 体験的に学んだ内容を表現することができる。
4. 援助技術を用いて相手をケアすることを学び、看護を実践する基礎的な能力を身につけることができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 前回の振り返り：事前学修あるいは前回の講義での質問などを中心にディスカッションを行う。
2. 授業の展開：講義にて、看護技術を実践するために必要な知識を確認する。技術的な側面は教員によるデモンストレーションや動画視聴で示す。学生自身がそのプロセスのなかで気が付いたり感じたり考えたりしたことについては、ショートディスカッションを何度か行うことで理解を深める。
3. 演習：基本的手技について、患者役、看護師役、ガイド役などを交代しながら行う。グループ内で考えながら展開し、演習の最後には全体でディスカッションの時間を設け体験を共有する。
4. 振り返り：演習記録を記入することで、授業内で体験的に学んだことを振り返り、整理する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	薬物療法・検査時の援助技術 事前学修：[30分] 1週間前に提示された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
2	薬物療法・検査時の援助技術 <技術演習：注射器の取り扱い、アンプル・バイアルの吸い上げ> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
3	静脈血採血の援助技術 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
4	静脈血採血の援助技術 <技術演習：静脈血採血> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
5	薬物療法時(注射法)の援助技術 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	殿城
6	薬物療法時の援助技術 <技術演習：皮下注射・筋肉注射> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
7	排泄に関する援助技術(グリセリン洗腸) 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
8	排泄に関する援助技術 <技術演習：グリセリン洗腸> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員

No	内容	形式	教員
9	呼吸に関する援助技術①(酸素療法・気道加湿法) 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
10	呼吸に関する援助技術① <技術演習：酸素療法・気道加湿法> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
11	呼吸に関する援助技術②(口腔内・鼻腔内吸引) 事前学修：[30分] 前週に配布された事前課題に取り組む 事後学修：[30分] 演習記録および振り返り課題に取り組む	講義・演習	中村
12	呼吸に関する援助技術② <技術演習：口腔内・鼻腔内吸引> 事前学修：[30分] テキストを読み、動画を視聴して、事前課題に取り組む 事後学修：[60分] ①演習記録に取り組み、自己の学習課題や疑問点を明確化する ②技術の反復練習を行う	演習	全員
13	総合演習(技術チェック・振り返り) 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを復習し、技術の反復練習を行う 事後学修：[30分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック	全員
14	総合演習(技術チェック・振り返り) 事前学修：[60分] 技術チェックのポイントを復習し、技術の反復練習を行う 事後学修：[30分] 技術チェックの結果を振り返り、改善点を見出す	技術チェック	全員
15	実践に向けてのまとめ 事前学修：[60分] 知識の確認問題に取り組む 事後学修：[60分] 技術チェックの結果および知識の確認問題を見直す	講義	殿城

■ 教科書

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術1アドバンス. インターメディカ.
3. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術2アドバンス. インターメディカ.
4. 志自岐康子他編 (2021). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術. 第6版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

1. 吉田みつ子・本庄恵子監修 (2021). 新訂版 写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス. インターメディカ.
2. 川嶋みどり監修 (2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

*資料は適宜配布

■ フィードバックの仕方

1. 事前課題は授業中に活用する。
2. 提出された演習記録は、必要時コメントを記載して返却する。
3. 演習記録に記載された内容、Glexaに投稿された学生の意見・感想・質問について、次回授業時に振り返りを行い、共有する。
4. 技術チェックのフィードバックは、試験終了後に採点者が行う。
5. 筆記試験のフィードバックは、後期ガイダンスのある週に、解説資料の配布を通じて行う。配布日時は Glexa にて連絡する。技術チェックの採点表も同日に返却する。

■ 他の授業科目との関連

1. この科目は看護援助論実習 [レベルⅡ] の履修要件になっている。
2. 看護技術論Ⅲ(基礎看護技術①)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術②)、看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)で一連の基礎看護技術を学ぶ。

■ 成績評価の仕方

演習記録・Glexa (Forum・Quiz など)の提出 10%(提出期限を過ぎると減点あり)、技術チェック 30%、筆記試験 60%

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワー：開講日の授業終了後 30分(講義・演習を行った講義室・実習室、研究室)

技術オフィスアワー：開講期間中に実習室に教員が待機する時間を設ける(技術の練習や質問など自由に行うことができる)。詳細な日程は別途提示する。

研究室：殿城(425研究室)、中村(424研究室)、酒井・竹山(431研究室)、篠原(429研究室)、原(413研究室)、中島(414研究室)、山本(430研究室)、川端(415研究室)

■ 受講上の注意事項

- ・30分以上の遅刻は欠席とみなす。

- ・基本的にすべて実習ユニフォーム・実習靴で行う。
- ・実習要項を参照し、身だしなみを整えること。
- ・ディスカッション・演習には積極的に参加し、考えや感想を表現すること。

看護援助論 I (看護過程)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNCN200

○奥原秀盛、岡田彩子、仁昌寺貴子、殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

健康上の問題や障害をもつ人々の生活上のニーズや諸課題を明らかにし、その解決に向けた的確な援助を提供するための問題解決のプロセスを学ぶ。これを通じて、看護が蓄えてきた知識や技術を包括的に再編成し、方向性を明示しながらケアを実践する力を養う。

■ 到達目標

- ・看護の対象者の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解することができる。
- ・看護の対象者の健康について全体論的な視点から捉えることができる。
- ・看護の対象者の健康に資するための看護援助を計画することができる。

■ 学習の進め方

AL

看護過程についての講義と事例を用いた演習(個人ワーク、グループワーク (GW)、発表・討論、解説)を通じて学ぶ。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 看護過程とは 看護記録の法的位置づけ 事例 1 配布 事前学修：[30 分] レベル I 実習のレポートを読み直し、自分の行った看護について振り返る。 事後学修：[60 分] レベル I 実習を振り返り、看護過程の視点から十分出来た点と不十分だった点について検討する。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
2	事例 1 アセスメント(医学情報の整理、病態関連図含む)① 事前学修：[60 分] 看護過程におけるアセスメントについて調べるとともに、事例 1 の医学情報について調べまとめる。 事後学修：[60 分] 講義資料およびグループワークを振り返り、事例 1 の医学情報について調べまとめる	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
3	事例 1 アセスメント(医学情報の整理、病態関連図含む)② 事前学修：[60 分] 事例 1 の医学情報について調べるとともに、自分なりに医学情報の整理、病態関連図を書いてみる。 事後学修：[60 分] グループワークを振り返り、事例 1 の病態関連図を書いてみる。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
4	事例 1 アセスメント(医学情報の整理、病態関連図含む)③ 事前学修：[60 分] 事例 1 の医学情報について調べるとともに、自分なりに病態関連図を書いてみる。 事後学修：[60 分] グループワークを振り返り、事例 1 の病態関連図について見直す。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
5	事例 1 アセスメント(医学情報の整理、病態関連図含む)④ 事前学修：[60 分] 事例 1 の医学情報について調べるとともに、自分なりに病態関連図を書いてみる。 事後学修：[60 分] グループワークを振り返り、事例 1 の病態関連図について見直す。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
6	事例 1 アセスメント関連図と全体像描写(看護問題抽出含む)① 事前学修：[60 分] 看護過程におけるアセスメント関連図と全体像描写について調べまとめる。 事後学修：[60 分] グループワークを振り返り、自分なりに事例 1 のアセスメント関連図と全体像を見直す。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
7	事例 1 アセスメント関連図と全体像描写(看護問題抽出含む)② 事前学修：[60 分] 自分なりに事例 1 のアセスメント関連図と全体像を書いてみる。 事後学修：[60 分] グループワークを振り返り、事例 1 のアセスメント関連図と全体像について見直す。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員

No	内容	形式	教員
8	事例1 アセスメント関連図と全体像描写(看護問題抽出含む)③ 事前学修：[60分] 自分なりに事例1のアセスメント関連図と全体像から看護問題を抽出してみる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例1のアセスメント関連図、全体像、看護問題について見直す。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
9	事例1 看護計画の立案(期待される結果・実施計画)① 事前学修：[60分] 看護過程における看護計画の立案について調べまとめる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、自分なりに事例1の看護計画を立案してみる。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
10	事例1 看護計画の立案(期待される結果・実施計画)② 事前学修：[60分] 自分なりに事例1の看護計画を立案してみる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例1の看護計画を見直す。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
11	事例1 看護計画の立案(期待される結果・実施計画)③ 事例1 発表会の資料作成、提出 事前学修：[60分] 自分なりに看護計画を見直す。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例1の看護計画を見直し、発表会に備える。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
12	事例1 発表会 事例2 資料配布 事前学修：[60分] 発表会に備え、他のグループに伝えたいこと及び質問したいことについてまとめる。 事後学修：[60分] 各グループの発表会資料を見直し、自己および自己グループの看護過程を振り返る。	演習(GW)	全員
13	事例2 アセスメント(医学情報の整理、病態関連図含む)① 事前学修：[60分] 事例2の医学情報について調べまとめる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2の医学情報について調べるとともに、自分なりに病態関連図を書いてみる。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
14	事例2 アセスメント(医学情報の整理、病態関連図含む)② 事前学修：[60分] 事例2の医学情報について調べ、自分なりに病態関連図を書いてみる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2の医学情報、病態関連図を見直す。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
15	事例2 アセスメント(医学情報の整理、病態関連図含む)③ 事前学修：[60分] 事例2の医学情報について調べ、自分なりに病態関連図を書いてみる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2の医学情報、病態関連図を見直す。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
16	事例2 アセスメント関連図と全体像描写(看護問題抽出含む)① 事前学修：[60分] 自分なりに事例2のアセスメント関連図を書いてみる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2のアセスメント関連図を見直す。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
17	事例2 アセスメント関連図と全体像描写(看護問題抽出含む)② 事前学修：[60分] 自分なりに事例2のアセスメント関連図と全体像を書いてみる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2のアセスメント関連図と全体像を見直す。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
18	事例2 アセスメント関連図と全体像描写(看護問題抽出含む)③ 事前学修：[60分] 自分なりに事例2のアセスメント関連図と全体像を書いてみる。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2のアセスメント関連図と全体像を見直す。	講義・演習 (GW)	奥原・岡田 全員
19	事例2 看護計画の立案(期待される結果・実施計画)① 事前学修：[60分] 自分なりに事例2の看護計画を立案する。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2の看護計画を見直す。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員
20	事例2 看護計画の立案(期待される結果・実施計画)② 事前学修：[60分] 自分なりに事例2の看護計画を立案する。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2の看護計画を見直す。	講義・演習 (GW)	岡田・奥原 全員

No	内容	形式	教員
21	事例2看護計画の立案(期待される結果・実施計画)③ 事例2の発表会資料作成、提出 事前学修：[60分] 自分なりに事例2の看護計画を立案する。 事後学修：[60分] グループワークを振り返り、事例2の看護計画を見直す。	講義・演習(GW)	岡田・奥原 全員
22	事例2発表会 事前学修：[60分] 発表会に備え、他のグループに伝えたいこと及び質問したいことについてまとめる。 事後学修：[60分] 各グループの発表会資料を見直し、自己および自己グループの看護過程を振り返る。	演習(GW)	全員
23	まとめ 事前学修：[60分] 各グループの発表会資料を見直す。 事後学修：[60分] 全体を振り返り、看護過程についてまとめる。	講義・演習(GW)	奥原・岡田 全員

■ 教科書

授業は配付資料を用いて行い、教科書は使用しない。

■ 参考書、参考資料等

適時、参考書や文献などを紹介する。

■ フィードバックの仕方

毎回講義の冒頭で、リフレクションペーパーへのコメントを行う。またグループワーク時や発表会後のコメントを通じて、事例検討に関するフィードバックを行う。課題レポートのフィードバックは、後期ガイダンスにて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅡ〕などの2年次以上の実習では、学生一人ひとりが受け持ち患者の個別の看護計画を立てるので、講義と演習にしっかり取り組むこと。

この科目は、看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件になっている。

■ 成績評価の仕方

事例を用いた演習 50%、試験(課題レポート) 40%、その他(グループワークへの参加度) 10%で総合的に評価する。

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30 - 13:00 奥原研究室(406)岡田研究室(410)仁昌寺研究室(423)殿城研究室(425)中村研究室(424)酒井研究室(431)篠原研究室(429)原研究室(413)中島研究室(414)山本研究室(430)竹山研究室(431)川端研究室(415)

■ 受講上の注意事項

出席は、リアクションペーパーの提出によって行う。

看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目番号：SNCN201

○楠田智子、仁昌寺貴子、住谷ゆかり

■ 授業の目的

人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の諸機能の性質および、それらが障害されたときの影響を理解し、看護援助の目標と方法を導き出すための基礎知識を養う。

■ 到達目標

1. 人間の栄養・代謝と排泄にかかわる心身の正常な諸機能を説明できる。
2. 人間の栄養・代謝と排泄に関する機能障害が生じたときの生活への影響を説明できる。
3. 人間の栄養・代謝と排泄障害により治療が必要になった時の生活への影響を説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 必要時には、授業日前に Glexa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	食と栄養の意義と心身の諸機能 事前学修：[30分] 教科書ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 264-266、269.3-278 頁を読み、食と栄養の意義についてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	仁昌寺
2	嚥下のメカニズムと機能障害と生活への影響 事前学修：[30分] 教科書ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 266.2-269 頁を読み、消化・吸収の生理学的メカニズムについてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	仁昌寺
3	消化吸収機能の障害と生活への影響・援助 事前学修：[30分] 教科書ナーシンググラフィカ 基礎看護学③基礎看護技術 279-288 頁を読み、食事・栄養に関する援助方法の種類についてポイントをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
4	排泄機能障害と生活への影響・援助 事前学修：[30分] 系統看護学講座・専門Ⅱ「消化器」成人看護学⑤、287 ⑥-290 頁を読み、下痢・便秘時の援助のポイントについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
5	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討 事前学修：[30分] 第4回講義後に配布する事例を読み、対象者の健康問題・生活への影響をノートにまとめる 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	仁昌寺
6	食行動の発達段階の特徴(小児) 事前学修：[30分] 第1～5回の授業の内容を復習し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	楠田
7	子どもの食事・栄養摂取の方法と援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
8	発達段階に応じた消化吸収機能の障害と援助(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
9	発達段階に応じた排泄障害への治療と援助(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田

No	内容	形式	教員
10	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	楠田
11	発達段階に応じた消化吸収機能(高齢者) 事前学修：[30分] 人体の構造と機能Ⅰ(消化と吸収)について復習し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
12	嚥下機能障害と援助方法(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	住谷
13	排泄機能の障害と援助方法(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
14	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討①(高齢者) 事例内容についてオンデマンド教材を視聴し、課題についてまとめたものを提出する 事前学修：[30分] 事例検討に関する課題学修を行う 事後学修：[30分] 課題学修内容を読み返し、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	講義(オンデマンド)	住谷
15	栄養・代謝、排泄障害とその援助に関する事例検討②(高齢者) 事例検討課題を学生間で共有し、看護援助の方向性と援助方法を検討する 事前学修：[30分] 事例検討に関する課題学修内容についてポイントをまとめる 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	住谷

■教科書

志自岐康子他編(2021). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術. 第6版. メディカ出版.
中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術. 第4版. メディカ出版.

■参考書、参考資料等

南川雅子他(2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 成人看護学⑤. 第15版. 医学書院.
守田美奈子監修(2020). 新訂版 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス. インターメディカ.
中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護. 第6版. メディカ出版.
明石恵子編(2014). ナーシンググラフィカ 健康の回復と看護② 栄養代謝機能障害. 第3版. メディカ出版.
堀内ふき他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害. 第6版. メディカ出版.
堀内ふき他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践. 第5版. メディカ出版.
人体の機能と構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで用いた教科書を使用する。
※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、試験終了後に採点基準、解答傾向の解説を Glexa 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

■他の授業科目との関連

1. 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに基づいた看護援助についての内容を扱う。
2. 看護援助論Ⅰ、看護技術論Ⅱ①②、看護技術論Ⅲ①②、健康レベル別看護学演習Ⅰに関連する。
3. 本科目の修了試験受験資格を有することが看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、筆記試験 70%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日、授業開始後 30 分間担当教員が対応します。
仁昌寺(423 研究室)、楠田(421 研究室)、住谷(401 研究室)

看護援助論V(活動と休息)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNCN202

○住谷ゆかり、仁昌寺貴子、楠田智子

■ 授業の目的

人の生活の中で、活動と休息のために必要な身体の仕組みと働きを理解し、その機能が維持されるとき、あるいは脅かされる状況を多角的にアセスメントし、援助を考えるための基礎知識を学ぶ。

■ 到達目標

1. さまざまな年齢や異なる状況において活動と休息とは何かを説明できる。
2. 生活行動に関連する身体の成り立ちを説明できる。
3. 生活行動に関連する身体の仕組みや働きを説明できる。
4. 活動と休息が脅かされるときへの生活への影響と援助の方向性を説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修課題に取り組み、学習に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 必要時には、授業日前に Glexa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	発達段階に応じた活動と休息のリズム形成 事前学修：[30分] 街で見かける子ども(0~15歳)の動きに着目し、一場面についてその様子が分かるように記述する 事後学修：[30分] 現代社会において、子どもの活動と休息に関連すると思われる健康問題の記事をひとつ取り上げ要約し、自分の考えを A4 用紙 1 枚にまとめる	講義 ディスカッション	楠田
2	活動と事故/安全、生活の中での配慮(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
3	発達段階に応じた活動と休息の障害と援助(小児) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	楠田
4	子どもの活動と休息に関する健康問題① 事前学修：[30分] GW の課題に取り組む 事後学修：[30分] 発表資料を完成させる	GW ディスカッション	楠田
5	子どもの活動と休息に関する健康問題② 事前学修：[30分] 発表にむけて準備をする 事後学修：[30分] 発表を踏まえ、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	発表 ディスカッション	楠田
6	活動と休息の意義・活動と休息に関わる心身のメカニズム 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
7	睡眠のメカニズムと睡眠障害 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	仁昌寺
8	さまざまな疾患が活動と休息の機能を脅かすときの生活への影響 事前学修：[30分] 第7回目の講義資料をもとに、睡眠障害による生活への影響について、自分の考えをノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
9	活動と休息を整えるための看護援助の基本 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GW の内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺

No	内容	形式	教員
10	活動と休息のバランスを保つための援助に関する事例検討 事前学修：[30分] 事例検討に関する課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	仁昌寺
11	活動と休息に影響を与える身体機能の変化と主な疾患 事前学修：[30分] 第11回授業内容について講義で示す参考図書を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
12	老化と活動と休息の変化(高齢者)① 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
13	老化と活動と休息の変化(高齢者)② 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 ディスカッション	住谷
14	活動と休息のバランスを保つための看護援助(高齢者) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 GW ディスカッション	住谷
15	活動と休息のバランスを保つための看護援助に関する事例検討(高齢者) 事前学修：[30分] 事例検討に関する課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの発表内容を振り返り、新たに気付いたこと、考えたことをノートにまとめる	GW 発表 ディスカッション	住谷

■ 教科書

志自岐康子他編(2021). ナーシンググラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術. 第6版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

人体の機能と構造Ⅰ・Ⅱ・Ⅲで用いた教科書を使用する。

中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学① 小児の発達と看護. 第6版. メディカ出版.

中野綾美編(2019). ナーシンググラフィカ 小児看護学② 小児看護技術. 第4版. メディカ出版.

堀内ふさ他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害. 第6版. メディカ出版.

堀内ふさ他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践. 第5版. メディカ出版.

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、試験終了後に採点基準、解答傾向の解説を Glexa 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに基づいた看護援助についての内容を扱う。
2. 看護援助論Ⅰ、看護技術論Ⅱ①②、看護技術論Ⅲ①②、健康レベル別看護学演習Ⅰに関連する。
3. 本科目の修了試験受験資格を有することが看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日、授業時間後 30 分間担当教員が対応します。

仁昌寺(423 研究室)、楠田(421 研究室)、住谷(401 研究室)

看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCN350

○佐藤いずみ

■ 授業の目的

人のセクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から理解を深め、性的存在としての人間への援助について学ぶ。また、疾患や障害をもつ人々のセクシュアリティとその援助について学ぶ。自己の概念についても学び、人それぞれのセクシュアリティを尊重した看護のあり方を省察する。

■ 到達目標

1. セクシュアリティに関連する基本的な概念について説明できる。
2. セクシュアリティについて、身体的・心理的・発達の・社会文化的な観点から説明できる。
3. 人間の生活行動に影響するセクシュアリティの多様な機能と役割について説明できる。
4. 性と生殖に関連する健康問題と看護について説明できる。
5. 自己の概念を理解し、セクシュアリティを尊重した看護について自分の考えを述べることができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 講義、小グループディスカッション、全体共有、フィードバックを基本に学修を展開する。
2. 事前・事後学修の提出方法は、Glexa に示す所定の用紙を使用する。その他の詳細な指示は授業内で説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ヒューマンセクシュアリティの概念 事前学修：[30分] セクシュアリティに関する言葉のイメージについて記述する 事後学修：[30分] ヒューマンセクシュアリティの概念を記述する	講義 GW	佐藤
2	社会的心理的特徴から見た女性・男性 事前学修：[30分] 他者の性別の判断をどのようにしているか自身の行動を振り返りその内容を10個箇条書きする 事後学修：[30分] 男女の性差やジェンダーについて自分の考えを記述する	講義 GW	佐藤
3	性の多様性、性同一性障害 事前学修：[30分] 性の多様性、性同一障害の概要をまとめる 事後学修：[30分] 性同一性障害、性の多様性に関連した医療場面での課題と対策について自身の考えを記述する	講義 GW	佐藤
4	性の発達・性教育 事前学修：[30分] これまでに受けた性教育について時期、内容、方法について経時的にまとめる 事後学修：[30分] 身の回りで起きている性に関する問題を1つ取り上げ性教育に期待することを記述する	講義 GW	佐藤
5	妊孕性とセクシュアリティ 事前学修：[30分] 不妊症や不育症の原因や症状について記述する 事後学修：[30分] 不妊症や不育症の看護について考えを記述する	講義 GW	佐藤
6	生殖器のがんとセクシュアリティ 事前学修：[30分] 生殖器における疾患(とくにがん)を経験した方々の手記を読み当事者の思いから気づいたことを記述する 事後学修：[30分] 疾患を持つ人の将来の妊娠・出産への支援の在り方について、自分の考えを記述する	講義 GW	佐藤
7	性暴力被害とその援助 事前学修：[30分] 性暴力が被害者にもたらす影響にはどのようなものがあるかを記述する 事後学修：[30分] 性暴力が被害者にもたらす健康問題と看護の在り方について考えを記述する	講義 GW	佐藤
8	生殖機能に影響をもたらす疾患と看護 事前学修：[30分] 生殖器のがんを1つ取り上げ疾患や治療による生活全般への影響を記述する 事後学修：[30分] 性と生殖に関わる健康問題を持つ人への看護について考えを記述する	講義 GW	佐藤

■教科書

授業資料を配布する。

■参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■フィードバックの仕方

講義中の質問、疑問、意見等にはその都度、フィードバックを行う。

事前学修・自己学習課題については講義内でフィードバックを行う。

定期試験のフィードバックは、終了直後に試験場にて回答・解説集の配布を通じて行う。自己採点、振り返りに活用すること。なお定期試験に対する疑問は、定期試験期間中に担当教員に問い合わせること。

■他の授業科目との関連

生殖に関わる学習内容を扱うため、2年次後期の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブヘルスと看護①)、3年次前期の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブヘルスと看護②)と関連の強い科目として位置づけている。

■成績評価の仕方

授業への取り組み(事前、事後学修課題の提出の有無、方法、記述内容を含む) 20%、定期試験 80%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00。佐藤研究室(422 研究室)。

■受講上の注意事項

授業開始 30 分までを遅刻とする。遅刻の回数が 3 回で 1 回の欠席とみなす。

看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」探求 「2」関係 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNCN203

○松本佳子、小宮敬子、宮本晶

■授業の目的

人間が、心と身体、人間関係とが相互に関連しあっている総合的な存在であることを、心理社会的、生理的な側面から理解できる。また、そこに障害や生きにくさを抱えた人々の援助について、説明できる。

■到達目標

1. 人間の心身の関連と、それが人間関係に及ぼす影響について理解し、説明することができる。
2. ストレスや危機への対処の仕方について、説明できる。

■学習の進め方

1. 講義とディスカッション：基本的に講義を中心とするが、事例などを提示して学生がディスカッションする時間を、随時授業時間内に設けて、具体的理解を深められるようにする。
2. 授業で考えたこと、感じたことをリフレクションペーパーにまとめてもらう。次回以降の授業で、リフレクションペーパーをもとに補足説明を行い、学習を深められるようにする。
3. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

■スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	人間の心は何をしているか①意識と認知機能、感情 事前学修：[20分] シラバスを読んで授業に臨む。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
2	人間の心は何をしているか②学習と知能、心の理論 事前学修：[20分] 事前に提示された教科書の該当ページを読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
3	人間の心は何をしているか③自我と防衛機制 事前学修：[20分] 事前に提示された教科書の該当ページを読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
4	心の危機 事前学修：[20分] 事前に提示された教科書の該当ページを読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
5	ストレスと対処 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
6	心と身体の結びつきー心身症とその援助 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
7	うつと身体 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	松本
8	家族と健康 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	小宮

No	内容	形式	教員
9	病むという体験－社会的な意味 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含め、ノートにまとめる	講義とディスカッション	小宮
10	心身相関のしくみ－呼吸法とリラクゼーション① 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
11	心身相関のしくみ－呼吸法とリラクゼーション② 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
12	家族とは何か①映画に映し出された家族の機能 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
13	家族とは何か②映画に映し出された家族の機能 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 演習を通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	演習	小宮・松本・宮本
14	アディクションからの回復 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義とディスカッションを通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義とディスカッション	小宮・松本・宮本
15	アディクションとセルフヘルプ・グループ 事前学修：[20分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる。 事後学修：[30分] 講義とディスカッションを通して感じたこと考えたことをレポートにまとめる。	講義とディスカッション	小宮・松本・宮本

■ 教科書

武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [1] 精神看護の基礎. 第6版. 医学書院.

武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [2] 精神看護の展開. 第6版. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介します。

■ フィードバックの仕方

授業の内容、ディスカッションの内容についてリフレクションペーパーを提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、解答と解説を Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

この科目の修了試験受験資格を有することが看護援助論実習〔レベルⅡ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験:70%、2. 授業への取り組み:15%・授業レポート:15%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~13:00、18:00~18:30。松本(412 研究室)で質問や相談に応じます。

コミュニティ論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」連携 「3」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC200

○成木弘子、遠藤公久、喜多里己

■ 授業の目的

コミュニティの概念に基づき、さらにコミュニティと健康との関連について理解を深め、健康を維持増進、あるいは障害や病を抱えながらもその人らしく生活することができるために、コミュニティが有するケアの意味やケアネットワークの創り方、あり方について具体的に学ぶ。

■ 到達目標

1. 健康を維持、増進するためのヘルスプロモーションの概念を学び、コミュニティにおけるケアのあり方を説明できる。
2. 健康にその人らしく生活することを支えるための「自助・共助・公助」の考え方を説明できる。
3. 地域でのケアを展開するためのコミュニティ・エンパワメントやコミュニティケアのネットワークの創り方を説明できる。

■ 学習の進め方

・講義およびグループワークを通して、コミュニティ活動や支援方法について理解を深める。

【事前学修のまとめかたと提出方法】

：提示された課題について整理および考察し、400字～600字にまとめ、指定した用紙に記述し講義時に持参する。講義終了後、当日の事後課題と一緒に提出する。課題は各回の記載参照。

【事後学修のまとめかたと提出方法】

：各講義終了時に提示する課題について整理しおよび考察し400字～600字にまとめて指定した用紙に記述する。提出はグレクサの指定したフォルダーに当日23時59分までに保存する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	・オリエンテーション ・コミュニティにおけるケアのあり方 事前学修：[30分] 課題：コミュニティ論Ⅰ、コミュニティケアⅠで学んだ内容を復習し、コミュニティと健康のありかたを整理する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	講義	成木
2	・コミュニティケアにおけるネットワークの作り方① 事前学修：[30分] 課題：講義実施前回の講義終了時に提示する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	講義	成木
3	・コミュニティケアにおけるネットワークの作り方② 事前学修：[30分] 課題：講義実施前回の講義終了時に提示する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	講義	成木
4	・活動の実際例①：母子への活動 事前学修：[30分] 課題：講義実施前回の講義終了時に提示する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	講義	喜多
5	・活動の実際例②：子育て支援の活動 事前学修：[30分] 課題：講義実施前回の講義終了時に提示する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	講義	喜多
6	・活動の実際例③：高齢者への健康教室 事前学修：[30分] 課題：講義実施前回の講義終了時に提示する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	講義	喜多
7	・活動の実際例④：がん患者およびご家族への支援活動 事前学修：[30分] 課題：講義実施前回の講義終了時に提示する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	講義	遠藤
8	・まとめ(グループワーク) 事前学修：[30分] 課題：講義実施前回の講義終了時に提示する。 事後学修：[30分] 課題：講義終了時に提示する。	GW	全員

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

- ・ 1 年生後期開講「コミュニティケア I」講義資料
- ・ 佐伯和子責任編集(2022)公衆衛生看護の方法と技術. 第 2 版. 医歯薬出版.
- ・ 星旦二他 (2010). 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方. 第 1 版. 医学書院.
- ・ 安梅勅江 (2005). コミュニティ・エンパワメントの技法-当事者主体の新しいシステムづくり. 第 1 版. 医歯薬出版.
- ・ デヴィッド・M・フェッターマン他/衣笠和重訳 (2020). コミュニティの社会活動におけるエンパワメント評価 福祉, 教育, 医療, 心理に関する「参加と協働」の実践知. 第 1 版. 福村出版.

■ フィードバックの仕方

- ・ 講義：次の講義の折に前回の復習の時間を設ける。
- ・ 事前学修、事後学習：リアクションペーパーに関して確認後し、必要に応じてコメントを付して最終授業日に返却する。
- ・ 試験：試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については、定期試験時間割発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

- ・ 「ディプロマポリシー7および5」に位置づけられる科目の基本であり、特に「コミュニティ論 I」「コミュニティ演習」「コミュニティケア I～IV」「公衆衛生看護学」の重要な構成要素である。
- ・ 「コミュニティケア実習(レベルIV)」の履修要件科目である。
- ・ 保健師教育課程選択者の準備科目である。

■ 成績評価の仕方

- ・ 試験は、筆記試験とする。
- ・ 評価は、事前事後の課題に関するリアクションペーパーの提出状況および記述内容(20%)、定期試験(80%)

■ オフィスアワー・研究室等

成木：授業開校日の 12：30 - 13：00 (404 研究室)

喜多：授業開講日の 12：30 - 13：00 (407 研究室)

遠藤：授業開校日の 12：30 - 13：00 (405 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 開始 30 分までは遅刻を認めるが、遅刻を 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとする。
3. 講義中に講義に関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども減点の対象となる可能性がある。

コミュニティ演習

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」連携 「3」関係 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC250

○成木弘子、小宮敬子、遠藤公久、喜多里己、吉野純、太田喜久子、松本佳子、藤川あや、住谷ゆかり、鷹田佳典、白井美穂、佐藤いずみ、楠田智子、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛

■ 授業の目的

コミュニティと健康との関係を理解することを目的に、地域住民が主体的に健康を守るためにどのような活動を展開しているか、それによってどのようにエンパワーされているか、実際の体験を通して学ぶ。

■ 到達目標

1. 個人・集団・コミュニティのエンパワメントについて説明できる。
2. 住民が主体的に健康を守り増進するために行っている活動の実際について、活動事例やフィールドワークを通して説明できる。
3. 上記におけるグループや組織のリーダーの役割を説明できる。

■ 学習の進め方

・住民主体のコミュニティ活動のイメージを作るための、基礎的な知識を確認した上で「コミュニティ・リーダーを招いての講演、4～5名程度のグループに分かれての住民主体の活動についての情報収集及びフィールドワーク、フィールドワークについての振り返りと記録、全体報告会」を主な内容とした演習を行う。

【事前学修のまとめ方と提出方法】

：「1回～5回」各課題を400字～600字にまとめて指定された用紙に記載し講義時に持参する。提出は当日の事後課題と一緒に指定されたフォルダーへ保存する。

：「6回～15回」各回に記されている方法に準じる。

【事後学修のまとめ方と提出方法】

：「1回～5回」各課題について指定された用紙に400字～600字にまとめて記述する。提出はグレксаの指定したフォルダーに当日23時59分までに保存する。

「6回～15回」各回に記されている方法に準じる。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／コミュニティ論Ⅰ・ⅡおよびコミュニティケアⅠ復習 事前学修：[30分] コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ、コミュニティケアⅠの学習内容を復習し、「コミュニティと健康の関係」について整理する。 事後学修：[30分] 講義終了時に提示する課題に取り組む。	講義	全員
2	コミュニティグループや組織活動の実際：地域ケアシステム構築(外部講師) 事前学修：[30分] 活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し概要をまとめる。また、質問したい点の一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 講義終了時に提示する課題に取り組む。	講義	全員
3	コミュニティグループや組織活動の実際：ボランティア活動等(外部講師) 事前学修：[30分] 活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し概要をまとめる。また、質問したい点の一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 講義終了時に提示する課題に取り組む。	講義	全員
4	コミュニティケアや組織活動の実際：当事者グループ等(外部講師) 事前学修：[30分] 活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し概要をまとめる。また、質問したい点の一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 講義終了時に提示する課題に取り組む。	講義	全員
5	コミュニティケアや組織活動の実際：患者会・家族会等(外部講師) 事前学修：[30分] 活動事例として紹介される講義の資料を読んで活動の概要を理解し概要をまとめる。また、質問したい点の一つ取り上げる。 事後学修：[30分] 講義終了時に提示する課題に取り組む。	講義	全員
6	演習：フィールドの情報収集 事前学修：[30分] フィールドワークに配置されたグループや組織についての資料を準備し、演習に参加する。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員

No	内容	形式	教員
7	演習：フィールドの情報分析 事前学修：[30分] フィールドワークに配置されたグループや組織についての資料を準備し、演習に参加する。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員
8	演習：フィールドワークの活動計画 事前学修：[30分] フィールドワークに配置されたグループや組織についての資料を準備し、演習に参加する。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員
9	演習：フィールドワークの情報収集計画 事前学修：[30分] 実際のフィールドワーク時に確認したい点などを記述する。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員
10	フィールドワーク：活動の実施に関する情報収集 事前学修：[30分] 実際のフィールドワーク時に確認したい点などを各々人で再度確認しフィールドワークに備える。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員
11	フィールドワーク：グループリーダーの役割に関する情報収集 事前学修：[30分] 実際のフィールドワーク時に確認したい点などを各々人で再度確認しフィールドワークに備える。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員
12	演習：フィールドワークのまとめと記録 事前学修：[30分] 実際のフィールドワーク時に確認した点を整理し各自の考えをまとめ、グループとしてのフィールドワークのまとめに備える。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員
13	演習：報告会準備 事前学修：[30分] フィールドワークの内容を整理し、各自の考えをまとめ、報告会の準備を円滑にできるようにしておく。 事後学修：[30分] 各演習グループ毎に提示する課題について取り組む。	演習	全員
14	全体報告会：前半 事前学修：[30分] まとめた資料を熟読し発表に備える。 事後学修：[30分] 全授業資料を読み返し、整理・考察し、レポートにまとめる。	演習	全員
15	全体報告会：後半 事前学修：[30分] まとめた資料を熟読し発表に備える。 事後学修：[30分] 全授業資料を読み返し、整理・考察し、レポートにまとめる。	発表	全員

■ 教科書

適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

- ・佐伯和子責任編集(2022)公衆衛生看護の方法と技術. 第2版. 医歯薬出版.
- ・星旦二他(2010). 地域保健スタッフのための「住民グループ」のつくり方・育て方. 第1版. 医学書院.
- ・デヴィッド・M・フェッターマン他/衣笠和重訳(2020). コミュニティの社会活動におけるエンパワメント評価 福祉, 教育, 医療, 心理に関する「参加と協働」の実践知. 第1版. 福村出版.
- ・安梅勅江(2014). いのちの輝きに寄り添うエンパワメント科学. 第1版. 芳香会社会福祉研究所.
- ・安梅勅江(2007). 健康長寿エンパワメント. 第1版. 医歯薬出版.

■ フィードバックの仕方

- ・講義に関しては、事後学修でリアクションペーパーを提出するし、必要に応じてコメントを付して最終授業日に返却することを通じて行う。
- ・事前課題に関しても上記と同様に行う。
- ・最終レポートのフィードバックは、コメントを付したレポートを通じて行う。(返却日については、別途連絡する。)

■ 他の授業科目との関連

- ・「ディプロマポリシー7・5」に位置づけられる科目と関連が深く、特に科目区分での「コミュニティケア」「公衆衛生看護学」との関連が深い。
- ・「コミュニティケア実習(レベルⅣ)」の履修要件科目である。
- ・保健師教育課程選択者の準備科目である。

■ 成績評価の仕方

- ・ 1回目から5回目までの事前課題および事後課題に関するリアクションペーパーの提出状況および記述内容(10%)、演習およびフィールドワークへの取り組み(30%)、報告会での発表(10%)、レポート(50%)
- ・ レポートは、演習およびフィールドワーク演習に参加した内容に関するものとし講義時に具体的なテーマを提示する。

■ オフィスアワー・研究室等

- ・ 成木：授業開講日の 12:30 - 13:00 (404 研究室)
- ・ 他の教員に関しては、フィールドワークの担当決定後に提示する。

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 演習およびフィールドワークへの基本的な取り組み姿勢として遅刻や欠席をしないこと。遅刻は 30 分までは認めますが、遅刻 3 回で欠席 1 回とします。
3. 講義中に関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。

コミュニティケアⅢ(在宅看護学)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」連携 「3」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC300

○藤川あや、永井健太、木村愛

■ 授業の目的

安心安全な在宅ケアの継続と生活の質的向上を目指し、在宅療養環境と療養者・家族のニーズに応じた具体的な看護実践の方法を学ぶ。また、地域包括ケアシステムにおける関連機関・職種との連携のあり方や看護の役割を考える。

■ 到達目標

1. 在宅療養者と家族の看護ニーズを理解できる
2. 療養者と家族の特性に応じた社会資源の活用について説明できる
3. 療養者と家族の生活の質を高めるための看護技術を考えることができる
4. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を考えることができる

■ 学習の進め方

AL

在宅療養者を支える看護技術と危機管理について、講義と演習を通して学ぶ。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	ガイダンス 在宅看護の目的と特徴 事前学修：[30分] コミュニティケアⅠの授業内容を復習する 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
2	在宅看護における権利保障 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
3	在宅看護の対象者① 要介護高齢者、認知症高齢者 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
4	在宅看護の対象者② 難病、障がい者、小児 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
5	在宅看護の対象者③ 終末期の療養者、家族 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
6	在宅医療支援① 在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法、呼吸リハビリテーション 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	演習	永井
7	在宅医療支援② 在宅輸液療法、経管栄養、疼痛管理 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	演習	永井
8	退院調整と地域包括ケアシステム 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
9	在宅療養支援① 口腔ケア、低栄養予防、排泄支援 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	演習	永井
10	在宅療養支援② 清潔ケア、フットケア、移動の援助 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	演習	永井
11	訪問看護ステーションの運営と管理、災害危機管理 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川

No	内容	形式	教員
12	在宅看護にかかわる法令・制度 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
13	在宅看護過程とケアマネジメント① 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義・演習	全員
14	在宅看護過程とケアマネジメント② 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	演習	全員
15	在宅看護過程とケアマネジメント③ まとめ 事前学修：[30分] 全講義の中で学んだことを A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義・演習	藤川

■ 教科書

河原加代子(2022). 地域・在宅看護論 [1] 地域・在宅看護の基盤. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

河原加代子(2022). 地域・在宅看護論 [2] 地域・在宅看護の実践. 医学書院.

臺有桂、石田千絵、山下留理子(2022). ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論①地域医療を支えるケア. 第2版. メディカ出版.

臺有桂、石田千絵、山下留理子(2022). ナーシング・グラフィカ地域・在宅看護論②地域医療を支える技術. 第2版. メディカ出版.

正野逸子、本田彰子(2018)関連図で理解する在宅看護過程. 第2版. メヂカルフレンド社.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割の発表時に提示する。

■ 他の授業科目との関連

コミュニティケア I、II、IVなどの地域関連科目及び看護学実習、保健師教育課程選択者の科目と関連する。

■ 成績評価の仕方

1. リアクションペーパーの記載内容(30%) 2. 定期試験(70%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~13:00 藤川(411 研究室)、永井(420)、木村(414)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがあります。その場合は、事前の授業またはメールで伝えます。
2. 開始 30 分までは遅刻を認めますが、遅刻を 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとします。
3. 講義中に講義に関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性があります。

コミュニティケアⅣ(公衆衛生看護活動論)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」連携 「3」変化 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNCC251

○藤川あや、成木弘子

■ 授業の目的

あらゆるライフステージ、健康レベルにある人々とその生活をライフサイクル、健康課題別にとらえ、個人・家族・集団を対象とした公衆衛生看護活動を展開するために必要な知識と方法について具体的に理解する。

■ 到達目標

1. 母子、成人、高齢者、障害者(児)、精神、感染症など地域で生活する人々を対象とした保健活動とその活動を支える法的基盤について説明できる。
2. 地域の人々と協働して、地域の健康課題を改善し、健康増進能力を高める支援について考えることができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義のほか、資料や動画を利用し参加型学習を中心に展開し、知識と共に実践力を高める。
2. 参考資料の提示：学びを深められるよう、適宜参考資料や情報を提示する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	我が国の公衆衛生と公衆衛生看護活動の概要① 事前学修：[30分] コミュニティケアⅠで学んだ公衆衛生看護の理念・対象・場について配布資料や教科書を読み返す。 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
2	我が国の公衆衛生と公衆衛生看護活動の概要② 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
3	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動① 母子保健施策 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	成木
4	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動② 母子保健活動 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義・演習	成木
5	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動③ 成人保健施策 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	成木
6	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動④ 成人保健活動 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義・演習	成木
7	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動⑤ 高齢者保健施策 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
8	ライフステージ別の保健施策と公衆衛生看護活動⑥ 高齢者保健活動 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義・演習	藤川
9	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動① 精神保健施策 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
10	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動② 精神保健活動 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義・演習	藤川
11	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動③ 難病・障害者施策 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川

No	内容	形式	教員
12	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動④ 難病・障害者保健活動 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義・演習	藤川
13	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動⑤ 感染症対策と保健活動 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	成木
14	ライフステージに渡る保健施策と公衆衛生看護活動⑥ がん対策と保健活動 事前学修：[30分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
15	まとめ：ディスカッション 事前学修：[30分] 全講義の中で学んだことを A4 用紙 1 枚にまとめる 事後学修：[30分] ディスカッションでの学びをまとめる	演習 GW	藤川・成木

■ 教科書

神馬征峰他(2021). 系統看護学講座専門基礎分野 健康支援と社会保障制度 [2] 公衆衛生. 第 14 版. 医学書院. (1 年次のコミュニケーションケア I で使用)

■ 参考書、参考資料等

松田正巳他(2021). 標準保健師講座 3 対象別公衆衛生看護活動. 第 4 版. 医学書院.

上野昌江・和泉京子(2020). 公衆衛生看護学. 第 3 版. 中央法規.

厚生労働統計協会(2022). 国民衛生の動向.2023/2022.、その他授業時に紹介する。

■ フィードバックの仕方

講義では、講義終了直後に講義室でフィードバックを行う。

試験では、試験実施後 2 週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。具体的な日時、場所については定期試験時間割発表時に提示する。

事前・事後学修については、授業中、授業終了直後にフィードバックを行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は保健師教育課程の選択必修科目であり、保健師教育課程の履修には、本科目を 2 年次で修得することが必要である。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験(70%) 2. リアクションシートの記載内容(30%)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日 12:30~13:00 藤川(411 研究室)、成木(404 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 開始 30 分までは遅刻を認めるが、遅刻を 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとする。
3. 講義中に講義に関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性がある。

慢性期ケア

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目番号：SNHN200

○仁昌寺貴子、奥原秀盛

■ 授業の目的

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解するための概念について学ぶ。
2. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴を理解し、慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて学ぶ。
3. 慢性疾患の病態をふまえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を理解し、長期にわたりさまざまな療養法を行っていく人々への看護の実際について理解を深める。

■ 到達目標

1. 慢性疾患をもつ人とその家族の特徴について説明できる。
2. 慢性の各期(局面)に応じて変化するケアについて説明できる。
3. 慢性疾患をもつ人の病態をふまえ、病いとともに生活する人々が直面する困難を説明できる。
4. 長期にわたりさまざまな療養法を行っていく慢性疾患をもつ人への看護支援について説明できる。
5. 慢性疾患をもちながら生きる人への看護支援を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理する。
2. 教科書と配布資料に基づき講義を通して、基礎的な知識を学修する。
3. グループディスカッションを通して学生間で意見を共有しながら、慢性期ケアへの理解を深める。
4. 授業終了時にリアクションペーパーの記入をして振り返りを行うことで、疑問点や改善点などをクリアにして学修を深める。
5. 授業終了後、興味関心のある分野について参考資料等を活用し看護学実習等でさらに学修を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	慢性疾患と共に生きる人の療養法の特徴 事前学修：[60 分] 教科書 2～18 頁を読み、慢性期における身体的側面および、心理社会的側面の特徴についてまとめる 事後学修：[30 分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
2	慢性疾患をもちながら生きるということ(病みの軌跡とケア) 事前学修：[60 分] 教科書 67～75 頁を読み、病みの軌跡モデルの局面についてまとめる 事後学修：[30 分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
3	慢性疾患をもつ人のリハビリテーション・障害受容 慢性疾患をもちながら新たな治療をうける人のケア 事前学修：[60 分] 新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論/成人保健 293～298 頁を読み、障害をもつ人の状況についてまとめる 事後学修：[30 分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
4	内分泌・代謝系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 教科書 264～272、282～283 頁を読み、2 型糖尿病、1 型糖尿病の症状についてまとめる 事後学修：[45 分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
5	自己免疫系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 指定難病について調べてまとめる。教科書 289～295、304 頁を読んでおく 事後学修：[45 分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
6	運動器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 教科書 305～315 頁を読み、関節リウマチの症状についてまとめる 事後学修：[45 分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
7	造血器腫瘍をもつ人へのケア 事前学修：[45 分] 教科書 164～171 頁を読み、化学療法の副作用の症状と影響についてまとめる 事後学修：[45 分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺

No	内容	形式	教員
8	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア① 事前学修：[45分] 教科書 199～208 頁を読み、脳・神経系の慢性疾患を持つ人のケアについて自分の考えをまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
9	脳・神経系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[45分] 教科書 216～226、325～329 頁を読み、パーキンソン病と筋萎縮性側索硬化症の症状についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
10	消化器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45分] 教科書 181～190 頁を読み、潰瘍性大腸炎の症状についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺
11	呼吸器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45分] 130～135、141～145 頁を読み、慢性閉塞性肺疾患、気管支喘息の症状についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
12	循環器系の慢性疾患をもつ人へのケア 事前学修：[45分] 教科書 151～156 頁を読み、循環器系の慢性疾患を持つ人のケアについて自分の考えをまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
13	腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人へのケア① 事前学修：[45分] 教科書 237～243 頁を読み、慢性腎臓病の症状についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
14	腎・泌尿器系の慢性疾患をもつ人へのケア② 事前学修：[45分] 教科書 251～254 頁を読み、腎代替療法についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	奥原
15	慢性期ケアとは 事前学修：[30分] 講義で示した資料を参考に急性期から慢性期への移行および、健康生活の継続への支援について、自分の考えをまとめる 事後学修：[60分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義 ディスカッション	仁昌寺

■ 教科書

黒江ゆり子(2021). 新体系看護学全書 経過別成人看護学③慢性期看護(第2版). メヂカルフレンド社.

■ 参考書、参考資料等

黒江ゆり子(2021). 新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論/成人保健(第7版). メヂカルフレンド社.

小松浩子他(2022). 系統看護学講座 成人看護学1 成人看護学総論(第16版). 医学書院.

浅野浩一郎他(2019). 系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器(第15版). 医学書院.

松田直樹他(2019). 系統看護学講座 成人看護学3 循環器(第15版). 医学書院.

南川雅子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学5 消化器(第15版). 医学書院.

井出隆文他(2019). 系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経(第15版). 医学書院.

今井垂矢子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器(第15版). 医学書院.

田中栄他(2019). 系統看護学講座 成人看護学10 運動器(第15版). 医学書院.

坂井建雄(2022). 系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学(第11版). 医学書院.

ピエール ウグ編/黒江ゆり子・市橋恵子・竇田穂詠(1995). 慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護モデル. 医学書院.

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する

■ フィードバックの仕方

授業の内容、ディスカッションの内容についてリアクションペーパーを提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等や解説について Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

1. 本科目の修了試験受験資格を有することが健康レベル別看護学実習 [レベルⅢ] の履修要件となっている。
2. 発達看護学(成人期の看護)、急性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、2. 筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12：30～12：50

仁昌寺(423 研究室)、奥原(406 研究室)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

急性期ケア

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNHN201

○奥原秀盛、仁昌寺貴子

■ 授業の目的

さまざまな疾患により侵襲的治療や検査を受ける人とその家族を援助するために、生命の維持・回復に向けた看護の基礎的知識と看護支援方法について理解する。

■ 到達目標

1. 急激な身体侵襲を受けて急性期にある人とその家族の特徴について説明できる。
2. 急性期にある人と家族の生命の維持・回復の促進に必要な看護の基礎的知識について説明できる。
3. 急性期にある人とその家族の回復過程に応じた看護支援を考案できる。

■ 学習の進め方

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 授業の展開は、教科書・配布する資料に基づき講義を行い、基礎的知識を深める。
3. グループディスカッションの時間を設け、学生が意見交換をしながら講義内容の理解を深める。
4. 授業終了後は授業の感想や意見、質問等をリアクションペーパーに記入して授業内容の振り返りを行う。さらに、感想や意見、質問等に対する教員からのフィードバックを通して学修を深める。
5. 授業終了後、興味関心のある分野について参考資料等を活用し看護学実習等でさらに学修を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション・急性期ケアとは 事前学修：[60分] 教科書 237-243 頁を読み、急性期にある患者の特徴についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
2	侵襲(外傷・感染等)やショックの病態・観察・治療管理 救急医療の実際 事前学修：[60分] 救急搬送される患者の症例分類について調べまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
3	周手術期ケア(手術前のケア) 事前学修：[60分] 教科書 258-264、330-335 頁を読み、手術を受ける前の患者の心情について、自分の考えをまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
4	周手術期ケア(手術室のケア) 事前学修：[45分] 教科書 264-265 頁を読み、手術室での看護師の役割についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
5	周手術期ケア(手術後のケア) 事前学修：[45分] 教科書 265-268 頁を読み、術後患者の観察ポイントについてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
6	救急医療の現況と急性期医療から医療全体の流れ 事前学修：[60分] 埼玉県の救急医療体制と地域包括ケアシステムについて調べまとめる 事後学修：[30分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
7	化学療法時のケア 事前学修：[45分] 教科書 335-345 ページを読み、化学療法を受ける患者の生活への影響についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
8	脳神経系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45分] 系統看護学講座「脳・神経」第5章(121-147 頁)を読み、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ資料を用いて脳・神経系の解剖生理や病態についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
9	運動器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45分] 系統看護学講座「運動器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ資料を用いて運動器系の解剖生理や病態についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原

No	内容	形式	教員
10	放射線治療時のケア 事前学修：[45分] 教科書 329-330 ページを読み、放射線療法の種類についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
11	呼吸器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45分] 系統看護学講座「呼吸器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱおよび看護援助論Ⅱ資料を用いて呼吸器系の解剖生理や病態についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
12	循環器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45分] 系統看護学講座「循環器」第5章(121-145、152-161、181-201頁)を読み、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱおよび看護援助論Ⅱ資料を用いて循環器系の解剖生理や病態についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
13	腎・泌尿器系・生殖器系の手術を受ける患者へのケア 事前学修：[45分] 系統看護学講座「腎・泌尿器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱ資料を用いて腎・泌尿器系の解剖生理や病態についてまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	仁昌寺
14	消化器系の手術を受ける患者へのケア① 事前学修：[45分] 系統看護学講座「消化器」第5章、人体の構造と機能Ⅰ・Ⅱの資料を用いて消化器系の解剖生理や病態についてノートにまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原
15	消化器系の手術を受ける患者へのケア② 事前学修：[45分] 第14回の授業内容について復習し、消化器系機能障害をもつ患者の看護についてノートにまとめる 事後学修：[45分] 講義・ディスカッション内容を振り返り、ポイントをノートにまとめる	講義・ディスカッション	奥原

■ 教科書

黒江ゆり子(2021). 新体系看護学全書 成人看護学①成人看護学概論/成人保健(第7版). メヂカルフレンド社.

■ 参考書、参考資料等

小松浩子他(2022). 系統看護学講座 成人看護学1 成人看護学総論(第16版). 医学書院.

浅野浩一郎他(2019). 系統看護学講座 成人看護学2 呼吸器(第15版). 医学書院.

松田直樹他(2019). 系統看護学講座 成人看護学3 循環器(第15版). 医学書院.

南川雅子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学5 消化器(第15版). 医学書院.

井出隆文他(2019). 系統看護学講座 成人看護学7 脳・神経(第15版). 医学書院.

今井亜矢子他(2019). 系統看護学講座 成人看護学8 腎・泌尿器(第15版). 医学書院.

田中栄他(2019). 系統看護学講座 成人看護学10 運動器(第15版). 医学書院.

坂井建雄(2022). 系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学(第11版). 医学書院.

山勢博彰編(2018). 系統看護学講座 救急看護学 第6版. 医学書院.

他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■ フィードバックの仕方

授業の内容、ディスカッションの内容についてリアクションペーパーを提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等や解説について Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

1. 本科目の修了試験受験資格を有することが健康レベル別看護学実習 [レベルⅢ] の履修要件となっている。
2. 発達看護学(成人期の看護)、慢性期ケア、健康レベル別看護学演習Ⅰと関連している。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(リアクションペーパー、グループディスカッションの内容) 30%、2. 筆記試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~13:00

研究室：奥原 (406)、仁昌寺 (423)

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。

緩和・終末期ケア

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNHN300

○奥原秀盛

■ 授業の目的

緩和ケア(パリアティブ・ケア)、終末期(エンド・オブ・ライフ)ケアに関する諸概念・諸課題について学習し、緩和ケア、終末期ケアを必要とする人々への援助方法論を深める。

■ 到達目標

1. 緩和ケアに関わる諸概念等、援助の基本的な考え方などの知識を学び実践につなげることができる。
2. がん、慢性疾患等によって、患者や家族が抱える問題や苦痛について理解を深め、緩和ケア、終末期ケアの必要性を具体的な事例を通して、学ぶことができる。
3. 人間の尊厳と権利擁護、倫理的問題など、現代的な諸課題に対する看護実践のあり方や看護の役割などを考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、ビデオ、事例等を提示し、学生がディスカッションする時間を設ける。
2. 意見交換・共有：記入された感想・意見・質問等について紹介しながら、全体討議を行う。
3. 参考資料の提示：授業内に使用した DVD、事例、参考文献等を紹介し、学生がさらに自己学習できるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	緩和ケア・終末期ケア概論 事前学修：[60 分] 教科書の該当ページを読み、緩和ケアの概念について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60 分] 講義内容および討論を踏まえて、緩和ケア・終末期ケアの概念についてまとめる。	講義・討論	奥原
2	がん疾患の緩和ケア・終末期ケアにおける身体症状・精神症状とその治療・看護 事前学修：[60 分] レベルⅡ実習で受け持った患者の身体的・精神的苦痛とその緩和について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60 分] 講義内容および討論を踏まえて、がん疾患の緩和ケア・終末期ケアにおける身体症状・精神症状とその治療・看護について、自己の考えをまとめる。	講義・討論	奥原
3	心理社会的側面のケア、意思決定支援とコミュニケーション 事前学修：[60 分] レベルⅡ実習で受け持った患者の心理社会的苦痛とその緩和について A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60 分] 講義内容および討論を踏まえて、心理社会的側面のケア、意思決定支援とコミュニケーションについて自己の考えをまとめる。	講義・討論	奥原
4	家族ケア 事前学修：[60 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60 分] 講義内容および討論を踏まえて、家族ケアについて自己の考えをまとめる。	講義・討論	奥原
5	悲嘆・遺族ケア 事前学修：[60 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60 分] 講義内容および討論を踏まえて、悲嘆・遺族ケアについて自己の考えをまとめる。	講義・討論	奥原
6	非がん疾患の緩和ケア・終末期ケア(慢性閉塞性肺疾患患者の緩和ケア) 事前学修：[60 分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60 分] 講義内容および討論を踏まえて、非がん疾患の緩和ケア・終末期ケアについて自己の考えをまとめる。	講義・討論	奥原

No	内容	形式	教員
7	在宅における緩和ケア・終末期ケア 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義内容および討論を踏まえて、在宅における緩和ケア・終末期ケアについて自己の考えをまとめる。	講義・討論	奥原
8	緩和ケア・終末期ケアと生命倫理 事前学修：[60分] 教科書の該当ページを読み、関心のあるトピックについて A4 用紙 1 枚にまとめる。 事後学修：[60分] 講義内容および討論を踏まえて、緩和ケア・終末期ケアと生命倫理について自己の考えをまとめる。	講義・討論	奥原

■ 教科書

宮下光令編 (2022). ナーシング・グラフィカ 成人看護学 (6)：緩和ケア 第 3 版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業時に紹介する

■ フィードバックの仕方

リアクションペーパーへのフィードバックは、次回講義の冒頭でおこなう。また試験のフィードバックは、試験実施 3 週間以内に答案および解説資料の配布により行う。返却期間、場所はグレクサにて連絡する。

■ 他の授業科目との関連

4 年次看護学総合実習において、緩和ケア領域の実習を希望する学生は、事後学習で自己の考えをしっかりとめておくことが望まれる。

■ 成績評価の仕方

1. リアクションペーパーの提出、授業への取り組み 20% 2. 定期試験 80%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50：奥原研究室(406)、山本研究室(431)

健康レベル別看護学演習 I (急性期・慢性期)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNHN202

○仁昌寺貴子、奥原秀盛、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

健康レベル(急性期、慢性期)に合わせた適切な看護援助が提供できるよう、応用的な援助技術を習得する。

■ 到達目標

1. 輸液療法について理解し、管理できる。
2. 術後患者の創部の観察、ドレッシング、ドレーンの観察と管理等、一連の術後ケアを理解し、実施できる。
3. 経管栄養法について理解し、管理できる。
4. 血糖管理法を理解し、血糖自己測定ができる。
5. モニター心電図測定、12 誘導心電図測定等の循環器に関わるケアについて理解し、実施できる。
6. 気管吸引等の呼吸器ケアを理解し、実施できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 患者および看護師それぞれの立場で技術演習を実施し、ペア、グループで互いにフィードバックすることで理解を深める。
3. 援助技術は自らの習得状況を把握し、オフィスアワーを活用して援助技術の習得を深める。
4. 事例を用いた技術演習を通して技術の習得をする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[60 分] シラバスと教科書・参考書を確認し、技術演習に必要な既習の知識をノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書、指定図書・教科書 web 動画を確認し、今後の演習に備える	講義	仁昌寺・全員
2	輸液療法①(点滴静脈注射)／輸液療法②(生食ロック) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 75-92、107-110 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	仁昌寺
3	輸液療法①(点滴静脈注射)／輸液療法②(生食ロック)技術演習 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 75-92、107-110 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
4	輸液療法③(中心静脈等)／術前後のケア(ドレッシング・ドレーン管理等) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術① 93-106、写真でわかる臨床看護技術② 146-160 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	仁昌寺
5	術前後のケア(ドレッシング・ドレーン管理等)技術演習 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 146-160 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
6	術後ケア(術後の観察等)／術後ケア(早期離床等) 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 161-194 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	仁昌寺
7	術後ケア(術後の観察等)／術後ケア(早期離床等)技術演習 事前学修：[60 分] 写真でわかる臨床看護技術② 161-194 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60 分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員

No	内容	形式	教員
8	事例を用いた技術の実践① 事前学修：[60分] 各演習内容について予習・復習した資料と授業資料を読み返してのぞむ 事後学修：[60分] 実施した演習項目について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する	演習	全員
9	事例を用いた技術の実践② 事前学修：[60分] 各演習内容について予習・復習した資料と授業資料を読み返してのぞむ 事後学修：[60分] 実施した演習項目について、教科書や指定図書、配布資料を読み、復習する	演習	全員
10	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定(モニター心電図・12誘導心電図) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖自己測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(12誘導心電図、モニター心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	奥原・仁昌寺
11	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定(モニター心電図・12誘導心電図)技術演習① 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖自己測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(12誘導心電図、モニター心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
12	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定(モニター心電図・12誘導心電図) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖自己測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(12誘導心電図、モニター心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	奥原・仁昌寺
13	経管栄養法／血糖管理法／心電図測定(モニター心電図・12誘導心電図)技術演習② 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術① 165-188 ページ(血糖自己測定、経管栄養法)、② 99-128 ページ(12誘導心電図、モニター心電図)を読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員
14	呼吸器ケア(気管吸引法・胸腔ドレーン) 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術② 52-64、129-145 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	講義	奥原
15	呼吸器ケア(気管吸引法・胸腔ドレーン)技術演習 事前学修：[60分] 写真でわかる臨床看護技術② 52-64、129-145 ページを読み、援助技術の目的、適応、POINT、EVIDENCE 等を確認しノートにまとめる 事後学修：[60分] 教科書や指定図書、配布資料を参考にし知識および技術を復習する	演習	全員

■教科書

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術① アドバンス. インターメディカ.

本庄恵子・吉田みつ子監修(2020). 新訂版 写真でわかる臨床看護技術② アドバンス. インターメディカ.

■参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子監修(2020). 新訂版 写真でわかる基礎看護技術 アドバンス. インターメディカ.

その他、適宜授業で提示する。

■フィードバックの仕方

実技試験のフィードバックは、試験終了後に実技内容を教員と共に振り返りながら行う。

筆記試験のフィードバックは、試験終了後に、返却時期、返却方法、採点基準等や解説について Glexa 上にアップロードする。

■他の授業科目との関連

本科目の修了試験受験資格を有することが健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

技術試験 40%、2. 筆記試験 40%、3. 授業への取り組み(ディスカッション、振り返り等) 20%

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後の 30 分間

研究室：奥原 (406)、仁昌寺 (423)、竹山 (431)、山本 (430)、川端 (415)

適宜、技術の自主練習ができる時間を設けるので活用すること。

■ **受講上の注意事項**

実習着とナースシューズを着用し、演習にふさわしい身だしなみで受講して下さい。秒針付時計と聴診器を持参すること。主体的な参加を期待します。

健康レベル別看護学演習Ⅱ(精神保健上の問題・発達段階に伴う健康上の課題)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」成長 実務経験がある
 教員：－ 科目ナンバー：SNHN301

○喜多里己、小宮敬子、松本佳子、宮本晶、佐藤いすみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松本佐知子、松島史絵

■ 授業の目的

精神保健上の問題や、それぞれの発達段階に伴う健康上の課題など、さまざまな健康問題やあらゆる発達段階にある人への看護援助を行うための具体的技術を習得する。

■ 到達目標

1. 精神保健看護学：他者との相互作用を通して、自分理解、他者理解を深め、精神保健上の問題を抱えた人へのアプローチ方法を考察できる。
2. 母性看護学：妊産褥婦と新生児の特徴を考慮したうえで、健康診査と新生児の沐浴を実施できる。
3. 小児看護学：子どもの発達(身体機能・認知・言語)の特徴を考慮し、子どもの健康診査、バイタルサイン測定、薬物療法、点滴管理を実施できる。
4. 老年看護学：高齢者の特徴を考慮した口腔ケア、摂食・嚥下ケア、移動・移乗ケア、排泄ケア、入浴ケアを実施できる。

■ 学習の進め方

演習準備：授業開始前のオリエンテーションに参加し、授業の目的および到達目標を理解して演習に取り組む。

演習：実習状況を想定して取り組み、演習後は意見交換をすることで学修をさらに深める。

演習は1学年を2グループ(AとB)に分けて行う。グループ名簿はオリエンテーション又はGlexaで提示する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	A：老年看護学演習①口腔ケア B：母性看護学演習①新生児の健康診査②新生児の清潔 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員
2	A：母性看護学演習①新生児の健康診査②新生児の清潔 B：老年看護学演習①口腔ケア 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員
3	A：老年看護学演習②移動・移乗、排泄ケア B：母性看護学演習②新生児の清潔①新生児の健康診査 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員
4	A：母性看護学演習②新生児の清潔①新生児の健康診査 B：老年看護学演習②移動・移乗、排泄ケア 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員
5	A：老年看護学演習③入浴ケア④摂食・嚥下ケア B：母性看護学演習③妊婦健康診査・産婦支援④褥婦健康診査・授乳支援 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員
6	A：母性看護学演習③妊婦健康診査・産婦支援④褥婦健康診査・授乳支援 B：老年看護学演習③入浴ケア④摂食・嚥下ケア 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員

No	内容	形式	教員
7	A：老年看護学演習④摂食・嚥下ケア③入浴ケア B：母性看護学演習④褥婦健康診査・授乳支援③妊婦健康診査・産婦支援 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員
8	A：母性看護学演習④褥婦健康診査・授乳支援③妊婦健康診査・産婦支援 B：老年看護学演習④摂食・嚥下ケア③入浴ケア 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	老年看護学教員 全員 母性看護学教員 全員
9	A：小児看護学演習①子どもの健康診査②バイタルサイン測定 B：精神保健看護学演習①②面接技法 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	小児看護学教員 全員 精神保健看護学 教員全員
10	A：小児看護学演習②バイタルサイン測定①子どもの健康診査 B：精神保健看護学演習②①面接技法 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	小児看護学教員 全員 精神保健看護学 教員全員
11	A：精神保健看護学演習①②面接技法 B：小児看護学演習①子どもの健康診査②バイタルサイン測定 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	小児看護学教員 全員 精神保健看護学 教員全員
12	A：精神保健看護学演習②①面接技法 B：小児看護学演習②バイタルサイン測定①子どもの健康診査 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	小児看護学教員 全員 精神保健看護学 教員全員
13	A：小児看護学演習③薬物療法④点滴管理 B：精神保健看護学演習③④プロセスレコードを読む・書く 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	小児看護学教員 全員 精神保健看護学 教員全員
14	A：小児看護学演習④点滴管理③薬物療法 B：精神保健看護学演習④③プロセスレコードを読む・書く 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	小児看護学教員 全員 精神保健看護学 教員全員
15	A：精神保健看護学演習③④プロセスレコードを読む・書く B：小児看護学演習③薬物療法④点滴管理 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。	演習	小児看護学教員 全員 精神保健看護学 教員全員
16	A：精神保健看護学演習④③プロセスレコードを読む・書く B：小児看護学演習④点滴管理③薬物療法 事前学修：[30分] 事前に提示された課題を行い指定の書式にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、ディスカッション内容も含めて指定の書式にまとめ、自己の課題を明確化する。		

■教科書

精神保健看護学：武井麻子 (2021). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学①精神看護の基礎. 医学書院.

武井麻子 (2021). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学②精神看護の展開. 医学書院.

母性看護学：平澤美恵子・村上睦子監修 (2020). 新訂版 写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

小児看護学：中野綾美編(2019). ナーシング・グラフィカ小児看護学② 小児看護技術. 第4版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

老年看護学：亀井智子編(2020). 根拠と事故防止からみた老年看護技術. 第3版. 医学書院.

その他、領域毎に随時提示する。

■ フィードバックの仕方

領域毎に演習内容は随時フィードバックする。記録・レポートのフィードバックは、授業での開設あるいは解説資料、コメントを付した資料の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目は精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕と各発達看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件である。

■ 成績評価の仕方

各領域 25 % (演習への取り組み 15 %、記録・レポート 10 %) × 4 領域 合計 100 %

■ オフィスアワー・研究室等

演習終了後の 16:20～17:00。演習を実施した実習室または演習担当者の研究室。

■ 受講上の注意事項

4 領域の演習で構成しているので、オリエンテーション内容を理解して取り組むことを期待する。

オリエンテーションは授業開始前に実施するので、オリエンテーションの日時を確認し、必ず出席すること。

発達看護学概論

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応 DP：「1」擁護 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNDN200

○喜多里己、吉野純、太田喜久子

■ 授業の目的

人の生涯を発達の視点で捉え、ライフステージ各期における成長・発達の過程を理解し、それぞれの発達段階に沿って家族も含めた援助の特徴を学ぶ。

■ 到達目標

1. 生涯発達の概念を説明できる。
2. 胎児期・新生児期の発達と生活、発達段階に沿った看護援助の特徴を説明できる。
3. 乳児期・幼児期・学童期・思春期の発達と生活、発達段階に沿った看護援助の特徴を説明できる。
4. 成人期・老年期の発達と生活、発達段階に沿った看護援助の特徴を説明できる。

■ 学習の進め方

- 1) 事前学修課題：Glexa に示す事前学修課題、講義と GW を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。GW など授業に主体的に参加するために、事前学修課題は授業までに取り組み、授業に持参する。
- 2) 事後学修課題：リアクションシート(毎回)は、授業開始時に授業資料と共に配布する。授業時間内に授業で学んだこと・感想・質問などを記入し、終了時に提出する。
- 3) フィールドワーク：第 8 回「子どもの日常生活行動」、第 14 回「高齢者の日常生活」
 - ・フィールドワーク・レポートの作成：指定された用紙に記録する。
 - ・フィールドワークの GW・発表：作成したレポートを持参し、GW・発表で用いる。
 - ・フィールドワーク・レポートの提出：第 9 回・第 15 回の GW・発表の後、最終レポートとして仕上げ指定の期日までに提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／人の成長と発達 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
2	人間のライフステージと発達 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
3	胎児・新生児と家族の生活 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	喜多
4	乳児期の子どもと家族の生活 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
5	幼児期の子どもと家族の生活 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
6	学童期の子どもと家族の生活 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
7	思春期の子どもと家族の生活 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	吉野
8	子どもの日常生活行動 事前学修：[60分] 子どもの日常生活行動について整理し、フィールドワークの準備をする 事後学修：[60分] フィールドワークの結果をまとめ、レポートを作成する	フィールドワーク	吉野
9	子どもの発達と生活のまとめ 事前学修：[60分] フィールドワークの内容を振り返り、発表の準備をする 事後学修：[60分] 発表、GW を振り返り、レポートを仕上げる	GW・発表	吉野

No	内容	形式	教員
10	成人期の発達と特徴 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田
11	成人期の生活と家族 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田
12	老年期の発達と特徴 事前学修：[60分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田
13	老年期の生活と家族 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[15分] 授業を振り返り「リアクションシート」にまとめ、提出する	講義・GW	太田
14	高齢者の日常生活 事前学修：[60分] 高齢者の日常生活について整理し、フィールドワークの準備をする 事後学修：[60分] フィールドワークの結果をまとめ、レポートを作成する	フィールドワーク	太田
15	高齢者の発達と生活と援助 事前学修：[60分] レポートに基づいた GW・発表の準備 事後学修：[60分] 発表、GW を振り返り、レポートを仕上げる	GW・発表	太田

■ 教科書

①中野綾美編(2019). ナーシング・グラフィカ小児看護学①小児の発達と看護. メディカ出版.
適宜、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

舟島なをみ・望月美知代(2017). 看護のための人間発達学 第5版. 医学書院.

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、定期試験後に、口頭での解説または解説資料の配付を通じて行う。

レポート(子どもの日常生活行動)のフィードバックは、後期科目「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)」の第1回目の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

レポート(高齢者の日常生活)のフィードバックは、後期科目「発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)」第1回目の授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

この授業は、発達看護学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ実習(レベルⅢ)と健康レベル別看護学実習(レベルⅢ)の履修要件です。

また、2年次以降に開講される「発達看護学(成人期の看護)」、「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護)①②」、「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)①②」、「発達看護学Ⅲ(老年期の看護)①②」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱います。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み：20% 2. 定期試験：60% 3. レポート：20%(2回分)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の12:30~12:50に各講義担当者の研究室で受け付ける。

喜多(407研究室)、吉野(409研究室)、太田(403研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻3回を欠席1回とみなします。

既習知識の確認をしながら進めますので、予習・復習をして主体的に参加することを期待します。

発達看護学(成人期の看護)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNDN201

○奥原秀盛

■ 授業の目的

成人期にある人々の理解とケアを展開するために必要な概念や理論について学び、成人期にある人への看護支援方法を検討する。

■ 到達目標

1. 成人期にある人々の特性について説明できる。
2. 成人期にある人々の理解とケアを展開するために、必要な概念や理論を説明できる。
3. 成人期にある人々に合わせた看護支援を考案することができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の展開：

講義を行うとともに、事例や実習などの体験を踏まえて学生がディスカッションする時間を設け、学生が意見交換しながら具体的に理解を深められるようにする。

2. 「感想・意見」の記入：

学生が授業終了時に「感想・意見」を記入することで、振り返りができるようにする。また毎回の講義冒頭で、前回の「感想・意見」の紹介と補足説明によって、学修を深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション ライフサイクルからみた成人期の理解 成人期にある人々への支援(アンドラゴジーの観点から) 事前学修：[60分] 教科書 2～41 頁、214～220 頁を読み、成人期の特徴およびアンドラゴジーについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
2	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論①: 成人期に特徴的な健康問題 事前学修：[60分] 教科書 128～156 頁を読み、成人期に特徴的な健康問題についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
3	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論②: 自己効力(セルフエフィカシー)、健康行動理論、トランスセオレティカルモデル(理論横断モデル) 事前学修：[60分] 教科書 209～214 頁、228～237 頁を読み、自己効力(セルフエフィカシー)、健康行動理論、トランスセオレティカルモデル(理論横断モデル)についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
4	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論③: ストレス・コーピング理論 事前学修：[60分] 教科書 199～205 頁を読み、ストレス・コーピングについてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
5	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論④: 危機理論 事前学修：[60分] 教科書 205～208 頁を読み、危機理論についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原

No	内容	形式	教員
6	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論⑤: 意思決定支援 事前学修：[60分] 教科書 188～197 頁を読み、意思決定支援についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
7	成人期にある人々の理解とケアの展開に必要な理論⑤: セルフケア理論 事前学修：[60分] 事前に配布する資料と実習などの事例を思い起して、セルフケア、セルフケア能力を高める支援についてノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料と「感想・意見」へのフィードバックをまとめた資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原
8	まとめ：成人期にある人々への看護支援の検討 事前学修：[60分] 1～7 回までの授業資料を読み返し、成人期にある人々への看護支援の特徴をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の配布資料とフィードバックの資料を読み返し復習する	講義・討議	奥原

■ 教科書

黒江ゆり子編集(2021). 新体系看護学全集 成人看護学①成人看護学概論/成人保健 第7版. メヂカルフレンド社

■ 参考書、参考資料等

1. 本庄恵子監修(2015). セルフケア看護. ライフサポート社.
 2. 本庄恵子総監修(2018). セルフケア支援ガイド. ライフサポート社.
 3. 服部祥子(2020). 生涯人間発達論 人間への深い理解と愛情を育むために. 第3版. 医学書院
- その他の参考資料については、随時、紹介する。

■ フィードバックの仕方

授業の中でディスカッションした事例検討内容や授業に関する感想・意見を提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、採点基準等について配布資料にて解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

看護学概論Ⅰの授業を復習しておくこと。

本授業は、2年次の授業「慢性期ケア」「急性期ケア」と関連が深いため関連づけて学修すること。

この科目は、健康レベル別看護学実習〔レベルⅢ〕の履修要件になっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取組み(提出資料(感想・意見等)、ディスカッション等): 10%
2. 定期試験: 90%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:20～12:50 奥原(406 研究室)

発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護①)

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：2 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNDN250

○喜多里己、佐藤いずみ

■ 授業の目的

概論

女性の健康問題を身体的・心理社会的な観点から幅広く学習し、リプロダクティブ・ヘルス/ライツの考え方をもとに女性への支援を考える。

各論：妊娠期・分娩期

女性のライフサイクルの中で、妊娠期・分娩期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点をあて、看護師の役割と援助を考える。

■ 到達目標

概論

1. リプロダクティブ・ヘルス領域における主な概念を説明できる。
2. 女性の性と生殖にかかわる解剖・生理を説明できる。
3. 世界と日本の母子保健の動向を説明できる。
4. 母子保健関連法規と母子保健政策を説明できる。
5. リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる倫理的課題を考察できる。
6. 女性のライフサイクル各期の健康問題と、女性および家族への支援を考察できる。

妊娠期

1. 妊娠の概念、妊娠の成立と維持のしくみが説明できる。
2. 胎児の成長・発達と、その健康状態に影響を及ぼす要因を説明できる。
3. 妊娠に伴う女性の身体的変化、心理社会的変化、妊娠期に生じやすい異常を説明できる。
4. 妊娠期にある女性・子ども・家族の看護を考察できる。

分娩期

1. 分娩の概念、分娩期の基本的用語、分娩機転を説明できる。
2. 分娩が胎児、出生直後の新生児に及ぼす影響を説明できる。
3. 分娩に伴う女性・家族の身体的変化、心理社会的変化、分娩期に生じやすい異常を説明できる。
4. 分娩期にある女性・子ども・家族の看護を考察できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開

Glaxa に示す事前学修課題、講義や演習、討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。

- 1) 事前事後学修課題：所定の用紙を用いる。フォーマットは Glaxa に提示する。
・事前学修課題は授業の1週間前に Glaxa に提示する。授業に主体的に参加するために、授業までに取り組み、授業に持参すること。
・事後学修課題は授業の最後に提示する。所定の時間までに Glaxa に提出すること。
- 2) 演習：チーム基盤型学習 (Team Based Learning：以下、TBL) と事例検討を行う。
TBL を行うことで、修得した知識を活用し臨床実践能力の向上を目指す。
- 3) 事例検討：授業で配布する【事例学修ノート】を用いる。妊娠期・分娩期の講義と並行して事例を読み込み自己学習すると共に、授業で討論する。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、動画、手記、新聞記事を適宜紹介する。また配布資料に参考資料を記載する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／ 概論：リプロダクティブ・ヘルス領域における主な概念、母子の健康状態の国際比較 事前学修：[30 分] Glaxa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30 分] Glaxa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glaxa に提出する。	講義	喜多
2	TBL・ガイダンスチームの結成/事例の紹介 事前学修：[30 分] Glaxa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30 分] Glaxa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glaxa に提出する。	演習(TBL)	全員

No	内容	形式	教員
3	概論：性と生殖に関わる解剖と生理 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義	喜多
4	概論：日本の母子に関する法制度 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義・討論	喜多
5	概論：女性と家族の健康支援 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義・討論	喜多
6	概論：リプロダクティブ・ヘルス/ライツをめぐる倫理的問題 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義・討論	喜多
7	妊娠期：妊娠の概念と妊娠の成立・維持機構、妊娠期の基本的用語 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義	佐藤
8	妊娠期：胎児の成長と発達過程 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義	佐藤
9	妊娠期：妊娠期の女性・家族の変化、妊娠期に生じやすい異常 事前学修：[90分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義	佐藤
10	TBL ①：妊娠期にある女性と子ども・家族のアセスメントとケア 事前学修：[60分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	演習(TBL)	全員
11	分娩期：分娩の概念と基本用語、分娩の機序 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義	喜多
12	分娩期：分娩期の胎児・出生直後の新生児の変化 事前学修：[30分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義	喜多
13	分娩期：分娩期の女性・家族の変化、分娩期に生じやすい異常 事前学修：[90分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	講義	喜多
14	TBL ②：分娩期にある女性と子ども・家族のアセスメントとケア 事前学修：[60分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	演習(TBL)	全員
15	事例検討：妊娠期・分娩期のアセスメントとケア、まとめ 事前学修：[90分] Glexa 上の事前学修課題に取り組む。 事後学修：[30分] Glexa 上の事後課題に取り組む、指定の日時に Glexa に提出する。	演習(事例検討)	全員

■ 教科書

概論：授業資料を配布する。

各論：森恵美他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 [2] 母性看護学各論. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■ フィードバックの仕方

- ・各回で提出された事後学修課題に書かれた内容を、次回授業でフィードバックする。
- ・試験のフィードバックは、終了直後に解説資料の配付を通じて行う。
- ・事前学修課題をまとめたノートは、3年次の発達看護学Ⅰ②開始初日に返却する。

■ 他の授業科目との関連

- ・2年次前期の「発達看護学概論」、3年次前期の「発達看護学Ⅰ②」、3年次後期の「看護援助論Ⅵ」と関連する。
- ・3年次の「発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)」の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み：30%(事前事後学修課題、TBL 結果含む)、事例学修ノート：10 %、定期試験：60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30- 13:00 喜多 (407 研究室)・佐藤 (422 研究室)

■ 受講上の注意事項

授業開始時間を過ぎたら遅刻とみなします。遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなします。

発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護②)

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 「3」成長 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNDN300

○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子

■ 授業の目的

女性のライフサイクルの中で、産褥期・新生児期の母子とそのパートナーを中心とした家族の健康に焦点をあて、看護師の役割と援助を考察することができる。

■ 到達目標

産褥・新生児期：

1. 産褥・新生児の概念、基本的用語について説明できる。
2. 産褥期および新生児期の身体的変化、心理社会的変化、生じやすい異常について説明できる。
3. 産褥早期の女性・子ども・家族の生活を理解し、家族形成のための看護について考察できる。
4. 地域における女性・子ども・家族の生活を理解し、健康増進のための看護について考察できる。
5. 産褥早期の母子事例の健康に関する情報を既習の知識に基づいて解釈、理解し、看護援助を計画することができる。
6. ハイリスク妊産褥婦と新生児への看護について考察できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開

Glaxa に示す事前学修課題、講義や演習、討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。

1) 事前事後学修課題：

- ・事前事後学修課題は所定の用紙に記入する。フォーマットは Glaxa に提示する。
- ・事前学修課題は授業の1週間前に Glaxa に提示する。授業に主体的に参加するために、授業までに取り組み、授業時に持参する。
- ・事後学修課題は、授業終了後に Glaxa に提示する。指定の日時までに Glaxa に提出する。
- ・2コマ続きの授業の場合は、前後で1回的事前事後学修課題とする。

2) 演習：チーム基盤型学習 (Team Based Learning：以下、TBL) を行う。TBL のチームは、2 年次後期「発達看護学 I ①」と同じメンバーとする。

3) 事例検討：授業初めに発達看護学 I ①で提出された【事例学修ノート】を返却する。あらたに事例のその後の経過、記録用紙、看護過程のガイドを配布する。実習で受け持つことを想定し、産褥期・新生児期の講義と並行して事例を読み込み、女性と家族の理解を深めるとともに、看護計画を立案する。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学修できるよう、動画、手記、新聞記事を適宜紹介する。また配布資料に参考資料を記載する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／事例の追加配布／「ご安産一座」 事前学修：[30 分] Glaxa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30 分] Glaxa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glaxa に提出する	講義・デモンストラーション	全員
2	産褥・新生児の概念、新生児の生理(胎児から新生児へ) 事前学修：[30 分] Glaxa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30 分] Glaxa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glaxa に提出する	講義	佐藤
3	新生児の生理・新生児に生じやすい異常 事前学修：[30 分] Glaxa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30 分] Glaxa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glaxa に提出する	講義	佐藤
4	産褥の生理・「お産後一座」 事前学修：[30 分] Glaxa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30 分] Glaxa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glaxa に提出する	講義・デモンストラーション	佐藤
5	特別講義：母乳育児(井村真澄教授) 事前学修：[30 分] Glaxa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30 分] Glaxa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glaxa に提出する	講義	全員

No	内容	形式	教員
6	女性・子ども・家族の生活と心理社会的変化 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	講義	佐藤
7	事例検討：アセスメント(新生児) 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	演習(事例検討)	全員
8	産褥期に生じやすい異常 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	講義	佐藤
9	TBL ①新生児期のアセスメントとケア 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	演習(TBL)	全員
10	ハイリスク妊産褥婦とハイリスク新生児への支援 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	講義	佐藤
11	TBL ②産褥期のアセスメントとケア 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	演習(TBL)	全員
12	事例検討：アセスメント(褥婦・家族) 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	演習(事例検討)	全員
13	TBL ③母子と家族のアセスメントとケア 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	演習(TBL)	全員
14	事例検討：全体像作成 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	演習(事例検討)	全員
15	事例検討：看護計画立案 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までに Glexa に提出する	演習(事例検討)	全員

■ 教科書

森恵美他(2021). 系統別看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論. 第14版. 医学書院. (2年次の発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)と同じ)

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で紹介する。

■ フィードバックの仕方

- ・各回終了時に提出された事後学修課題に書かれた主な内容は、次回授業でフィードバックする。
- ・試験のフィードバックは、試験終了直後に解説資料の配付を通じて行う。
- ・事例学修ノートは、定期試験終了後、指定された場所に提出する。レベルⅢ実習初日にコメントを付して返却する。

■ 他の授業科目との関連

・2年次の「発達看護学概論」「発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、3年次後期の「看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)」と関連する。

・発達看護学 I 実習(レベルⅢ)の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み：30%(事前事後学修課題・TBL)、事例学修ノート：10%、定期試験：60%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30-13:00 喜多(407 研究室)・佐藤(422 研究室)・服部(415 研究室)

■ 受講上の注意事項

授業スケジュールは変更する可能性がある。

遅刻 3 回で 1 回の欠席とみなす。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」擁護 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNDN251

○吉野純、楠田智子

■ 授業の目的

成長・発達過程にある子どもと家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が生き生きと生活できるような援助を学ぶ。さらに、子どもの安全、安楽、自立を考慮し、最善の利益を守るための私たちの役割を考える。あわせて、子どもと家族に対する看護職者の役割を保健、医療、福祉、教育及び子どもの権利条約などの面からも考える。

■ 到達目標

1. 急性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
2. 慢性期にある子どもと家族の看護について考案できる。
3. 外来・入院における子どもと家族の健康増進、健康回復のための看護について考案できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の展開

講義とグループワークを通して、学生同士で意見交換しながら理解を深める。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配付資料に参考資料・参考 DVD を記す。

3. 授業後のリアクションペーパー、オフィスアワー等の機会を利用し、疑問点の解決に努めるようにすること。

4. 事前・事後学修のまとめのノートは講義期間内に提出を求める(時期については講義中に告知する)。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／小児看護のめざすもの、子どもの権利 事前学修：[30分] 教科書巻末資料「子どもの権利条約」の全文を読む 事後学修：[30分] 授業の資料及び教科書の関連ページを読み返し、ノートにまとめる	講義・GW	吉野
2	子どもの健康障害や入院の理解／病気と入院をめぐる現状 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
3	子どもの感染症／予防接種 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
4	子どもの急性期症状と看護(1)発熱 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
5	子どもの急性期症状と看護(2)嘔吐・下痢・脱水 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
6	子どもの急性期症状と看護(3)呼吸困難 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
7	けいれん・乳幼児突然死症候群 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
8	子どもの事故と救急 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
9	入院が子どもとその家族に与える影響とその看護 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野

No	内容	形式	教員
10	子どもへの支援としての遊び(1) 事前学修：[30分] 提示された課題について下調べをする 事後学修：[30分] 発表資料を作成する	演習・発表	吉野
11	子どもへの支援としての遊び(2) 事前学修：[30分] 発表資料を作成する 事後学修：[30分] 本日の発表内容を振り返り、入院児への遊びの支援についてまとめる	演習・発表	吉野
12	慢性期にある子どもと家族 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
13	外来における看護 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
14	隔離や活動制限が必要な子どもと家族 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
15	健康教育／まとめ 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野

■ 教科書

- ①中野綾美編(2019)．ナーシング・グラフィカ小児看護学① 小児の発達と看護．第 6 版．メディカ出版。
②中野綾美編(2019)．ナーシング・グラフィカ小児看護学② 小児看護技術．第 4 版．メディカ出版。

■ 参考書、参考資料等

奈良間美保(2020)．系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論．第 14 版．医学書院。
その他、随時授業で資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、採点後に試験問題の解説を口頭で行う、もしくは Glexa 上に提示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回以降の授業内に行う。
3. 授業中のディスカッションのフィードバックは授業中に行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、2 年次前期「発達看護学概論」の学習内容の理解に基づいている。さらに 3 年次以降に開講される「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)」は、この科目に基づき、より発展的な内容を扱う。
発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習 [レベルⅢ] の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前事後学修課題、リアクションペーパー) 20%
2. プレゼンテーション 10%
3. 定期試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

開講日の授業終了後 30 分、各講義担当者の研究室で受け付ける。

吉野(409 研究室) 楠田(421 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3 回を欠席 1 回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

講義形式は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」連携 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNDN301

○楠田智子、吉野純、小田綾

■ 授業の目的

疾患や障がいをもつ子どもの置かれている状況を理解し、子どもと家族が生き生きとその人らしく生活できるよう身体的・精神的・社会的援助について学ぶ。さらに、子どもと家族への看護を考えるための具体的方法について事例を用いて演習する。

■ 到達目標

1. 疾患や障がいもち、さまざまな状況にある子どもと家族の援助を考案することができる。
2. 子どもと家族への看護を考えるための具体的方法がわかる。

■ 学習の進め方

AL

1. 授業の展開

講義とグループワークを通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。

事例を用いた演習(グループワーク・発表・討論)を通じて学ぶ。

2. 参考資料の提示

授業内容に沿った事柄をより深く学習できるよう、授業概要または配布資料に参考資料・参考 DVD を記す。

3. 授業後のリアクションペーパー、オフィスアワー等の機会を利用して、疑問点の解決に努めるようにすること。

4. 事前・事後学修のまとめノートは講義期間内に提出を求める(時期については講義中に告知する)。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／先天性疾患をもつ子どもと家族(1) 事前学修：[30分] 2年次後期「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ」の第13回小児科学①、第14回小児科学②の授業資料を読み返し、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	全員／楠田
2	先天性疾患をもつ子どもと家族(2) 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
3	先天性疾患をもつ子どもと家族(3) 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
4	手術を受ける子どもと家族 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
5	障がいのある子どもと家族 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
6	在宅における子どもと家族 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	楠田
7	小児がんの子どもと家族 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野

No	内容	形式	教員
8	子どもの死／戦争や災害に巻き込まれる子ども 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
9	子どもの痛み 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野
10	川崎病の子どもと家族 事前学修：[30分] Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業内容を踏まえて、川崎病の病態関連図を完成させる。	講義(オンデマンド)・演習	吉野
11	子どもと家族のアセスメント(1) 事前学修：[30分] 教科書の関連ページを読み、子どもと家族のアセスメントの視点についてノートに書きだしておく 事後学修：[30分] 事例のアセスメントに取り組む	講義・演習	全員
12	子どもと家族のアセスメント(2) 事前学修：[30分] 事例のアセスメントに取り組む 事後学修：[30分] グループワークを経て、事例のアセスメントを深める	講義・演習	全員
13	子どもと家族のアセスメント(3) 事前学修：[30分] 事例の全体像・ケアプランに取り組む 事後学修：[30分] グループワークを経て、事例の全体像・ケアプランを深める	演習	全員
14	子どもと家族のアセスメント(4) 事前学修：[30分] 発表資料を整え、準備をする 事後学修：[30分] 発表を踏まえ、全体像・ケアプランの修正や追記を行う	発表・ディスカッション(討論)・ディベート	全員
15	子どもと家族の健康に関する私達の役割と課題 事前学修：[30分] 前週講義内もしくは Glexa 上に提示した課題に取り組む 事後学修：[30分] 授業の資料および教科書の関連ページを読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義・GW	吉野

■ 教科書

- ①中野綾美(2019). ナーシング・グラフィカ小児看護学① 小児の発達と看護. 第6版. メディカ出版.
 ②中野綾美(2019). ナーシング・グラフィカ小児看護学② 小児看護技術. 第4版. メディカ出版.

■ 参考書、参考資料等

奈良間美保(2020). 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学 [2] 小児臨床看護各論. 第14版. 医学書院.
 その他、随時授業で資料を配布する。

■ フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、採点後に試験問題の解説を口頭で行う、もしくは Glexa 上に掲示する。
2. 授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回以降の授業内に行う。
3. 子どもと家族のアセスメントなど成果物のフィードバックは授業中の解説および、最終回までに返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、2年次後期に開講された「発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)」に基づき、より発展的な内容を扱う。
 発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前事後学修課題、リアクションペーパー) 20%
2. 子どもと家族のアセスメント成果物(関連図・全体像・ケアプラン) 10%
3. 定期試験 70%

■ オフィスアワー・研究室等

開講日の授業終了後 30分、各講義担当者の研究室で受け付ける。

吉野(409 研究室) 楠田(421 研究室) 小田(429 研究室)

■ 受講上の注意事項

遅刻 3回を欠席 1回とみなす。

既習知識の確認をしながら進めるので、予習・復習をして主体的に参加することを望む。

講義形式は変更する可能性がある。

発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応 DP：「1」擁護 「2」連携 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNDN252

○太田喜久子、住谷ゆかり、松本佐知子

■ 授業の目的

老年期にある人を理解し、健康生活の状態を捉え、その人の強み・持てる力を活かし生活の質の維持、向上をめざす看護のあり方について学ぶ。

■ 到達目標

1. 老年期の看護がめざすことを説明できる。
2. 老年期にある人を理解し、健康生活の状態の捉え方を説明できる。
3. 高齢者の意思と尊厳を支え、強み・持てる力を活かした援助について説明できる。
4. 高齢者ケアに関わる制度、仕組みづくりについて説明できる。
5. さまざまな医療、生活の場における高齢者ケアの特徴を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 必要時には、授業日前に Glexa を利用して資料を配布する。
3. 講義中はグループディスカッションを行い、学生同士による意見交換を通して課題と知識の理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 超高齢社会と老年看護 事前学修：[30分] 発達看護学概論の内容を復習する 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
2	老年期看護の倫理的課題、高齢者の尊厳と意思決定を支える援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
3	医療保険制度、介護保険制度と高齢者ケア 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	松本
4	医療を受ける高齢者への看護—入院、退院支援、外来における援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	住谷
5	認知症高齢者への看護 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
6	高齢者と共に生きる(旅のこたば) 事前学修：[30分] 第2回講義内容を復習する 事後学修：[30分] GW、発表を振り返り、気付き、考えたことをノートにまとめる	GW、発表	太田
7	高齢者の状況と高齢者の暮らし・健康づくり—元気スタンドの活動について 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
8	施設に暮らす高齢者の看護 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	松本
9	在宅高齢者の看護 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
10	高齢者を取り巻く家族への援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田

No	内容	形式	教員
11	高齢者の健康生活状態の捉え方、高齢者の健康生活の状態に関する健康レベル・生活歴・生活環境(事例紹介) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	太田
12	高齢者の終末期における援助 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] 講義資料を読み返し、疑問点や学習内容をノートにまとめる	講義 ディスカッション	松島・太田
13	高齢者の健康生活の状態を捉え、強み・持てる力を活かした援助(事例検討①) 事前学修：[30分] 事前に配布する事例を読み、健康生活の状態を整理する 事後学修：[30分] GW 内容を振り返り、気づき、考えたことをノートにまとめる	GW	太田 住谷 松本 松島
14	高齢者の健康生活の状態を捉え、強み・持てる力を活かした援助(事例検討②) 事前学修：[30分] 前回 GW から、事例の強み・持てる力を活かした援助を考える 事後学修：[30分] GW 内容を振り返り、気づき、考えたことをノートにまとめる	GW	太田 住谷 松本 松島
15	高齢者の健康生活の状態を捉え、強み・持てる力を活かした援助(発表・まとめ) 事前学修：[30分] 講義で示した課題学習を行う 事後学修：[30分] GW、発表を振り返り、気づき、考えたことをノートにまとめる	発表	太田 住谷 松本 松島

■教科書

適宜、資料を配布する。

■参考書、参考資料等

太田喜久子編著(2017). 老年看護学 高齢者の健康生活を支える看護. 第2版. 医歯薬出版株式会社.
 井庭崇、岡田誠編著(2015). 旅のことは 認知症とともによりよく生きるためのヒント. 丸善出版.
 堀内ふき他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害. 第6版. メディカ出版.
 堀内ふき他編(2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践. 第5版. メディカ出版.

■フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、定期試験後に口頭での解説、または解説資料(配布もしくは Glexa 上)にて行う。
2. リアクションペーパーは、授業後に配布・回収し、次回授業開始時にフィードバックを行う。
3. 授業中のディスカッション、GW のフィードバックは、授業中に行う。

■他の授業科目との関連

- 1.3 年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習(レベルⅢ)の履修要件となっている。
- 2.3 年次の発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)の授業では、より具体的な看護実践について学ぶ。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッション、GW の内容) 30%
2. 定期試験 70%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日授業時間後に担当教員が対応します。

太田(403 研究室)、住谷(401 研究室)、松本(419 研究室)、松島(414 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとする。

発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNDN302

○住谷ゆかり、太田喜久子、松本佐知子、松島史絵

■ 授業の目的

老年期にある人の加齢や疾患により生じた健康障害について理解し、老年期にある人がそれぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活が送れるための看護のあり方について考える。

■ 到達目標

1. 老年期にある人の加齢や疾患の特徴について説明できる。
2. 老年期にある人の加齢や疾患による変化について説明できる。
3. 老年期にある人が自らの健康を目指すうえでの障害について説明できる。
4. 老年期にある人の価値・信念について理解でき、抱えている倫理的課題について説明できる。
5. 老年期にある人の意思決定に基づいた実現可能な目標を設定し、生活の維持・再構成が行われるよう看護のあり方を説明できる。

■ 学習の進め方

AL

1. 事前学修課題に取り組み、学修に必要な基礎知識を復習・整理しておく。
2. 事例演習では、各講義や既習の知識を活用しながら事例の分析(アセスメント)を行い、高齢者の加齢や障害を理解し、高齢者が望む良い状態に向けて意思、価値観、日常生活を尊重した看護援助を検討する。
3. 事例演習でのグループワークでは、学生同士による活発な意見交換を通して事例の理解を深めながら看護援助について考察する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：高齢者の生活と看護<食べる・飲む> 事前学修：[30分] 既習の発達看護学概論、看護援助論Ⅳ、発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)の内容を復習し、高齢者の食と栄養の意義や嚥下・消化吸収機能についてポイントをまとめる 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	松島・住谷
2	高齢者の生活と看護<動く・休む> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	住谷
3	高齢者の生活と看護<排泄する> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	松本・住谷
4	高齢者の生活と看護<清潔を保持する> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	松島・住谷
5	高齢者の生活と看護<移動・ポジショニング> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	住谷
6	高齢者の生活と看護<活動する> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	住谷
7	高齢者の生活と看護<感じる> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	太田
8	高齢者の生活と看護<理解する・コミュニケーションする> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	松本・住谷
9	高齢者の生活と看護<安全を維持する> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習(ディスカッション)	住谷

No	内容	形式	教員
10	医療を受ける高齢者への看護<手術・リハビリテーション> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 (ディスカッション)	住谷
11	医療を受ける高齢者への看護<薬物療法> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 (ディスカッション)	住谷
12	高齢者の生活と看護<セクシュアリティ> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 (ディスカッション)	太田
13	講義の復習・事例演習 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] 講義の資料を読み返し、疑問点、理解した内容をノートにまとめる	講義 演習 (ディスカッション)	住谷・太田・松本・松島
14	高齢者の生活と看護<GW> 事前学修：[30分] 講義で示した課題学修を行う 事後学修：[30分] GWの資料、意見交換の内容を振り返り、新たに気付いたことや考えたことをノートにまとめる	GW ディスカッション	住谷・太田・松本・松島
15	高齢者の生活と看護<GW発表> 事前学修：[30分] GWの発表内容についてポイントをまとめる 事後学修：[30分] GW発表、意見交換の内容を振り返り、新たに気付いたことや考えたことをノートにまとめる	GW発表 ディスカッション	住谷・太田・松本・松島

■教科書

適宜、資料を配布する。

■参考書、参考資料等

堀内ふさ他編 (2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害. 第6版. メディカ出版.

堀内ふさ他編 (2021). ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践. 第5版. メディカ出版.

亀井智子編 (2020). 根拠と事故防止からみた老年看護技術. 第3版. 医学書院.

※他の参考書および参考資料等は、適宜、紹介・提示する。

■フィードバックの仕方

1. 試験のフィードバックは、定期試験後に口頭での解説、または解説資料(配布もしくは Glexa 上)にて行う。
2. リアクションペーパーは、授業後に配布・回収し、次回授業開始時にフィードバックを行う。
3. 授業中のディスカッション、GWのフィードバックは、授業中に行う。

■他の授業科目との関連

発達看護学概論、看護援助論Ⅳ・Ⅴ、発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)、健康レベル別看護学演習Ⅱに関連する。また、発達看護学Ⅲ実習[レベルⅢ]の履修要件となっている。

■成績評価の仕方

1. 授業への取り組み(事前学修課題、リアクションペーパー、グループディスカッション・GWの内容) 30%
2. 定期試験 70%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日授業時間後に担当教員が対応します。

住谷(401 研究室)、太田(403 研究室)、松本(419 研究室)、松島(414 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとする。

精神保健看護学Ⅰ（理論）

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」探求 「2」成長 「3」関係 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNMN250

○小宮敬子、松本佳子

■ 授業の目的

人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて、さらに看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から探求し、精神の健康のあらゆる面から、看護の基礎となる人間理解を深める。

■ 到達目標

1. 人格の発達と病理について理解し、看護が取り組むべき課題を見出すことができる。
2. 精神と身体、家族、集団、社会のダイナミクスについて理解できる。
3. 看護という職業の特徴について、対象関係論およびシステム論的観点から理解できる。
4. 関係のなかの人間という概念が理解できる。
5. 精神の健康のあらゆる面から看護の基礎となる人間理解を深め、人間理解の観点から自らの看護実践を振り返り、評価することができる。

■ 学習の進め方

講義を中心とするが、適宜、学生が討論する時間を設ける。リフレクションペーパー、次回授業の予習用ペーパーは教室にて配布する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	精神看護の現状と課題Ⅰ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第1章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめておく 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
2	精神障害の現状と課題Ⅱ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第2章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
3	人格の成熟① 人格、気質、アイデンティティ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義	小宮
4	人格の成熟② 対象関係論としてとらえ方 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
5	人格の成熟③ 甘えと自己 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第3章」の指定箇所を読み、疑問点を予習用ペーパーにまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
6	不安の防衛としての症状とその援助 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第2章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本
7	心的外傷と精神障害・・・サヴァイバーの生きにくさ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第2章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
8	自殺のリスクと予防 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第13章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本
9	精神障害者にとってのリハビリ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第9章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮・松本
10	集団のダイナミクスと集団精神療法 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第4章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本

No	内容	形式	教員
11	家族のダイナミクスと家族療法 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第4章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義	松本
12	社会の中の精神障害① スティグマと精神障害者の人権 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第7章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本
13	社会の中の精神障害② 精神保健福祉にかかわる法制度 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第7章」の指定箇所を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	松本
14	感情と看護 事前学修：[30分] 精神看護学 [2] 終章」を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮
15	患者-看護師関係における感情体験 事前学修：[30分] 教科書の指定の資料を読み、疑問点をまとめる 事後学修：[30分] 配布資料を読み返して復習し、リフレクションペーパーを作成する	講義・討論	小宮・松本

■ 教科書

武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [1] 精神看護の基礎. 第6版. 医学書院.
 武井麻子他著 (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [2] 精神看護の展開. 第6版. 医学書院.
 使用する教科書の発行年については改めて提示する。

■ 参考書、参考資料等

武井麻子著 (2005). 精神看護学ノート. 第2版. 医学書院.
 その他の参考書については、講義の中で提示する。

■ フィードバックの仕方

試験のフィードバックは、解答及び解説を Glexa にて行う。解説する時間を時間外に設定する。質問がある場合には、いつでも連絡してください。

■ 他の授業科目との関連

この科目は、精神保健看護学実習 [レベルⅢ] の履修要件となっています。また、3年次前期に開講される、「精神保健看護学Ⅱ (技法)」、「疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ (精神医学)」の基盤となります。

■ 成績評価の仕方

1. 筆記試験…75%、2. 授業への取り組み (リフレクションシートと小レポートの提出)…25%

■ オフィスアワー・研究室等

授業の開講日の 12:20~12:50、18:00~18:30。小宮敬子研究室(402)、松本佳子研究室(412)。

■ 受講上の注意事項

精神の健康を、生活の中の人間関係の視点から捉え、人間が生きていく過程の中で精神障害の意味について考えていきましょう。

精神保健看護学Ⅱ(技法)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」関係 「3」擁護 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNMN300

○松本佳子、小宮敬子、宮本晶

■ 授業の目的

精神看護を実践するための考え方や実践方法について学び、精神保健領域において看護援助を行うための基礎的な知識と技法を習得する。

■ 到達目標

1. 精神保健看護における、ケアの原則について理解し、説明できる。
2. 精神保健領域において看護援助を展開するために必要な考え方や方法を説明できる。
3. 入院治療や在宅といった、場の違いを踏まえた精神保健の看護援助の考え方や方法を説明できる。
4. 精神障害を抱えながら、地域で生活することの意味を理解し、必要な看護援助を説明できる。

■ 学習の進め方

1. 講義とディスカッション：基本的に講義を中心とするが、事例などを提示して学生がディスカッションする時間を、随時授業時間内に設けて、具体的理解を深められるようにする。
2. 授業レポート：授業で学んだことを土台にして、考えたこと感じたことを A4 用紙 1 枚程度のレポートにまとめる。初回の授業で提示されるテーマについて、このレポートを作成する。
3. 感想・意見・質問：授業終了時、「感想・意見・質問」のリフレクションシートを配布し、学生が記入することで授業内容の振り返りができるようにする。また、次回以降の授業でこれをもとに補足説明を行い、学習をより深められるようにする。
4. 参考資料の提示：興味関心がある領域について学生個々の学びを深められるように、授業内容に関連する参考資料を、授業で紹介する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	精神保健看護におけるケアの前提と原則 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [8] 第1章」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義・討議	小宮
2	患者との関わり：そばにいたいこと、遊ぶこと 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第9章」を読んで、ノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義	松本
3	回復を助ける 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第9章」を読んで、ノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義	小宮
4	入院治療と看護の展開 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第11章 D・E」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義	松本
5	治療的環境をつくる 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第11章 A・B」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義	小宮
6	精神科看護におけるアセスメントと記録 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第11章 C」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義・演習	松本
7	安全を守る 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第13章」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートをまとめて提出する	講義	松本
8	身体をケアする 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第12章 A・B」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義	松本
9	薬物療法と看護 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第12章 C・D」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめて提出する	講義	松本

No	内容	形式	教員
10	精神科訪問看護 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第 10 章C」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめ提出する	講義	小宮
11	精神障害者の地域生活を支える諸制度 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [1] 第 7 章E」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめ提出する	講義	小宮
12	地域で暮らすということ 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第 10 章A・B」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめ提出する	演習	小宮・松本・宮本
13	精神専門看護師の役割と機能 事前学修：[30分] 教科書「精神看護学 [2] 第 12 章」を読んでノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめ提出する	演習	小宮・松本・宮本
14	事例から学ぶ①-患者の人となりを理解する 事前学修：[30分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめ提出する	演習	小宮・松本・宮本
15	事例から学ぶ②-対処の難しい場面から 事前学修：[30分] 事前に提示された資料を読み、疑問点をノートにまとめる 事後学修：[30分] 授業内容を振り返り、リフレクションシートにまとめ提出する	演習	小宮・松本・宮本

■ 教科書

武井麻子ほか (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [1] . 第 6 版. 精神看護の基礎. 医学書院.

武井麻子ほか (2021). 系統看護学講座 精神看護学 [2] . 第 6 版. 精神看護の展開. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

■ フィードバックの仕方

授業の内容、ディスカッションの内容についてリフレクションペーパーを提出してもらい、次回授業開始前にフィードバックする。定期試験のフィードバックは、試験終了後に、解答と解説を Glexa 上にアップロードする。

■ 他の授業科目との関連

この科目は精神保健看護学実習 [レベルⅢ] 実習の履修要件です。授業内容は、2 年次開講の「看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)」、「精神保健看護学Ⅰ(理論)」で学んだ内容を基盤として、より発展的な精神保健看護学の内容を取扱います。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 75 % 2. 授業への取り組み・授業レポート 25 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30~12:50

小宮敬子(402 研究室)、松本佳子(412 研究室)で質問や相談に応じます。

国際看護学(異文化とケア含)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」コミュニティ貢献
実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNVN300

○織方愛、野口眞貴子

■ 授業の目的

実際に海外で看護活動を行う際に、現地の異文化に沿ったケアの展開ができるための諸要件を理解する

■ 到達目標

1. 異文化適応と異文化環境下で提供できるケアについて考察できる
2. 世界の健康課題を知る
3. グローバルヘルスの諸概念について説明できる
4. 国際看護活動を展開するための仕組みについて理解できる
5. 実際に国際看護活動の様子を聞き、世界の健康格差是正に向けたアプローチのイメージを持つことができる

■ 学習の進め方

「AL」

1. 事前課題に取り組む
2. 授業の展開：講義を行うとともに、グループワークやディスカッションといった演習・討論の時間を設ける。
3. 事後課題に取り組む。
4. 授業終了後にリフレクションペーパーに記入し、学生が考えたことや疑問を主体的に言語化できるようにする。
- 5.4. に対するフィードバックを行い、さらに学習を深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	コースオリエンテーション、グローバルヘルス・国際看護の概念と歴史 事前学修：[15分] 教科書の「国際看護」の定義該当箇所を書き出し、その他1つの定義について共通点・相違点をA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
2	グローバルヘルス①：健康指標から読み解く健康格差(疾病負荷の構造) 事前学修：[15分] 人間の安全保障に関する書籍や資料を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
3	グローバルヘルス②：グローバルヘルスイニシアティブ 事前学修：[15分] SDGsに関する書籍や資料を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
4	グローバルヘルス③：SDGs・UHC 事前学修：[15分] UHCに関する書籍や資料を読み、A4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
5	国際看護活動と国際機関・国際協力の仕組み 事前学修：[15分] 国際看護活動を行う世界の看護職1名(時代は問わない)について調べ、その活動内容をA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義	野口
6	世界の健康課題：感染症、非感染性疾患 事前学修：[15分] 世界の健康課題の内訳を調べ、疾病負荷の高い順に並べ、その理由を考えA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
7	国際看護活動の実際 事前学修：[15分] 国際支援活動について調べA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方
8	国際看護活動におけるリスクマネジメント 事前学修：[15分] 多文化社会に関する書籍や資料を読みA4用紙1枚にまとめる 事後学修：[15分] 授業の配布資料を読み返す。リフレクションペーパーを作成する	講義・演習・討論	織方

■ 教科書

浦田喜久子編(2019). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院

■ 参考書、参考資料等

Paul F. Basch 著(2001). バッシュ国際保健学講座. 初版. じほう.
デビットワナー(2009). 医師のいないところで. 初版. 国際保健協力市民の会.

■ フィードバックの仕方

- ①リフレクションペーパーの質問は、匿名の上受講者に公開する。フィードバックは、Glexa 内や次回の講義で行う。
- ②定期試験のフィードバックは、試験実施後 9 月 30 日までに Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

国際看護学演習の学習基盤となる知識を学習する。

■ 成績評価の仕方

1. 定期試験 60 %
 2. 授業への取り組み(リフレクションペーパー) 40 %
- 合計 100 %

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

毎週のリフレクションペーパーも活用ください。オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で次週の授業で公開し全員の学びとする。

- ①授業終了後に教室で直接、質問を受け付ける。
- ②授業開講日に随時メールで受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。
- ③授業開講日に直接織方(554 研究室)、野口(403 研究室)まで。

■ 受講上の注意事項

主体的な参加を期待します。更に学習したい方は、3 年次後期の選択科目(国際看護学演習)も履修ください。

国際看護学演習

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」国際貢献 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNVN350

○織方愛

■ 授業の目的

国際看護学の学習を基礎に、異文化を背景に展開される保健医療施設、看護実践について海外研修を通じて学ぶ。

■ 到達目標

1. 保健医療福祉看護システムの異なる国における保健医療ニーズや健康課題を把握し、その国、地域独自の看護の役割・機能を理解する。
2. 異文化社会を自ら体験し、国際活動に必要な知識・技術・感性を身に付ける。
3. 異文化の看護体験を他者に説明することができる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：大学の方針に基づき海外渡航はせず、全てオンライン実施とする。研修先国はルワンダ共和国である。
2. 参考資料の提示：当該国に関する資料等を提示するので熟読し、事前準備を行う。
3. 演習前オリエンテーション：事前課題・演習プログラムの概要・健康管理・危機管理等のオリエンテーションを数回実施するので必ず出席すること。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 演習前オリエンテーション：事前に2回演習プログラムの概要・事前課題・健康管理・危機管理等の説明を行う(下記演習日程を確認すること)。事前学習として①国際看護学Ⅱで行ったカントリープロフィールを各自の演習目標に焦点化したもので展開、②演習国における危機管理、③プロジェクト目標設定等を課す。事前課題が多くあるため、計画的に進められるようにすること。
2. 演習日程：下記の通り集中講義。ルワンダとの時差(ルワンダは7時間遅い)のため、夜間開講となる。
 - ① 1/12(木) 5限
 - ② 1/19(木) 5限
 - ③ 3/6(月) 2～6限
 - ④ 3/7(火) 2～6限
 - ⑤ 3/8(水) 4～6限
3. 演習内容：現地の保健医療制度、保健医療課題等について学ぶ。カントリープロフィールの情報と、実際の人びとから生で聞いた情報とを統合する。演習に参加予定の方がた(一例)は、ルワンダ赤十字社事業にかかわる受益者住民・保健施設職員・赤十字社職員やボランティアである。現地の課題へのアプローチ方法を学び、課題解決へ向けての考察を行う。
4. 演習費用：無し。オンライン演習にかかる通信費は全額自己負担とする。通信環境を整えること。
5. ルワンダ共和国の治安・感染症等、現地の方がたの安全が懸念されるような状況によっては、演習開講中止やスケジュール変更があらうる。

No	内容	形式	教員
----	----	----	----

■ 教科書

その都度提示する。

■ 参考書、参考資料等

ルワンダに関する映画、情報サイト等を事前に見ておくこと

David Werner, 川田いこひ原訳 シェア監訳 (2009). 医者はいないところで 村のヘルスケア手引書. 非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会.

Richard Skolnik, 木原正博・木原雅子監訳 (2017). グローバルヘルス 世界の健康と対処戦略の最新動向. メディカルサイエンスインターナショナル.

日本国外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/toranomaki.pdf>

日本国外務省海外安全虎の巻 最新版をダウンロードすること。

厚生労働省検疫所 海外で安全に過ごすために <https://www.forth.go.jp/index.html>

その他、演習先国及び保健医療福祉看護状況に関する資料を提示する。

■ フィードバックの仕方

定期試験のフィードバックは、試験終了後 3月 31日までに Glexa 上で行う。

■ 他の授業科目との関連

本科目の履修要件は、①国際看護学の単位取得 である。

■ 成績評価の仕方

1. 研修への取り組み 50 % 2. 定期試験(演習終了後の課題レポート) 50 % 合計 100 %

※提出期限に遅れた場合は 20 %の減点とする。

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーの個別の質問に関しては、質問者の了承を得て匿名で公開し全員の学びとする。

①授業終了後に教室(Zoom)で直接、質問を受け付ける。

②授業開講日に随時メール(a-ogata@redcross.ac.jp)で受け付ける(授業開講日ではない日の質問は、授業開講日にお答えします)。

③授業開講日に直接織方(554 研究室)まで。

研修への取り組みについては、研修中の振り返り時に適宜フィードバックを行う。

■ 受講上の注意事項

ルワンダの方がたとのやり取りは、英語で行っていただきます。英語の流暢さは問いませんが、自分の聞きたいことをわかりやすく伝える努力ができる方の履修をお待ちしています。

災害看護活動論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：2年次 開講期：後期 対応DP：「1」変化 「2」コミュニティ貢献 「3」連携 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNVN250

○織方愛、根岸京子、内木美恵

■ 授業の目的

災害中長期において起きやすい健康および生活に関する問題、対応について学ぶ。被災者および救護者に対する「こころのケア」の必要性と共に、時期的変化をふまえた「こころの状態」について理解し、基本的なコミュニケーションの方法について具体的に学ぶ。

■ 到達目標

1. 被災者の危機的状況と心の反応を時期的変化と共に説明できる。
2. こころのケアとは何か、こころのケアの効果と実施上の基本原則について説明できる。
3. こころのトリアージの必要性およびこころのトリアージの分類について説明できる。
4. 災害中長期における被災者の生活の場の特性と被災者のニーズについて理解する。
5. こころのケアを展開する生活の場についての具体的な方法を演習で展開できる。
6. 救護者のこころのケアについて、その必要性和具体的な方法について説明できる。
7. 遺族及び救援者のこころのケアについて討論を展開し、考察展開できる。

■ 学習の進め方

「AL」

1. 授業の展開：講義と演習、基本的に毎回2コマ続きの講義・ディスカッションを行う。
2. 講義：こころのケアの概論と被災者・救援者・遺族へのこころのケア

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 事前学修：[30分] 災害看護論Ⅰ 授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	織方
2	被災者の生活とこころの変化 事前学修：[30分] 災害看護論Ⅰ 授業資料に目を通し、復習しておく。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
3	被災者のこころのケア 事前学修：[30分] 被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
4	被災者のこころのケア 事前学修：[30分] 被災者のこころのケアについての文献を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
5	災害時要配慮者のこころのケア 事前学修：[30分] 災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
6	災害時要配慮者のこころのケア 事前学修：[30分] 災害時要配慮者の特徴を調べ発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
7	救援者のこころのケア 事前学修：[30分] 第3、4回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
8	救援者のこころのケア 事前学修：[30分] 第3、4回目授業資料を読み、被災者のこころのケアについて復習する。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
9	遺族のこころのケア 事前学修：[30分] 映画「遺体 明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情についてA4用紙にまとめてくる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸

No	内容	形式	教員
10	遺族のこころのケア 事前学修：[30分] 映画「遺体 明日への十日間」のあらすじを読み、遺族の心情についてA4用紙にまとめてくる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・演習	織方、根岸
11	日本赤十字社救護班の活動：整体 事前学修：[30分] 第9回、10回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	織方、根岸
12	日本赤十字社救護班の活動：整体 事前学修：[30分] 第9回、10回の授業内容を振り返り、遺族のこころのケアについて発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	織方、根岸
13	日本赤十字社救護班の活動：整体 事前学修：[30分] 第11回、12回の授業内容を振り返り、整体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義	織方、根岸
14	日本赤十字社救護班の活動：整体 事前学修：[30分] 第11回、12回の授業内容を振り返り、整体について発言できるようにノートにまとめる。 事後学修：[30分] リフレクションペーパーを作成し提出する。	講義・討論	織方、根岸
15	コースサマリー 事前学修：[30分] これまでの授業内容を振り返っておく。 事後学修：[120分] 課題レポートに取り組み提出する。	講義・討論	織方

■ 教科書

必要な資料を作成し授業で配布する。

■ 参考書、参考資料等

浦田喜久子編(2019). 系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学. 第4版. 医学書院.

斉藤仁(2008). 看護師金田和子と救護班. インターメディカ.

飯塚訓(1998). 墜落遺体. 講談社.

君塚良一(2013). 遺体 明日への十日間. ポニーキャニオン(DVD).

■ フィードバックの仕方

プレゼンテーションのフィードバックは、授業中に行い、リフレクションペーパーの質問についてのフィードバックは、次回の講義で行う。また、課題レポートのフィードバックについては、Glexaにてコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

1. 災害看護論Ⅰの単位取得を履修要件とする。
2. 災害看護活動論Ⅰ・Ⅱの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

1. プレゼンテーション、課題への取り組み 40%(40点)
2. 事後課題レポート：授業内で課題レポートのテーマを提示する。60%(60点)

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の授業終了後、またはメールで随時。

織方(554 研究室)

看護管理学

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」変化 「2」連携 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNAN350

○大和田恭子

■ 授業の目的

看護の対象者となる人々に最も有効で良質な看護を提供するための「しくみ」について学び、その内容や方法についての理解を深める。

■ 到達目標

1. 看護管理の概念について説明することができる。
2. 看護をとりまく、保健・医療・福祉のしくみについて説明することができる。
3. 看護職の役割と機能について説明することができる。
4. 看護サービスを提供するための組織内のしくみについて説明することができる。
5. チームにおける看護と他職種との協働・連携について説明することができる。
6. 保健・医療・福祉の協働・連携について説明することができる。
7. 組織の一員として、自覚と責任ある行動をとり、自らの役割を果たす重要性について説明することができる。
8. 対象者のプライバシーや個人情報を保護するための情報管理について説明することができる。
9. 医療安全の基本的な考え方と看護師の役割について説明することができる。
10. 看護の質の向上に向けて看護師として専門性を発展させていく重要性について説明することができる。
11. 看護実践にデータを活用することの重要性について説明することができる。

■ 学習の進め方

講義・演習により進める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	看護とマネジメント 事前学修：[90分] 教科書の1章を読み、看護管理とは何かを A4 用紙 1 枚にまとめてくる。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田
2	看護を取り巻く社会と諸制度 —保健・医療・福祉のしくみ— 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田
3	看護ケアのマネジメント —看護職の役割と機能— 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田
4	看護ケアのマネジメント —チーム医療と多職種連携— 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田
5	看護ケアのマネジメント —安全管理— 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田
6	看護サービスのマネジメント —資源管理— 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田
7	看護サービスのマネジメント —看護の質管理— 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田
8	看護職のキャリアマネジメント 事前学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。 事後学修：[90分] 授業中に提示された課題を行う。	講義・演習	大和田

■教科書

上泉和子他. 系統看護学講座専門分野 看護の統合と実践① 看護管理. 最新版. 医学書院.

■参考書、参考資料等

なし

■フィードバックの仕方

授業中に教室で、担当教員が演習用紙を返却する。

試験の採点后 5 週間以内を目安に、試験問題の解説を掲示する。

■他の授業科目との関連

看護管理学 第2回「看護を取り巻く社会と諸制度－保健・医療・福祉のしくみ－」、第3回「看護職の役割と機能」等で触れた内容は4年次前期の看護関係法規で学びを深める。

第4回「看護ケアのマネジメント－チーム医療と多職種連携－」等で学ぶ内容は、4年次後期の看護学総合実習でより発展させる。

■成績評価の仕方

定期試験(50%)、演習(50%)により評価する。

■オフィスアワー・研究室等

授業終了後に教室で質問を受け付ける

■受講上の注意事項

なし

看護教育学

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」成長 「2」変化 「3」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SNAN351

○岡田彩子

■ 授業の目的

看護学教育とは何かを明確にすることから出発し、その目的を達成するための看護教育制度の現状と課題を理解する。また看護教育方法の基礎的な考え方を学び、自らが学んでいる看護学への教育的関心を高め、成長する力について考える。

■ 到達目標

1. 看護学教育の定義と目的・目標について説明できる。
2. 看護教育制度の現状について説明できる。
3. 大学教育拡充の要因について説明できる。
4. 看護学教育の課題について自分の考えが説明できる。
5. 「わかること」と「できること」について、具体的事例を挙げて自分の考えを説明できる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開：講義を行うとともに、提示したテーマについて授業中に討議・GWの時間をとる。
2. ワークシートの記入：ワークシートの課題に取り組むことで講義の理解を深めるとともに、授業終了時に感想や意見を記入することで授業内容の振り返りができるようにする。次の授業の初めにそれらの紹介と補足説明によって、学習を深められるようにする。
3. 1 および 2 に取り組む中で問題意識を持ち、あるいは自分の体験と結びつけながら具体的に理解できるようにする。また学生同士の意見交換を行い、自分の考えを整理する機会とする。
4. 参考資料の提示：配布資料に示した参考資料から興味関心のある内容について、学生自身で学びを深められるようにする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション 看護学教育とは 事前学修：[30分] 大学で看護を学ぶことについて、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返す。自己の今後のキャリアについて考える。	講義・討議	岡田
2	看護教育制度：看護基礎教育 事前学修：[30分] 看護大学、看護短期大学、看護専門学校の違いについて、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、各教育機関の違いを整理する。	講義・討議	岡田
3	看護教育制度：看護継続教育 事前学修：[30分] 看護師の資格取得後の学習の機会について、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、資格取得後の学習の機会について整理する。	講義・討議	岡田
4	看護教育制度の現状と課題 事前学修：[30分] 前回までの授業から、看護教育制度の課題に対する自己の考えをA4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業でのGWや配布資料を読み返し、看護教育制度の課題について整理する。	講義・GW	岡田
5	大学教育拡充の要因 事前学修：[30分] この30年間の看護系大学の数の推移について調べ、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、大学教育が拡充した要因と現状の課題について、整理する。	講義・討議	岡田
6	教えることと学ぶこと 事前学修：[30分] 自分が誰かに教えた経験について振り返り、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、教えることと学ぶことについて整理する。	講義・討議	岡田
7	「わかること」と「できること」 事前学修：[30分] 「わかっているができないこと」と「できているがわからないこと」の経験について振り返り、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 授業の配布資料を読み返し、わかることとできることの関係について整理する。	講義・討議	岡田

No	内容	形式	教員
8	看護学教育の課題と展望 事前学修：[30分] 自分が教えることを想定した工夫について考え、A4用紙1枚にまとめる。 事後学修：[30分] 看護学教育の課題と展望について整理する。	講義・GW	岡田

■教科書

グレッグ美鈴、池西悦子(2018年). 看護教育学 看護を学ぶ自分と向き合う. 改訂第2版. 南江堂.

■参考書、参考資料等

各回の授業で、紹介する。

■フィードバックの仕方

ワークシートは原則として返却します。試験のフィードバックは、試験実施後3週間以内に岡田研究室にて、採点結果と解説資料の配布を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■他の授業科目との関連

この科目は将来、看護を教える際に必要となる基礎的な内容を取り上げます。

■成績評価の仕方

1. 授業への取組み 30% 2. 定期試験 70%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の12:20～12:50 他は随時電子メールで受け付ける。(a-okada@redcross.ac.jp)
 岡田研究室(410 研究室)

■受講上の注意事項

遅刻3回で欠席1回とみなします。

応用看護学特論 I (精神：看護師とメンタルヘルス)隔年開講

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3・4 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」成長 「3」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNAN300

○小宮敬子、松本佳子

■ 授業の目的

看護職に特有なメンタルヘルスの問題について、その背景にある社会的な状況を踏まえて探求し、それに対処するための具体的な方法について理解する。

■ 到達目標

1. 看護職に特徴的なメンタルヘルスの状況を説明できる。
2. メンタルヘルスの問題の背景について、説明できる。
3. メンタルヘルスに対処するために有効な方法と支援の資源を複数、説明できる。

■ 学習の進め方

AL

講義及び、課題について調べる・発表・グループワークを組み合わせで行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション：講義の進め方についての説明 看護職とメンタルヘルス全般について 事前学修：[20 分] 看護職のメンタルヘルスについて、検索してみる 事後学修：[40 分] 各自のテーマについて、調べてまとめる	講義とグループワーク	小宮、松本
2	各自の興味がある看護職のメンタルに関するテーマについて発表し、探求するための方向性について、検討する。 事前学修：[30 分] 各自のテーマについて、発表資料を作る 事後学修：[30 分] 授業中の意見をもとに、探求の方向性を考える	グループワーク、演習	小宮
3	各自のテーマについての、個別またはグループ学習 事前学修：[20 分] 選んだテーマについて、調べる 事後学修：[40 分] 報告のための資料作成	演習	小宮
4	各自のテーマについての、個別またはグループ学習 事前学修：[20 分] 報告のための資料作成 事後学修：[40 分] 授業中の意見をもとに、考察を深めて、資料を洗練させる	演習	小宮
5	看護職のメンタルヘルスについての発表 1 事前学修：[20 分] 報告のための資料作成 事後学修：[40 分] 授業中の意見をもとに、考察を深めて、資料を洗練させる	発表とグループワーク	小宮
6	看護職のメンタルヘルスについての発表 2 事前学修：[20 分] 報告のための資料作成 事後学修：[40 分] 授業中の意見をもとに、考察を深めて、資料を洗練させる	発表とグループワーク	松本
7	看護職のメンタルヘルスについての発表 3 事前学修：[20 分] 報告のための資料作成 事後学修：[40 分] 授業中の意見をもとに、考察を深めて、資料を洗練させる	発表とグループワーク	小宮
8	全体のまとめ 事前学修：[20 分] これまでの報告で学んだことをまとめておく 事後学修：[40 分] グループワークでの意見をもとに、考察を深める	グループワーク	小宮・松本

■ 教科書

特に使用しない

■ 参考書、参考資料等

授業時に提示する

■ フィードバックの仕方

授業のプレゼンテーションについてのフィードバックは、授業時に行う。レポートにはコメントを返す。

■ 他の授業科目との関連

精神保健看護学 I・II の学習内容に基づき、より発展的な内容を扱う。

■ 成績評価の仕方

授業への取り組み 30 %、プレゼンテーション 40 %、レポート 30 %

■ オフィスアワー・研究室等

授業日の 12 : 30 ~ 13 : 00、18 : 00 ~ 18 : 30

■ 受講上の注意事項

自分の関心を大事にして、授業に臨んでください。

応用看護学特論Ⅱ(母性：リプロダクティブヘルス)隔年開講

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3・4年次 開講期：前期 対応DP：「1」成長 「2」実践 「3」擁護 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNAN301

○喜多里己

■ 授業の目的

リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保証されている男女が共に持つ権利について理解する。さらにセクシュアルライツ、及びリプロダクティブ・ライツを確保していくために、現状から生じている問題を明らかにする。また、女性が基本的権利と最高水準のリプロダクティブ・ヘルスケアを得られるよう、看護の立場から日常生活に応じた支援のあり方を追求する。

■ 到達目標

1. リプロダクティブ・ヘルス/ライツに保証されている男女が共に持つ権利について考察し、討議の場で自らの言葉で説明することができる。
2. 日本の周産期医療と子育ての現状から生じている問題や課題を考察し、討議の場で自らの言葉で説明することができる。
3. 妊娠・出産・育児をする男女への看護支援を考え、討議の場で自らの言葉で説明することができる。

■ 学習の進め方

1. 授業の展開
Glexa に示す事前学修課題、講義や討論を通して、学生同士で意見交換をしながら理解を深める。
1)事前学修課題：授業の1週間前に Glexa に提示する。授業に主体的に参加するために、事前学修課題は授業までに取り組み、授業時に持参する。
2)討論：事前学修課題などに関連したテーマについて、学生同士がディスカッションする時間を設ける。事前に調べたことなどを踏まえて積極的に意見交換する。
3)演習：授業内容で関心を持ったテーマを一つ選び、図書館の本やインターネットで調べ、自分の考えをまとめる。
4)発表・まとめ：授業の最後の回に、学生が授業を通して学んだこと、考えたこと、看護支援についての提案を一人ひとり発表・共有する。
5)事後学修課題：授業終了時に Glexa に提示する。指定の日時まで Glexa に提出する。
2. レポートの作成：まとめの時間に発表した内容に、その後の学生同士のディスカッション内容を加え、考察する。3,000 字程度。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション リプロダクティブ・ヘルス/ライツ 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30分] Glexa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時まで Glexa に提出する	講義・討論	喜多
2	リプロダクティブ・ヘルス/ライツと身体 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30分] Glexa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時まで Glexa に提出する	講義・討論	喜多
3	出産の変遷：日本 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30分] Glexa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時まで Glexa に提出する	講義・討論	喜多
4	出産の変遷：世界 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30分] Glexa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時まで Glexa に提出する	講義・討論	喜多
5	不妊治療の現在・未来 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30分] Glexa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時まで Glexa に提出する	講義・討論	喜多
6	出生前診断と妊娠中絶 事前学修：[30分] Glexa の「事前学修課題」に取り組み 事後学修：[30分] Glexa の「事後学修課題」に取り組み、所定の日時まで Glexa に提出する	講義・討論	喜多

No	内容	形式	教員
7	関心あるテーマ(第1回授業時に募集) 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までにGlexaに提出する	講義・討論	喜多
8	発表・まとめ 事前学修：[30分] Glexaの「事前学修課題」に取り組む 事後学修：[30分] Glexaの「事後学修課題」に取り組み、所定の日時までにGlexaに提出する	発表・討論	喜多

■教科書

なし

■参考書、参考資料等

授業時に紹介する

■フィードバックの仕方

- ・各回終了後に提出された事前事後学修用紙に書かれた内容について、次回授業で共有する。
- ・レポートのフィードバックは、前期中に行う。

■他の授業科目との関連

- ・発達看護学I①の学習内容に基づき、より発展的な内容を扱う。

■成績評価の仕方

授業への取り組み：40%(事前事後学修課題・討論への参加)、発表：10%、レポート：50%

■オフィスアワー・研究室等

授業開講日の12:30-13:00 喜多(407研究室)

■受講上の注意事項

授業への積極的な参加を期待する。

看護援助論実習〔レベルⅡ〕

単位：4単位 必修/選択：必修 履修年次：2年次 開講期：前期 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」関係 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SNNP200

○岡田彩子、○奥原秀盛、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人

■ 授業の目的

健康障害をもつ人を対象とし、援助的人間関係を発展させる。

看護過程を用いて対象となる人を全体論的に捉え、対象者の健康にかかわる能力が発揮されるよう、看護援助を行うことができる。

■ 到達目標

1. 対象者との援助的人間関係を発展させる。
2. 対象者を尊重し、権利と尊厳を守るための課題に気づくことができる。
3. 看護アセスメントを行い、全体像を捉える。
4. 看護援助を計画することができる。
5. 援助を対象者の状況に合わせて実施し、考察することができる。
6. 対象者ととりまく人々と連携し、より良い方策を考えることができる。
7. 学生として責任のある行動をとり、主体的に学びを深める。

■ 学習の進め方

1. 学内学習

実習に必要な事前知識や技術を学び、病棟実習に活かすようにする。

看護過程の展開に関する個別指導やグループ指導を受けることができるため学修状況に合わせて主体的に活用する。

2. 病棟実習

入院中の患者を原則として1～2名担当し、看護過程を用いて看護援助を行う。

援助的人間関係を発展させながら、患者一人ひとりに合わせた看護を実施し振り返りを行う中で学びを深める。

毎日開催されるカンファレンスでは、グループダイナミクスを生かし、学びを共有し深める。

3. ケース発表・レポート

ケース発表では、実習での学びを振り返り考察する。

レポートでは、ケース発表を発展させる形で学びを深める。

4. 評価面接

学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行う。

実習での学びと今後の課題について振り返る機会とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2年次 8月末～10月中の4週間

実習時間：原則として8時30分～16時30分

実習場所：さいたま赤十字病院（詳細は実習要項を参照のこと）

担当教員：教員1名につき1グループ5～6名を担当し、直接実習指導を行う。

■ 教科書

なし

■ 参考書、参考資料等

吉田みつ子・本庄恵子編著(2020). 新改訂 写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス. インターメディカ.

川島みどり監修(2007). 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術. 医学書院.

村上美好監修(2010). 写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメント. インターメディカ.

■ フィードバックの仕方

1. 全体評価のフィードバックは、最終面接にて自己評価表を確認しながら行う。
2. 実習記録やレポートのフィードバックは、コメントを付した実習記録ファイルの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅠ実習に合格していること。

レベルⅡ実習履修に必要な科目の修了試験受験資格を有していること（「学生便覧・履修の手引き」の実習に関すること：履修要件を参照のこと）。

看護援助論Ⅰ（看護過程）で用いた書式にて、受け持ち患者の看護過程を展開する。

■ 成績評価の仕方

1. 全体像発表・ケース発表 20% 2. 課題レポート 20% 3. カンファレンス参加度等の実習の取り組み 25% 4. 実習目標達成度 35%（詳細は、実習要項を参照のこと）

■ オフィスアワー・研究室等

4週間の中で、各週にオフィスアワーの時間を設ける。具体的な時間と場所は、実習開始後に担当教員より提示する。なお、実習全般に関する相談は、奥原(406 研究室) 岡田(410 研究室)まで連絡してください。

■ 受講上の注意事項

原則として、実習オリエンテーションを遅刻・欠席した者は、実習の履修ができなくなるので注意すること。

精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 対応DP：「1」実践 「2」探求 「3」擁護 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SNNP300

○小宮敬子、松本佳子、宮本晶

■ 授業の目的

精神保健上の問題を抱えている個人を対象に、その人となりを生生活上の文脈において理解することを主限として、自らをケアの道具として最大限に生かし、対象とかわることを学ぶ。

■ 到達目標

1. 対象の理解：対象の性格・人柄・価値観・認知のパターンなどを、その人の生活史や家族背景とのつながりから、理解できる。
2. 「生きにくさ」と「レジリエンス」の理解：その人が日常生活を送る上で、どのような問題を抱えているのか、それがどのような「生きにくさ」として体験されているのかを理解できる。
3. かかわりと参加：自分のかかわりの意味を考えながら、その人の日常生活に参加することができる。
4. 振り返りと言語化：かかわりの中で生じる自分の感情や考えを振り返り、ことばにして記録し、吟味できる。
5. 治療的環境の理解：自分の治療的環境の一部として存在していることを意識して行動することができる。

■ 学習の進め方

1. 病棟実習：入院中の患者を、原則として1人受持ち、患者の日常生活に参加しながらかかわり、患者理解、自己理解を深める。
2. ケース発表・レポート：ケース発表では、患者とのかかわりのプロセスを振り返って報告し、ディスカッションによって深める。レポートでは、ケース発表をさらに発展させる形で、文献を用いて考察し、体験を深める。

【事前学修】下記の課題1と2について記述し、実習初日に教員に提出すること。

課題1. ①精神保健福祉法に定める入院形態、②統合失調症と気分障害の主要症状、③抗精神病薬の種類と作用・有害反応、についてA4用紙2～3枚程度にまとめる。

課題2. 実習において患者とどのようにかかわってみたいかをA4用紙1枚にまとめる。

【事後学修】実習を振り返り「学生とのかかわりを通して見えてきた患者の生きにくさとレジリエンス」をテーマとしてクリニカルレポートを作成し、提出する。

なお、事前学修、事後学修については、実習オリエンテーション時に詳しく説明する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3年次7月から2月にかけて、2週間行う。実習場所：三恵病院(東京都東村山市)、多摩あおば病院(東京都東村山市)、大宮厚生病院(埼玉県さいたま市)、戸田病院(埼玉県戸田市)。詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

武井麻子他著、系統看護学講座 精神看護学 [1] [2]、医学書院。(2年次に購入した版、発行年のものを使用する)

■ 参考書、参考資料等

治療や薬物療法に関する図書については、実習前オリエンテーションにて提示する。

■ フィードバックの仕方

クリニカルレポートは、実習終了後2～3ヶ月以内に、コメントをつけて各担当教員から返却する。返却の連絡は、学生宛にポータルとメールにて行うので、担当教員の指示に従って指定の場所に取りに来ること。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、授業科目として、精神保健看護学Ⅰ、精神保健看護学Ⅱ、疾病の成立と回復の促進Ⅳ、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ、健康レベル別看護学演習Ⅱの全ての科目の修了試験受験資格を有していることが精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕実習の履修要件となっています。看護学総合実習の履修要件になっています。

■ 成績評価の仕方

実習への取り組み45%、実習記録20%、ケース発表10%、レポート25%。ただし欠席は2日以内であること。遅刻・早退は3回で1日欠席とみなす。

■ オフィスアワー・研究室等

実習前でもそれぞれの教員の研究室で相談に応じる。小宮研究室(402)、松本研究室(412)、宮本研究室(415)、実習中は必要なとき、遠慮せず声をかけてもらいたい。実習時間後に実習場の教員控え室で話を聞くこともできる。

■ 受講上の注意事項

実習の成果ではなく、どれだけ自分が対象にコミットできたか、その結果どれだけ自己理解・対象理解が進んだかのプロセスが重要である。そのためのサポート資源として教員を活用してほしい。

■ その他

HBNP300

発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：通年 対応 DP：「1」実践 「2」探求 「3」擁護 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SNNP301

○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子

■ 授業の目的

周産期にある母子及び家族を、ライフサイクル及び社会生活を営む人としての視点から理解し、対象の価値を尊重し、かつ安全なケアを保証するとともに、セルフケア能力を高める援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 対象者をライフサイクルの視点から捉え、その一連の過程の中に周産期を位置づけて理解できる。
2. 対象者の健康レベルを身体的、心理・社会的な特性を踏まえて明確にし、健康の保持・増進を促すよう関与することができる。
3. 対象者の価値観を尊重し、安全で納得のいく出産体験の保証や、対象が新しい生命を家族の一員として迎え、慈しみ育てられるような関りを学ぶ。
4. 社会生活を営む対象者への援助を通して、保健・医療・福祉・その他関連領域の専門家と連携し、協働による援助を考える。
5. 変化する社会に応じた母性看護の役割を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 病院での実習：産科外来、分娩室、産科病棟をめぐり、周産期における女性と新生児・父親/パートナーへの看護を学ぶ。産科棟では産褥早期の母親と新生児を 1 組受け持ち、看護過程を用いて看護援助を行なう。
2. 学内学習：実習期間中に学内学習日を設ける。実習に必要な知識や技術を学び、実習に活かせるよう、学生は実習室や図書館等を活用し、自己学習を行なう。また、看護過程の展開にあたっての個別指導やグループ指導を受けることができるので、自己の学習状況に合わせて主体的に活用し学習を進めること。
3. カンファレンス：日々のテーマカンファレンスでは、周産期の看護に関連するトピックスについてグループで話し合い、実習での学習体験を深める。
4. ケース発表・レポート：ケース発表では、産科病棟での看護過程に焦点を当てて発表し、学びを共有する。レポートでは、各実習場での学習を通して学生個々にテーマを設定して考察する。
5. 面接：学生が記載した実習自己評価表をもとに、学生と教員とで評価面接を行なう。実習での学びと課題について振り返る機会とする。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：2 週間

実習施設：さいたま赤十字病院、深谷赤十字病院

実習場所：産科外来、分娩室、産科病棟

実習時間：原則として 8:30～16:30 であるが、実習施設、実習場所にて異なる。

※詳細については、実習要項を参照のこと。

■ 教科書

平澤美恵子・村上睦子監修(2020). 新訂版写真でわかる母性看護技術アドバンス. インターメディカ.

■ 参考書、参考資料等

発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護①②)の講義資料、演習資料、および教科書を活用する。

■ フィードバックの仕方

- ①日々の実習記録へのコメントを通してフィードバックを行う
- ②面接で自己評価内容を確認しながら全体評価についてのフィードバックを行う
- ③実習記録自己評価表の教員コメント欄にフィードバックを行う

■ 他の授業科目との関連

本実習は下記の 2 点を満たしていることが必要です。

1. 看護援助論実習(レベルⅡ)に合格していること
2. 疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ、発達看護学概論、発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学 I (リプロダクティブ・ヘルスと看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有していること

本実習は、4 年次の看護学総合実習の履修要件となっています。

■ 成績評価の仕方

実践内容 30 %、実習記録 30 %、ケース発表 10 %、最終レポート 10%、発達看護学実習 I 個人評価表 20 %とする。詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の学内学修日 12:10-13:00、各実習担当教員の研究室(実習担当教員は実習オリエンテーションで提示する)

■ 受講上の注意事項

1. 欠席 2 日以上の場合は再履修、遅刻・早退は 3 回で 1 日欠席とする。
2. 新生児やハイリスク児と関わるため、健康管理には十分留意する。
3. 自己の感性や生命に対する畏敬の念を高め、看護者としての倫理的な視点を養うことを期待する。
4. 実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況に応じて変更する可能性がある。

発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 対応 DP：「1」実践 「2」探求 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：SNNP302

○吉野純、楠田智子、小田綾

■ 授業の目的

乳児・幼児・学童・思春期にある子どもとその家族の健康レベルを理解し、変化する社会の中で、子どもと家族が人間として尊重され、その人らしく生き生きと生活できるように、それぞれの健康レベルに応じた援助を考える。

■ 到達目標

1. 子どもとその家族(成長発達、生活状況、健康状態)を理解するとともに、子どもと家族を取り巻く環境を認識し、その影響を考察することができる。
2. 子どもとその家族の健康の保持、増進、回復のために、適切な情報を収集、分析し、既存の知識・技術を発展させて援助することができる。
3. 子どもとその家族のニーズに応じて、子どもと家族の尊厳と権利を擁護した援助を実践することができる。
4. 他領域の専門家と協力する重要性を認識し、調整的な機能を理解し、説明することができる。
5. 変化する社会に応じた小児看護の役割を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 全体オリエンテーション：第1クールの前に行う(日時は追って連絡する)。
2. 各グループのオリエンテーション：各クールの初日(暦により変更あり)に行う。
3. 学内演習：実習の開始前、学内において小児看護技術演習を行い、実習に必要な事前知識や技術を復習する。
4. 病棟実習：小児病棟、GCU病棟、のいずれかにおいて患者を受け持ち、看護援助を行う。カンファレンスでは、子どもと家族とかかわってみて感じたこと、考えたことをグループ内で共有し、看護援助や子どもと家族の理解につなげる。
5. 小児外来実習：総合病院小児外来、クリニック、病児保育室において実習を行う。カンファレンスでは、各フィールドの役割や意義について学びを共有し、子どもと家族を取り巻く環境について理解を深める。
6. ケース発表：病棟実習中の学びを振り返り、子どもと家族の特性と対象の個性について学びを共有する。
7. 実務経験のある教員による指導：教員は、さまざまな発達段階、健康状態にある子どもへの看護経験を活かし、各実習フィールドにて実践における直接的な指導を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：2週間
 2. 実習場所：深谷赤十字病院／埼玉県立小児医療センター／さいたま市立病院／さいたま赤十字病院小児科外来／さいたま赤十字病院病児保育室／にしむらこどもクリニック／峯小児科
- ※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ 教科書

発達看護学Ⅱ-①、②で提示した教科書を使用する

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

実習記録・レポートのフィードバックは、直接口頭、もしくはコメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

履修については、履修の手引書に記載されている履修要件を確認すること。

この科目の履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること。疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ、発達看護学概論、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有すること。

本科目の単位修得は看護学総合実習の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 評価表 30%
2. 実習の記録&レポート 50%
3. 実習への取り組み 20%

※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーは実習終了後30分とする。具体的な時間および場所は、実習開始後に担当教員より提示する。

吉野(409) 楠田(421) 小田(429)

■ 受講上の注意事項

1. 子どもの発達、生活、病状などを考慮して、安全で安楽な環境を整え、事故防止に努める。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。

3. 実習形式および記録提出、面接方法は変更する可能性がある。
※詳細は、実習要項を参照のこと。

発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕

単位：2単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 対応 DP：「1」実践 「2」関係 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：SNNP303

○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵

■ 授業の目的

さまざまな健康レベルの老年期にある個人とその家族を対象とし、対象の顕在的・潜在的能力が最大限に発揮されるよう、看護援助を実践できる。

■ 到達目標

1. 老年期にある人を、環境との相互作用によって変化する個別的で複雑な発達の過程であると捉えることができる。
2. 老年期にある人の加齢および疾患などにより生じた健康障害について説明できる。
3. 老年期にある人が、それぞれの価値・信念に基づいた生き方を選択でき、充実した生活がおくれるよう、看護援助を実践することができる。
4. 老年期にある人とその家族を、常に相互作用し合いながら変化する一つのシステムとして捉えることができる。
5. 老年期にある人がおかれているわが国の保健医療福祉システムについて説明できる。

■ 学習の進め方

1. 施設実習：入居中の高齢者を原則として1名受け持ち、看護過程を展開しながら看護援助を行う。高齢者への看護実践能力を身につけるため、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、受け持った高齢者の健康や生活に関する情報をもとにアセスメントを行い、高齢者が望む良い状態に向けて高齢者の意思、価値観、日常生活を尊重した看護援助を実施する。
 2. ケース発表・レポート：ケース発表では実習での自らの看護について振り返り考察する。レポートでは、発表での他者からの質問、意見をもちにさらに内容を深め発展させる。
 3. 評価面接：学生の自己評価表をもとに学生と教員との個別面接を行い、実習での学びと課題について振り返る。
- ※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：3年次7月～翌年2月までの間で2週間行う。

実習場所：介護老人保健施設 高齢者ケアセンターのぞみ、介護老人保健施設 高齢者ケアセンターゆらぎ、特別養護老人ホーム 扇の森 WEST、特別養護老人ホーム 吹上苑、介護老人保健施設 ハートフル行田、特別養護老人ホーム 小川ひなた荘

*詳細は実習要項を参照のこと

■ 教科書

必要時、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

実習に関連する既習の授業、演習などの資料を活用する。

■ フィードバックの仕方

実習記録やレポートのフィードバックは、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

看護援助論実習〔レベルⅡ〕に合格していること、疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ、発達看護学概論、発達看護学Ⅲ(老年期の看護①②)、健康レベル別看護学演習Ⅱの修了試験受験資格を有することが必要である。また、この科目の単位修得は4年次の看護学総合実習の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 実習への取り組み(出欠状況を含む)・参加度 45%
2. 全体像・ケース発表 20%
3. レポート 10%
4. 評価表にもとづく目標達成度 25%

■ オフィスアワー・研究室等

自己学修日の12:30-13:00

住谷(401 研究室)、松本(419 研究室)、松島(414 研究室)、太田(403 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションを連絡なしに欠席した場合、原則として実習を実施することはできない。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に取り組む。
3. 学外実習での基本的マナー(実習開始時刻、服装、挨拶等)を遵守し、節度を持って主体的に実習する。
4. 実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(精神保健看護学)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」実践 「3」連携 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：SNNP304

○小宮敬子、松本佳子、宮本晶

■ 授業の目的

地域で生活する個人、家族、集団を対象とし、人々の健康を生活者の視点から捉え、看護活動を展開するために必要な知識・態度・技術を学ぶ。

■ 到達目標

1. 障害者の回復と地域生活を支えるさまざまな施設の活動と目的、および法制度上の位置づけ(根拠)について理解できる。
2. 精神障害者地域リハビリテーション施設に関与する人々の活動に参加しながら、そこでの相互交流の様子を観察するとともに、みずから体験し、その意味について考える。
3. 精神科病院での実習と地域リハビリテーション施設での実習の体験を統合し、精神障害者の回復のプロセスにとって、それぞれにどのような意味があるのか、何が重要なのかについて考察できる。

■ 学習の進め方

看護師に必要な能力を身につけるため、精神障害者地域リハビリテーションの実務家である精神保健福祉士、保健師の指導の下、精神障害者のリハビリテーションのための援助活動に参加する。

1. 事前学修
 - ・ 障害者総合支援法の中に、障害者の地域生活を支援するサービスにはどのようなものがあるのかを調べて、A4用紙2枚にまとめる。
 - ・ 自分が実習する施設は、障害者総合支援法の中でどのように位置づけられているのか、その施設の目的や特徴は何かを調べ、A4用紙2枚にまとめる。
2. 施設での実習
 - ・ ひとつの施設につき学生2～4人のグループに分かれ、3日間、実習する。
 - ・ 施設で実施されるプログラムに参加しながら、メンバーやスタッフとの交流を図る。
3. カンファレンス
 - ・ それぞれの施設での体験について報告し、体験の共有と深化を図る。文献を用いてそれをさらに深める。
4. 事後学修
 - ・ 学んだことを文献を用いてさらに深めレポートにまとめる。(詳しくは実習要項を参照すること)

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1週間

実習場所：ステップ工房(障害者総合支援法、就労継続支援B型)、レモンカンパニー(同法、就労継続支援B型)、ヒールアップハウス 晴れ晴れ(同法、就労継続支援B型)、やどかりの里(公益社団法人)、のいずれかの施設にて実習する。各施設の詳細は実習要項を参照のこと。

■ 教科書

武井麻子他著(2021). 系統看護学講座「精神看護学 [1] 精神看護の基礎」. 第6版. 医学書院.

武井麻子他著(2021). 系統看護学講座「精神看護学 [2] 精神看護の展開」. 第6版. 医学書院.

※ 2年次に購入したものを使用する予定である。

■ 参考書、参考資料等

なし

■ フィードバックの仕方

レポートのフィードバックは、実習終了から4週間後に、実習担当教員の研究室にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。返却可能な時間はポータルで連絡するので受け取りにくること。

■ 他の授業科目との関連

レベルⅡ実習に合格していること、コミュニティ論Ⅰ・コミュニティ論Ⅱ・コミュニティ演習・コミュニティケアⅠの修了試験受験資格を有していることが履修条件である。精神保健看護学実習(レベルⅢ)を発展させた内容を扱う。この科目は、看護学総合実習の履修要件科目である。

■ 成績評価の仕方

1. 実習への取り組み 30%
2. カンファレンスへの取り組み 20%
3. 事前学習 10%
4. 実習記録 20%
5. レポート 20%

■ オフィスアワー・研究室等

学内実習日の12:30～13:00、18:00～18:30。小宮研究室(402)、松本研究室(412)、宮本研究室(415)

研究方法論 I

単位：1 単位 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講期：前期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：— 科目ナンバー：SNRE300

○吉野純、遠藤公久、喜多里己、鷹田佳典、住谷ゆかり、佐藤いずみ、楠田智子、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛

■ 授業の目的

- ・看護現象を客観的に捉え、その中に存在する疑問あるいは問題を科学的に探求する能力を養う。
- ・看護現象を探求するための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究課題に関して、文献を検索、整理・分析し、既に明らかになっていること、あるいはまだ研究されていないことを明確にする文献検討のスキルを身につける。

■ 到達目標

1. 看護における研究の定義や意義、研究テーマの絞り込みのプロセスについて説明できる。
2. 看護研究における倫理的配慮について説明できる。
3. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
4. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法の概要を説明できる。
5. 文献を検索、整理・分析し、文献検討としてまとめることができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 看護研究に取り組むにあたって関心のあるテーマを決める。
2. テーマに沿って関連のある既存の研究を調べる(文献検索)。
3. 入手した文献をもとにテーマに沿ってまとめ、研究課題を考察する(文献検討)。
4. 教員のオフィスアワーを利用して、文献検索・文献検討のアドバイスを受ける。
5. 最終的に文献検索・文献検討の結果をレポートにまとめ、授業概要に記載されている日時までに提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／研究方法概論 事前学修：[30分] これまでに学んだ看護や実習体験などから、疑問に思っていること・関心のあることをノートに書いてくる 事後学修：[30分] 授業内容を復習し、ノートにまとめる	講義 演習	吉野
2	研究テーマの絞り込み 事前学修：[30分] 関心のある現象を1つ選び、概要をノートにまとめる 事後学修：[30分] 研究テーマの絞り込みポイントをノートにまとめる	講義 演習	吉野
3	研究倫理：研究者の倫理、研究における倫理的配慮 事前学修：[30分] 日本学術振興会「科学の健全な発展のために-誠実な科学者の心得-」 https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf の [Section I 責任ある研究活動とは] を読んでくる 事後学修：[30分] 研究者の倫理、研究における倫理についてポイントを整理しノートにまとめる	講義 演習	吉野
4	量的研究方法論概論① 事前学修：[30分] 量的研究とはどのような研究方法なのか調べ、ノートにまとめる 事後学修：[30分] 量的研究の利点と限界について考えてまとめる	講義 演習	遠藤
5	量的研究方法論概論② 事前学修：[30分] 量的データの収集方法(特に質問紙法)について調べてまとめる 事後学修：[30分] 量的データの分析上の留意点について復習する	講義 演習	遠藤
6	質的研究方法論概論①：質的研究とは何か 事前学修：[30分] 質的研究にはどのような方法があるかを調べ、ノートにまとめる 事後学修：[30分] 量的研究と質的研究の違いをノートにまとめる	講義 演習	鷹田
7	質的研究方法論概論②：質的研究の進め方 事前学修：[30分] 質的データの収集方法を調べ、ノートにまとめる 事後学修：[30分] インタビュー方法の種類とその特徴をノートにまとめる	講義 演習	鷹田

No	内容	形式	教員
8	文献検討の目的と文献検索の実際 事前学修：[30分] 事前に提示した課題を行いまとめる 事後学修：[30分] 授業後に提示した課題を行いまとめる	講義 演習	喜多
9	文献検討と文献の引用方法 事前学修：[30分] 事前に提示した課題を行いまとめる 事後学修：[30分] 授業後に提示した課題を行いまとめる	講義 演習	喜多
10	文献検索の演習① 事前学修：[30分] 自己の検索キーワードを検討してノートにまとめる 事後学修：[30分] 文献検索を行う	演習	全員
11	文献検索の演習② 事前学修：[30分] 文献検索を行う 事後学修：[30分] 検索した文献を読んで概要をノートにまとめる	演習	全員
12	文献検索の演習③ 事前学修：[30分] 文献検索を行う 事後学修：[30分] 検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
13	文献検索の演習④ 事前学修：[30分] 文献検索を行う 事後学修：[30分] 検索した文献を読んで文献検討の柱をノートにまとめる	演習	全員
14	文献検索の演習⑤ 事前学修：[30分] 文献検討を行いレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究課題を考察してレポートにまとめる	演習	全員
15	文献検索の演習⑥ 事前学修：[30分] 研究課題を考察してレポートにまとめる 事後学修：[30分] 文献検討レポートを作成して提出する	演習	全員

■ 教科書

教科書は特になし。授業内容に応じて随時資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

参考資料は授業内で随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・事前事後学修課題のフィードバックは、次回授業時または授業の最終回までに解説、ないしコメント付き資料の配布・返却を通じて行う。
- ・文献検討レポートのフィードバックは、後期科目研究方法論Ⅱの第1回目授業にて、コメントを付したレポートの返却を通じて行う。
- ・授業のリアクションペーパーのフィードバックは次回授業開始時に行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目の学習内容に理解に基づき、後期科目研究方法論Ⅱではより発展的な内容を扱う。
- ・本科目の単位修得が、4年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。
- ・本科目をもとに、4年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

各回の授業の課題に取り組むことを前提に出席とみなす。講義回(第1～9回)では、遅刻3回を欠席1回とみなす。

1. 授業への取り組み 20%(オフィスアワーの利用を含む)
2. 文献検討レポート 80%(前期定期試験に該当する)

※前期定期試験に該当するため、期日内に提出できなかった場合は試験放棄とみなされる。試験放棄の場合は、再試験は実施されず、翌年度に再履修することになる。

■ オフィスアワー・研究室等

文献検索演習の時間およびその日の授業終了後30分をオフィスアワーとしている。その時間帯が他の授業と重なる教員、学生もいるため、訪室前にはアポイントメントを取ることを推奨する。

各教員の研究室にて行う。

■ 受講上の注意事項

疑問点は早めに質問し、主体的・計画的に進めていくこと。

研究方法論Ⅱ

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：後期 対応 DP：「1」探求 「2」実践 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SNRE350

○吉野純、小宮敬子、遠藤公久、鷹田佳典、住谷ゆかり、佐藤いずみ、楠田智子、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛、

■ 授業の目的

- ・看護現象を探究するための看護研究方法論の基礎を学習する。
- ・研究疑問を明確化し、研究計画書を作成するスキルを身につける。

■ 到達目標

1. 量的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
2. 質的なアプローチの研究デザインと研究方法について具体的に説明できる。
3. 研究全体の流れを説明することができる。

■ 学習の進め方

AL

1. 研究計画書作成の演習を個人で行う。
2. 研究計画書作成にあたり、担当している教員から助言を受ける。
3. 研究計画書作成の段階で1回研究計画書(研究テーマ、動機と背景、目的、意義)を指定日時までに提出する。
4. 最終版の研究計画書を指定日時までに提出する。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	オリエンテーション／研究計画書とは 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、ノートにまとめる 事後学修：[30分] 研究方法論Ⅰの文献検討に対する教員コメントを確認する	講義 演習	吉野
2	研究計画書作成について 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの授業資料を復習し、ノートにまとめる 事後学修：[30分] 1,2回目の講義内容を振り返り内容を理解する	講義 演習	吉野
3	研究計画書作成演習① 事前学修：[30分] 研究テーマについて検討し、ノートに書いてくる 事後学修：[30分] 研究方法論Ⅱの研究計画書の執筆要領に沿ってレポートの構成と内容を考え、研究の動機と背景、研究目的、研究の意義を練る	演習	全員
4	研究計画書作成演習② 事前学修：[30分] 研究の動機と背景、研究目的、研究の意義を練る 事後学修：[30分] 研究テーマ・動機と背景・研究目的・研究の意義を検討してまとめる	演習	全員
5	量的研究方法論各論① 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの量的研究方法論概論の講義内容を復習し、要点をまとめる 事後学修：[30分] 講義内容を振り返り課題に取り組む	講義 演習	遠藤
6	質的研究方法論各論① 事前学修：[30分] 研究方法論Ⅰの質的研究方法論概論の講義内容を復習し、要点をまとめる 事後学修：[30分] 講義内容を振り返り課題に取り組む	講義 演習	小宮
7	量的研究方法論各論② 事前学修：[30分] 前回の講義内容を復習し、課題に取り組む 事後学修：[30分] 講義内容を振り返り課題に取り組む	講義 演習	遠藤
8	質的研究方法論各論② 事前学修：[30分] 前回の講義内容を復習し、課題に取り組む 事後学修：[30分] 講義内容を振り返り課題に取り組む	講義 演習	小宮
9	研究計画書作成演習③ 事前学修：[30分] 文献検索・文献検討を行う 事後学修：[30分] 研究テーマ・研究目的・研究の意義を再検討してレポートにまとめる	演習	全員
10	研究計画書作成演習④ 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 検索した文献を読んで文献検討の柱を検討してレポートにまとめる	演習	全員

No	内容	形式	教員
11	研究計画書作成演習⑤ 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を検討してレポートにまとめる	演習	全員
12	研究計画書作成演習⑥ 事前学修：[30分] 文献検討をレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を検討してレポートにまとめる	演習	全員
13	研究計画書作成演習⑦ 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習	全員
14	研究計画書作成演習⑧ 事前学修：[30分] 研究方法を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成する	演習	全員
15	研究計画書作成演習⑨ 事前学修：[30分] 倫理的配慮を練ってレポートにまとめる 事後学修：[30分] 研究計画書を作成して提出する	演習	全員

■ 教科書

教書は特になし。授業内容に応じて随時資料を配付する。

■ 参考書、参考資料等

参考資料は授業内で随時提示する。

■ フィードバックの仕方

- ・提出された第1回目の研究計画書のフィードバックは、担当教員よりコメントを付したレポートの返却を通じて行う。
- ・提出された最終版の研究計画書のフィードバックは、4年次の4月にコメントを付したレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

- ・本科目は、前期科目研究方法論Ⅰの学習内容の理解に基づき、より発展的な内容を扱う。
- ・本科目の単位修得が、4年次前期科目研究Ⅰの履修要件である。単位取得できない場合は、4年次に研究Ⅰを履修することができず、必然的に卒業延期となるので留意する。
- ・本科目をもとに、4年次の前期科目研究Ⅰと後期科目研究Ⅱが展開される。

■ 成績評価の仕方

各回の授業の課題に取り組むことを前提に出席とみなす。講義回(第1, 2, 5~8回)は遅刻3回を欠席1回とみなす。

1. 授業への取り組み 20%(オフィスアワーの利用を含む)
2. 研究計画書最終版 80%(後期定期試験に該当する)

※後期定期試験に該当するため、期日内に提出できなかった場合は試験放棄とみなされる。試験放棄の場合は、再試験は実施されず、翌年度に再履修することになる。

■ オフィスアワー・研究室等

演習時間およびその日の授業終了後30分をオフィスアワーとしている。他の授業と重複する時間もあるため、前もって教員の対応可能な時間を把握しておくこと。

各教員の研究室にておこなう。

■ 受講上の注意事項

疑問点は早めに質問し、主体的・計画的に進めていくこと

公衆衛生看護活動展開論

単位：1単位 必修/選択：選択 履修年次：3年次 開講期：前期 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」実践 「3」変化 実務経験がある教員：－ 科目ナンバー：SPPN300

○成木弘子

■ 授業の目的

公衆衛生看護活動(地域保健、学校保健、産業保健)について、そのコミュニティに属する人々の生活環境の特徴や健康との関係、健康課題、活動の歴史、理念と目的、対策(制度・システム)を学ぶ

■ 到達目標

1. 地域で生活する住民を取り巻く生活環境の特徴と健康・生活との関係、課題と対策および評価について説明できる。
2. 学校・産業保健活動の歴史、理念と目的、法規や制度、および具体的な活動について説明できる。

■ 学習の進め方

公衆衛生看護活動(地域保健、産業保健活動、学校保健活動)に関するコミュニティ・ヘルスアセスメント、地域診断に必要な情報収集(含：保健統計)、地域で生活する住民を取り巻く生活環境の把握、活動計画の策定、評価、および学校保健や産業保健に関する講義やGWで学習を進める

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	・オリエンテーション ・公衆衛生看護活動(地域保健、学校保健、産業保健)とは 事前学修：[60分] コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ、コミュニティケアⅠ・Ⅳ、コミュニティ演習で学んだ内容を復習し、【コミュニティケアにおける看護職の役割】についてA4サイズ1枚(1400字～1600字)にまとめて記述して講義時に持参する。講義終了後、当日の事後課題と一緒に提出する。 事後学修：[30分] 授業終了時に提示する課題について整理し、考察し400字～600字にまとめて記述する。提出方法はグレクサの指定されたフォルダーに当日23時59分までに保存とする。	講義	成木
2	・コミュニティ・ヘルス・アセスメント(地域診断) ①概要 事前学修：[30分] 前回の講義終了時に提示された事前学習課題に関して、400字～600字にまとめて講義時に持参する。講義終了後、当日の事後課題と一緒に提出する。 事後学修：[30分] 第1回(No.1)と同様	講義	成木
3	・コミュニティ・ヘルス・アセスメント(地域診断) ②アセスメント項目(含：保健統計) 事前学修：[30分] 第2回(No.2)と同様 事後学修：[30分] 第1回(No.1)と同様	講義	成木
4	・コミュニティ・ヘルス・アセスメント(地域診断) ③活動計画の立案 事前学修：[30分] 第2回(No.2)と同様 事後学修：[30分] 第1回(No.1)と同様	講義	成木
5	・コミュニティ・ヘルス・アセスメント(地域診断) ④実践方法と評価 事前学修：[30分] 第2回(No.2)と同様 事後学修：[30分] 第1回(No.1)と同様	講義	成木
6	・学校保健活動の実際 事前学修：[30分] 第2回(No.2)と同様 事後学修：[30分] 第1回(No.1)と同様	講義	成木
7	・産業保健活動の実際 事前学修：[30分] 第2回(No.2)と同様 事後学修：[30分] 第1回(No.1)と同様	講義	成木
8	・まとめ 事前学修：[30分] 第2回(No.2)と同様 事後学修：[30分] 第1回(No.1)と同様	GW	成木

■教科書

- ・上野昌江 (2021). 公衆衛生看護学. 第3版. 中央法規.

■参考書、参考資料等

- ・佐伯和子 (2018). 地域保健福祉活動のための 地域看護アセスメントガイド地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案. 第2版. 医歯薬出版.
- ・標美奈子 (2022). 公衆衛生看護学概論. 第6版. 医学書院.
- ・神馬征峰 (2020). 公衆衛生. 第14版. 医学書院.
- ・その他、講義で随時紹介する。

■フィードバックの仕方

- ・試験のフィードバックは、試験実施後2週間以内に指定した教室、時間にて試験問題と採点基準の解説を通じて行う。
- ・具体的な日時、場所については、定期試験時間割発表時に提示する。

■他の授業科目との関連

「ディプロマポリシー7・3」に位置づけられる科目と関連が深く、特に「コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ」「コミュニティーケアⅠ～Ⅳ」「公衆衛生看護看護」の重要な構成要素である。

■成績評価の仕方

- ・試験は、筆記試験とする。
- ・評価は、事前事後の課題に関するリアクションペーパーの提出状況および記述内容(20%)、定期試験(80%)

■オフィスアワー・研究室等

- ・授業開講日の12:30-13:00(404研究室)

■受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがある。その場合は、事前の授業またはメールで伝える。
2. 開始30分までは遅刻を認めるが、遅刻を3回した場合は欠席1回の扱いとする。
3. 保健師としての能力の基盤として大変重要な科目です。積極的な受講を期待します。

公衆衛生看護方法論

単位：1 単位 必修/選択：選択 履修年次：3 年次 開講期：後期 対応 DP：「1」コミュニティ貢献 「2」実践 実務経験がある
教員：－ 科目ナンバー：SPPN350

○永井健太、成木弘子、藤川あや

■ 授業の目的

保健師活動としての公衆衛生看護活動の援助技術や活動方法について学ぶ。具体的には、保健指導、家庭訪問、健康診断、健康相談、健康教育、地域組織活動の技術や方法である。

■ 到達目標

1. 地域組織活動の展開について説明できる。
2. 家庭訪問の目的・特徴・展開について説明できる。
3. 保健指導、健康相談、健康診査の目的・対象・方法について説明できる。
4. 地域で行われる健康教育の目的・対象・方法について説明できる。
5. 対象の主體的な保健行動を引き出すために活用できる理論について理解する。

■ 学習の進め方

講義・GW を通して、公衆衛生看護活動の援助技術や活動方法について理解を深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

No	内容	形式	教員
1	地域組織活動における公衆衛生看護活動 事前学修：[30 分] コミュニティア I・IV、コミュニ論 II で学んだ公衆衛生看護活動について配布資料や教科書を読み返す 事後学修：[30 分] 授業中に提示された課題を行う	講義	成木
2	家庭訪問の方法と実際①目的・対象 事前学修：[30 分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30 分] 授業中に提示された課題を行う	講義	藤川
3	家庭訪問の方法と実際②展開 事前学修：[30 分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30 分] 授業中に提示された課題を行う	講義・GW	藤川
4	家庭訪問の方法と実際③地区活動への反映 事前学修：[30 分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30 分] 授業中に提示された課題を行う	講義・GW	藤川
5	健康相談と健康診査の方法と実際 事前学修：[30 分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30 分] 授業中に提示された課題を行う	講義	永井
6	保健指導・健康教育で活用できる理論 事前学修：[30 分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30 分] 授業中に提示された課題を行う	講義	永井
7	保健指導の方法と展開① 事前学修：[30 分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30 分] 授業中に提示された課題を行う	講義・GW	永井
8	健康教育の方法と展開② 事前学修：[30 分] 前回の授業中に提示された課題を行う 事後学修：[30 分] 全講義の中で学んだことを A4 用紙 1 枚にまとめる。	講義・GW	永井

■ 教科書

上野昌江・和泉京子(2020). 公衆衛生看護学. 第 3 版. 中央法規.

※ 3 年次前期公衆衛生看護活動展開論で使用している書籍

■ 参考書、参考資料等

- ①村嶋幸代他(2015). 最新 保健学講座 2 公衆衛生看護支援技術. 第 4 版. メチカルフレンド社.
- ②畑栄一他(2017). 行動科学 健康づくりのための理論と応用. 第 2 版. 南江堂.
- ③福岡地区小児科医会乳幼児保健委員会(2019). 乳幼児健診マニュアル. 第 6 版. 医学書院.
- ④荒賀直子他(2020). 公衆衛生看護学.jp. 第 5 版. インターメディカル.

■ フィードバックの仕方

リアクションペーパーによる質問や発表のフィードバックは、授業時に適宜、口頭で行う。
試験のフィードバックは、試験実施後に別途時間を設けて、試験問題と採点基準の解説を行う。

■ 他の授業科目との関連

保健師コースの必須科目となります。公衆衛生看護活動展開論や4年次に開講される公衆衛生看護活動論演習Ⅰ、公衆衛生看護活動論演習Ⅱ、公衆衛生看護学実習の基礎となる学習になります。

■ 成績評価の仕方

リアクションペーパーの内容 20%、定期試験 80%

■ オフィスアワー・研究室等

授業開講日の 12:30～13:00 永井(420 研究室)、成木(404 研究室)、藤川(411 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 授業内容と日程は変更することがあります。その場合は、事前の授業またはメールで伝えます。
2. 開始 30 分までは遅刻を認めますが、遅刻を 3 回した場合は欠席 1 回の扱いとします。
3. 講義中に講義に関係のない情報をスマホで検索する、他の科目の課題を行う、眠るなども、減点の対象となる可能性があります。

コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(母性看護学)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」実践 「3」探求 実務経験がある教員：○ 科目ナンバー：SNNP304

○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子

■ 授業の目的

周産期にある母子及び家族を、ライフサイクル及び社会生活を営む人としての視点から理解し、対象の価値を尊重し、かつ安全なケアを保証するとともに、セルフケア能力を高める援助を学ぶ。

■ 到達目標

1. 育児期にある母子と家族を、地域で生活を営む人としての視点から理解することができる。
2. 母子と家族のセルフケア能力を高める援助の実際を理解することができる。
3. さまざまな社会的背景にある母子と家族に適した支援について、医療・福祉・行政・法律や制度・政策などの視点から理解することができる。
4. 現代社会が抱える育児期の課題を理解し、支援のあり方を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. 事前学修：周産期・育児期に関連した法律や制度、実習施設の特徴、実習施設の地域の特徴を整理する。
2. 実習前オリエンテーション：実習前週の金曜日に行う。
3. 実習配置：1施設につき学生1～3名で実習する。
4. 実習の振り返り・カンファレンス：施設ごとに日々の実習の振り返りおよびカンファレンスを行う。
5. 全体実習報告会：全施設で実習した学生の学びを共有する。実習体験を振り返り、地域社会において母子と家族が抱える課題と看護の在り方について、体験を共有し意見交換を通じて学びを深める。準備や進行は学生が中心となっており、時間は1時間程度とする。
6. 課題レポート：実習体験より捉えた現代社会における母子と家族に関連した課題を1つ取り上げて説明し、看護者として期待される支援のあり方について文献を用いて考察する。3000字以上4000字以内。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習施設：息吹助産院・こんどう助産院・助産院母魂・はとがや助産所・陽だまり助産院・オケタニ母乳育児相談室南浦和・さとう母乳育児相談室・高瀬母乳育児相談室
2. 学生は上記の施設のうち、2施設で実習する。
3. 実習期間：1週間 *詳細は実習要項参照のこと

■ 教科書

森恵美他(2021). 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 [2] 母性看護学各論. 医学書院.

■ 参考書、参考資料等

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)の授業資料や健康レベル別演習Ⅱの資料を活用する。

■ フィードバックの仕方

- ・事前学修課題のフィードバックは、実習オリエンテーション時に行う。
- ・全体評価のフィードバックは、コメントを付した実習記録および課題レポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護①)、発達看護学Ⅰ(リプロダクティブ・ヘルスと看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅰ実習(レベルⅢ)等での学習内容を発展させた内容を扱う。
レベルⅡ実習に合格していることが履修要件となる。

■ 成績評価の仕方

実習内容(実習への取り組み、カンファレンスの参加度など)30%、事前学習課題10%、実習記録20%、課題レポート20%、個人評価表20% 計100%

■ オフィスアワー・研究室等

実習期間中の学内学習日12:10-13:00に実習担当教員の研究室で対応する。

喜多(407研究室)、佐藤(422研究室)、服部(413研究室)

コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(小児看護学)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」実践 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SNNP304

○吉野純、楠田智子、小田綾

■ 授業の目的

子どもの身体的・精神的・社会的な成長発達の状態を捉えた上で、地域で生活する子どもと家族の健康を生活者の視点で捉え、看護活動を展開するために必要な知識・態度・技術を学ぶ。

■ 到達目標

1. 子どもとその家族の生活状況、健康状態を理解し、健康増進のための援助を考案することができる。
2. 子どもと家族を取り巻く社会や小児保健医療制度を理解し、説明することができる。
3. 小児保健医療福祉チームにおける看護の役割を考察することができる。

■ 学習の進め方

1. オリエンテーション：各クールの初日に各フィールドのオリエンテーションを行う。実習に関連した社会状況や制度の事前学修内容を確認、共有する。
2. 実習：保育園1か所で実習を行う。子どもと触れ合い、スタッフと共に行動し、スタッフからのアドバイスを得る。
3. カンファレンス：実習中にカンファレンスを行い、事前学修を踏まえた学びを共有する。
4. 実務経験のある教員による指導：教員は、さまざまな発達段階、健康状態にある子どもの生活援助や健康管理に関する看護経験を活かし、実践における助言や直接的な指導を行う。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

1. 実習期間：1週間
2. 実習施設：あおぞら保育園／あおぞらウインクルム保育園／あおぞら西保育園

■ 教科書

発達看護学Ⅱ-①、②で提示した教科書を使用する

■ 参考書、参考資料等

必要に応じて文献を提示する。

■ フィードバックの仕方

実習記録・レポートのフィードバックは、コメントを付したレポート・実習記録の返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

履修には、レベルⅡ実習の単位を修得していること、コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ、コミュニティ演習、コミュニティケアⅠ(地域看護学)の修了試験受験資格を有していることが必須である。

この科目は、発達看護学概論(小児期)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)、健康レベル別看護学演習Ⅱ、発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕の内容をもとに、地域で生活する子どもと家族に焦点を当てた実習である。

本科目の単位修得は看護学総合実習の履修要件となっている。

■ 成績評価の仕方

1. 評価表 30%
2. 実習の記録&レポート 50%
3. 実習への取り組み 20%

※詳細は、実習要項を参照のこと。

■ オフィスアワー・研究室等

オフィスアワーは実習終了後30分とする。具体的な時間および場所は、実習開始後に担当教員より提示する。

吉野(409) 楠田(421) 小田(429)

■ 受講上の注意事項

1. 子どもの発達、生活、病状などを考慮して、安全で安楽な環境を整え、事故防止に努める。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に臨む。
3. 実習形式および記録提出、面接方法は変更する可能性がある。

※詳細は、実習要項を参照のこと。

コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(老年看護学)

単位：1単位 必修/選択：必修 履修年次：3年次 開講期：通年 対応DP：「1」コミュニティ貢献 「2」連携 実務経験がある
教員：○ 科目ナンバー：SNNP304

○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵

■ 授業の目的

地域で生活する高齢者と家族を対象とし、人々の健康を生活者の視点から捉え、看護活動を展開するために必要な知識・態度・技術を学ぶ。

■ 到達目標

1. 通所施設における高齢者とスタッフ・高齢者同士の関わりについて説明できる。
2. 高齢者が地域で生活を継続するための通所施設と自宅の連携のあり方について説明できる。
3. 高齢者にとっての通所施設への参加の意味について説明できる。
4. 高齢者の家族にとっての通所施設の役割について説明できる。
5. 高齢者と家族を取り巻く社会環境や介護保険制度などについて説明できる。

■ 学習の進め方

1. 初日の学内演習：老年看護学領域を希望した学生を対象に実習のオリエンテーションを行い、その後、学生は実習に関連した課題に取り組む。
2. 地域で生活する高齢者と家族への看護を展開するために必要な能力を身につけるために、施設の現場において、実習指導者と実習担当教員の指導の下、通所施設のサービス(プログラム)に参加する。
3. 実習の学びをもとに地域で暮らす高齢者と家族への支援について検討し、発表を通して学生間で学習内容を共有しながら意見交換を行い、学びを深める。

■ スケジュール：学習内容・方法・担当教員

実習期間：1週間

実習時間：原則として 8:30～16:00

実習施設：のぞみ通所リハビリテーション、ゆらぎ通所リハビリ事業所、小規模多機能型居宅介護 扇の森、行田通所リハビリテーション、デイサービスセンター あかね雲吹上苑

*詳細は実習要項を参照して下さい。

■ 教科書

必要時、資料を配布する。

■ 参考書、参考資料等

実習に関連する既習の授業、演習などの資料を活用する。

■ フィードバックの仕方

実習記録やレポートのフィードバックは、実習担当教員がコメントを付した実習記録やレポートの返却を通じて行う。

■ 他の授業科目との関連

発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕後、地域で生活する高齢者に焦点を当てた実習内容となる。また、コミュニティ論Ⅰ・Ⅱ、コミュニティ演習、コミュニティケアⅠ(地域看護学)の修了試験受験資格を有することが必要である。

■ 成績評価の仕方

1. 実習への取り組み(出欠状況を含む)・参加度 30%
2. 全体カンファレンス発表 15%
3. レポート(学内演習課題・実習後) 30%
4. 評価表にもとづく目標達成度 25%

■ オフィスアワー・研究室等

学内演習日の 12:30～13:00

住谷(401 研究室)、松本(419 研究室)、松島(414 研究室)、太田(403 研究室)

■ 受講上の注意事項

1. 実習オリエンテーションを連絡なしに欠席した場合、原則として実習を実施することはできない。
2. 自己の健康管理に留意し、体調を整えて実習に取り組む。
3. 学外実習での基本的マナー(実習開始時刻、服装、挨拶など)を遵守し、節度を持って主体的に実習する。
4. 実習方法、記録提出方法および面接方法は、状況によって変更する可能性がある。

科目一覧

★赤十字国際活動論★ (○角田敦彦)	1
★生命倫理★ (○田村未希)	3
★哲学と倫理★ (○田村未希)	5
★臨床心理学★ (○遠藤公久)	7
★教育学概論★ (○渋谷真樹)	9
★臨床社会学★ (○鷹田佳典)	11
★社会保障論★ (○森山幹夫)	13
★生活環境論★ (○永井健太)	15
★情報科学★ (○川崎洋平)	17
★保健統計学★ (○川崎洋平)	19
★英語R W Ⅲ★ (○川崎修一)	21
★英語文献を読む★ (○遠藤花子)	23
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ(疾病論：呼吸、循環、腎・泌尿器)★ (○岡田彩子、松村穰、森田英幹、松島秀和、眞木充、雨宮守正、野呂彰)	25
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ(疾病論：運動器、脳・神経、乳腺、感覚器)★ (○奥原秀盛、中村謙介、日野秀嗣、秋山茂雄、井上智夫、野下展生、齊藤毅、石井清、栗田昭宏、三石剛)	27
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ(疾病論：血液、アレルギー、リウマチ・膠原病、外科学、産婦人科学、小児科学、検査学)★ (○岡田彩子、佐藤博之、堀越正信、加藤敬二、新村兼康、宮本純孝、佐藤有子、塚本信宏)	30
★疾病の成り立ちと回復の促進Ⅵ(精神医学)★ (○林公輔)	32
★薬理学★ (○町田充、高野温志、鈴木博、竹内絵美、問註所英明、亀井陽子、井上朋子、小村理香)	34
★疫学★ (○川崎洋平)	36
★栄養学★ (○田中明穂)	38
★ラボラトリー・プラクティス★ (○天野雅子、江口和男)	40
★看護技術論Ⅱ(ケア加減)★ (○中村滋子、岡田彩子、殿城友紀、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	42
★看護技術論Ⅲ(基礎看護技術③)★ (○殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	44
★看護援助論Ⅰ(看護過程)★ (○奥原秀盛、岡田彩子、仁昌寺貴子、殿城友紀、中村滋子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	47
★看護援助論Ⅳ(栄養と代謝/排泄)★ (○楠田智子、仁昌寺貴子、住谷ゆかり)	50
★看護援助論Ⅴ(活動と休息)★ (○住谷ゆかり、仁昌寺貴子、楠田智子)	52
★看護援助論Ⅵ(セクシュアリティ)★ (○佐藤いずみ)	54
★看護援助論Ⅶ(心・身体・人間関係)★ (○松本佳子、小宮敬子、宮本晶)	56
★コミュニティ論Ⅱ★ (○成木弘子、遠藤公久、喜多里己)	58
★コミュニティ演習★ (○成木弘子、小宮敬子、遠藤公久、喜多里己、吉野純、太田喜久子、松本佳子、藤川あや、住谷ゆかり、鷹田佳典、白井美穂、佐藤いずみ、楠田智子、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛)	60
★コミュニティケアⅢ(在宅看護学)★ (○藤川あや、永井健太、木村愛)	63
★コミュニティケアⅣ(公衆衛生看護活動論)★ (○藤川あや、成木弘子)	65
★慢性期ケア★ (○仁昌寺貴子、奥原秀盛)	67
★急性期ケア★ (○奥原秀盛、仁昌寺貴子)	70
★緩和・終末期ケア★ (○奥原秀盛)	72
★健康レベル別看護学演習Ⅰ(急性期・慢性期)★ (○仁昌寺貴子、奥原秀盛、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	74
★健康レベル別看護学演習Ⅱ(精神保健上の問題・発達段階に伴う健康上の課題)★ (○喜多里己、小宮敬子、松本佳子、宮本晶、佐藤いずみ、服部弓子、吉野純、楠田智子、小田綾、太田喜久子、住谷ゆかり、松本佐知子、松島史絵)	77
★発達看護学概論★ (○喜多里己、吉野純、太田喜久子)	80
★発達看護学(成人期の看護)★ (○奥原秀盛)	82
★発達看護学Ⅰ(リアリティ・ケア・ケアと看護①)★ (○喜多里己、佐藤いずみ)	84
★発達看護学Ⅰ(リアリティ・ケア・ケアと看護②)★ (○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子)	87
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護①)★ (○吉野純、楠田智子)	90
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護②)★ (○楠田智子、吉野純、小田綾)	92
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護①)★ (○太田喜久子、住谷ゆかり、松本佐知子)	95
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護②)★ (○住谷ゆかり、太田喜久子、松本佐知子、松島史絵)	97
★精神保健看護学Ⅰ(理論)★ (○小宮敬子、松本佳子)	99

★精神保健看護学Ⅱ(技法)★(○松本佳子、小宮敬子、宮本晶)	101
★国際看護学(異文化とケア含)★(○織方愛、野口眞貴子)	103
★国際看護学演習★(○織方愛)	105
★災害看護活動論Ⅱ★(○織方愛、根岸京子、内木美恵)	107
★看護管理学★(○大和田恭子)	109
★看護教育学★(○岡田彩子)	111
★応用看護学特論Ⅰ(精神：看護師とメンタルヘルス)隔年開講★(○小宮敬子、松本佳子)	113
★応用看護学特論Ⅱ(母性：リプロダクティブヘルス)隔年開講★(○喜多里己)	115
★看護援助論実習〔レベルⅡ〕★(○岡田彩子、○奥原秀盛、殿城友紀、中村滋子、仁昌寺貴子、酒井千恵、篠原真里、原あずみ、中島久美子、山本未央、竹山美穂、川端龍人)	117
★精神保健看護学実習〔レベルⅢ〕★(○小宮敬子、松本佳子、宮本晶)	119
★発達看護学Ⅰ(リアリティ・ケアと看護)実習〔レベルⅢ〕★(○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子)	120
★発達看護学Ⅱ(子どもと家族の看護)実習〔レベルⅢ〕★(○吉野純、楠田智子、小田綾)	122
★発達看護学Ⅲ(老年期の看護)実習〔レベルⅢ〕★(○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵)	124
★コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(精神保健看護学)★(○小宮敬子、松本佳子、宮本晶)	125
★研究方法論Ⅰ★(○吉野純、遠藤公久、喜多里己、鷹田佳典、住谷ゆかり、佐藤いずみ、楠田智子、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛)	126
★研究方法論Ⅱ★(○吉野純、小宮敬子、遠藤公久、鷹田佳典、住谷ゆかり、佐藤いずみ、楠田智子、永井健太、宮本晶、服部弓子、小田綾、松島史絵、木村愛)	128
★公衆衛生看護活動展開論★(○成木弘子)	130
★公衆衛生看護方法論★(○永井健太、成木弘子、藤川あや)	132
★コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(母性看護学)★(○喜多里己、佐藤いずみ、服部弓子)	134
★コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(小児看護学)★(○吉野純、楠田智子、小田綾)	135
★コミュニティケア実習Ⅰ〔レベルⅣ〕(老年看護学)★(○太田喜久子、住谷ゆかり、松島史絵)	136